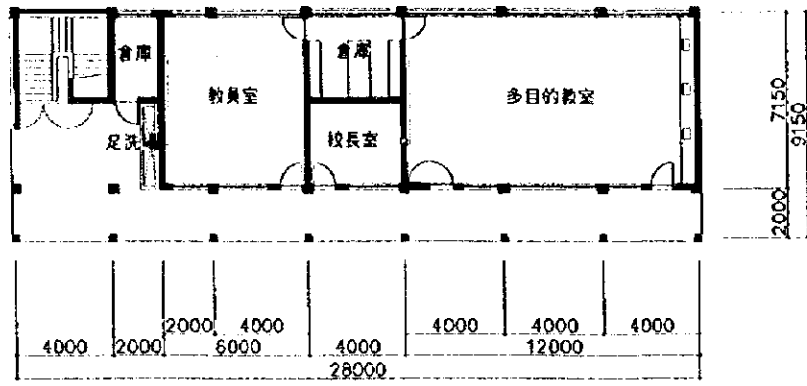
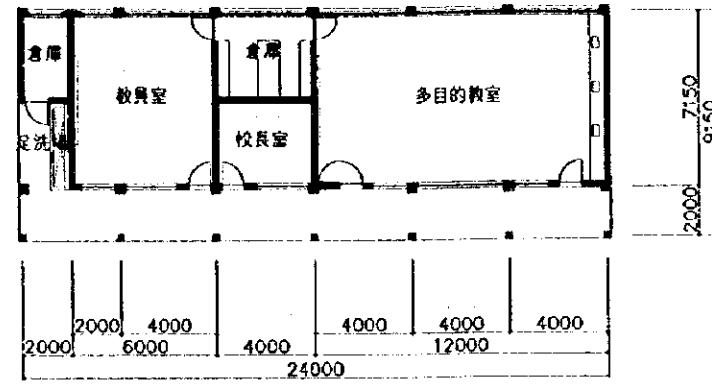


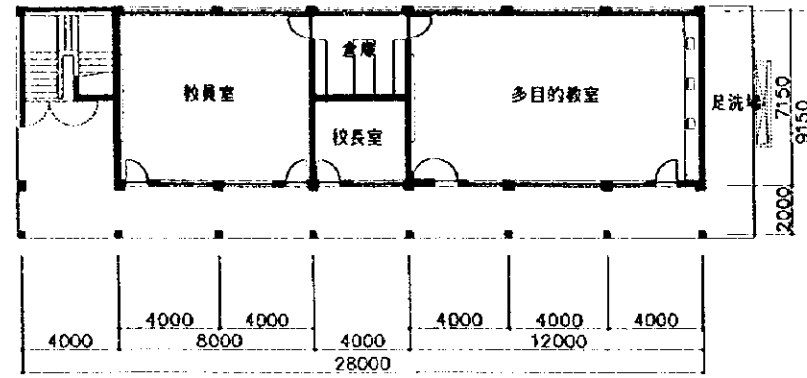
(5) 基本設計図



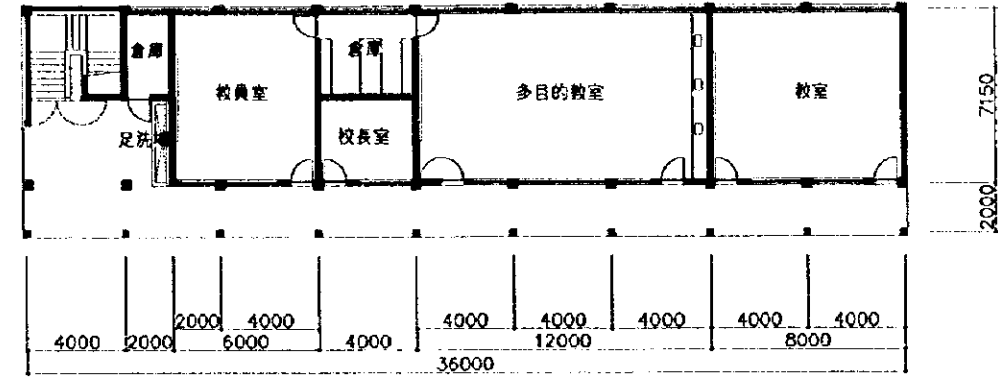
SB・Mユニット



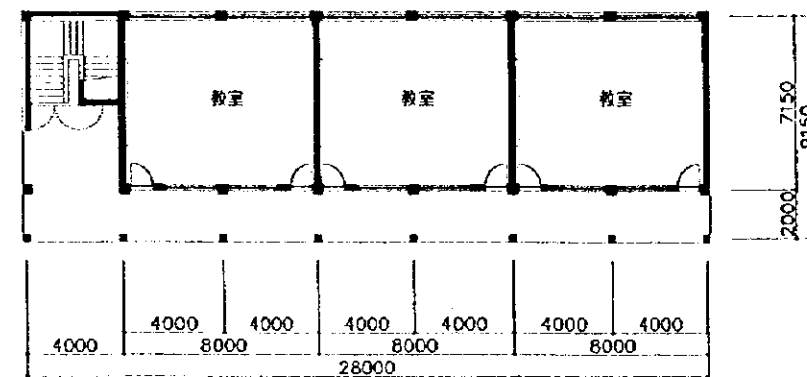
SB・Sユニット



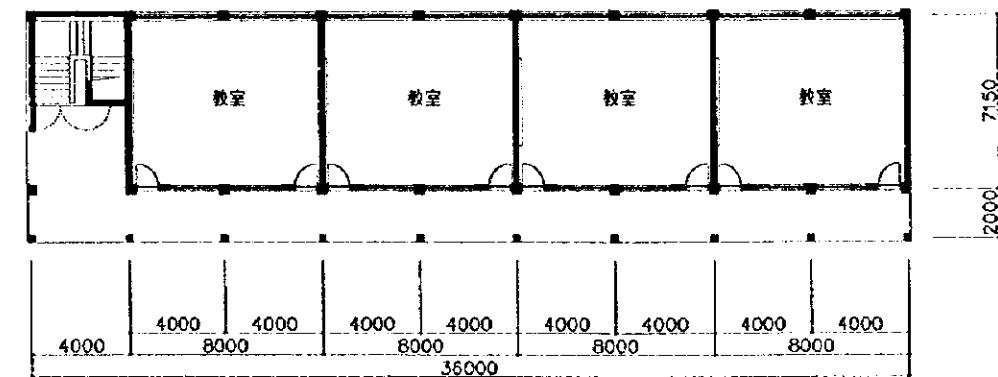
LB・Mユニット



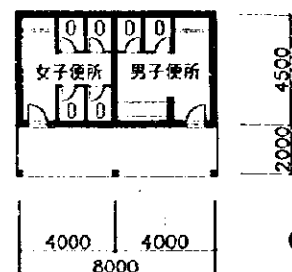
SB・M+1Aユニット



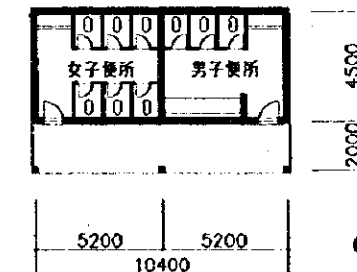
3Aユニット



4Aユニット



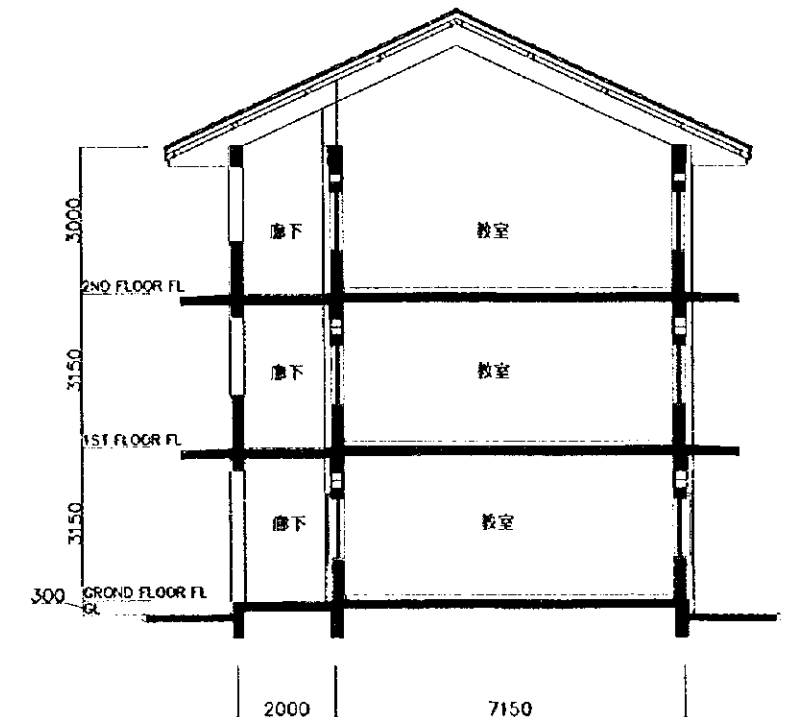
CSユニット



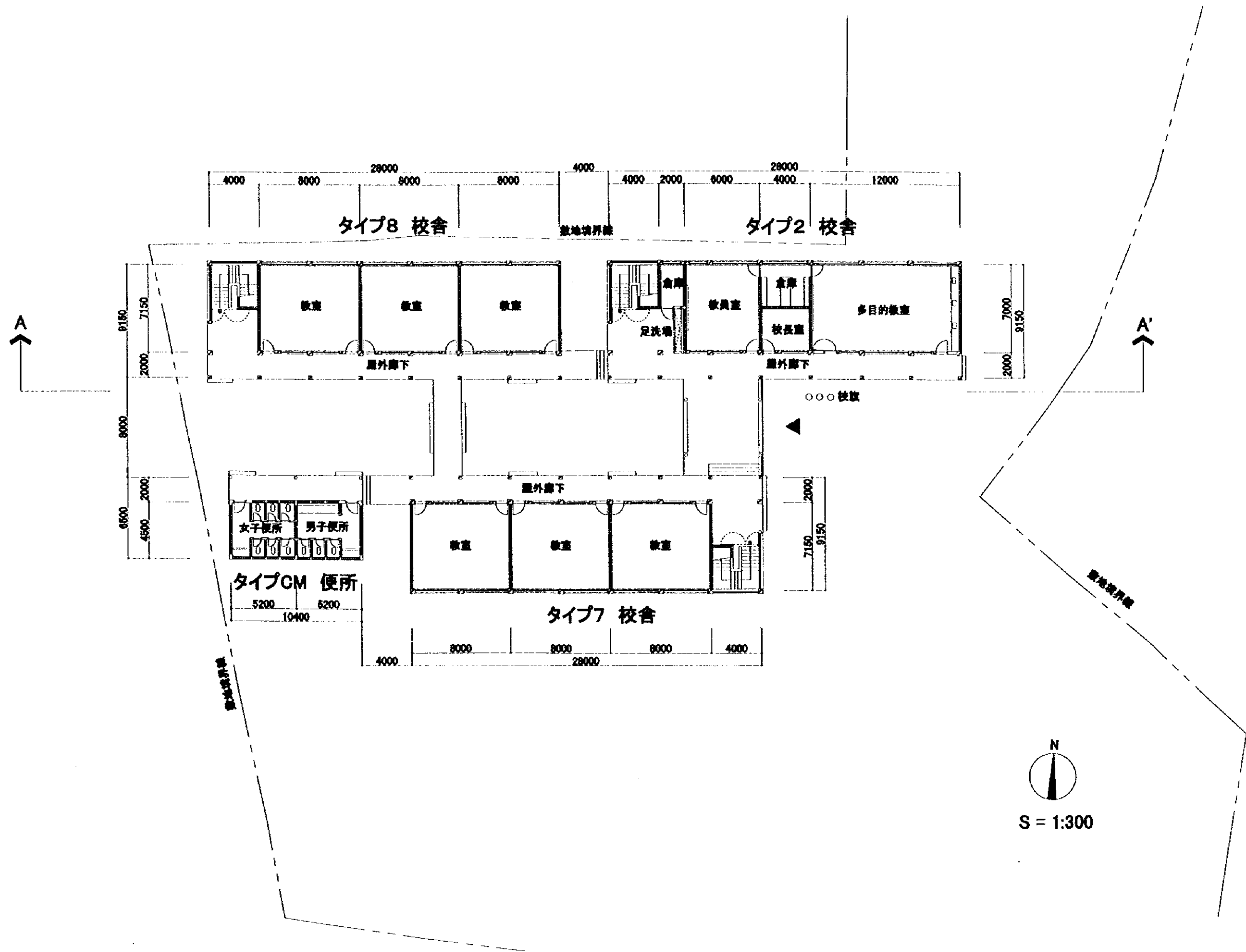
CMユニット

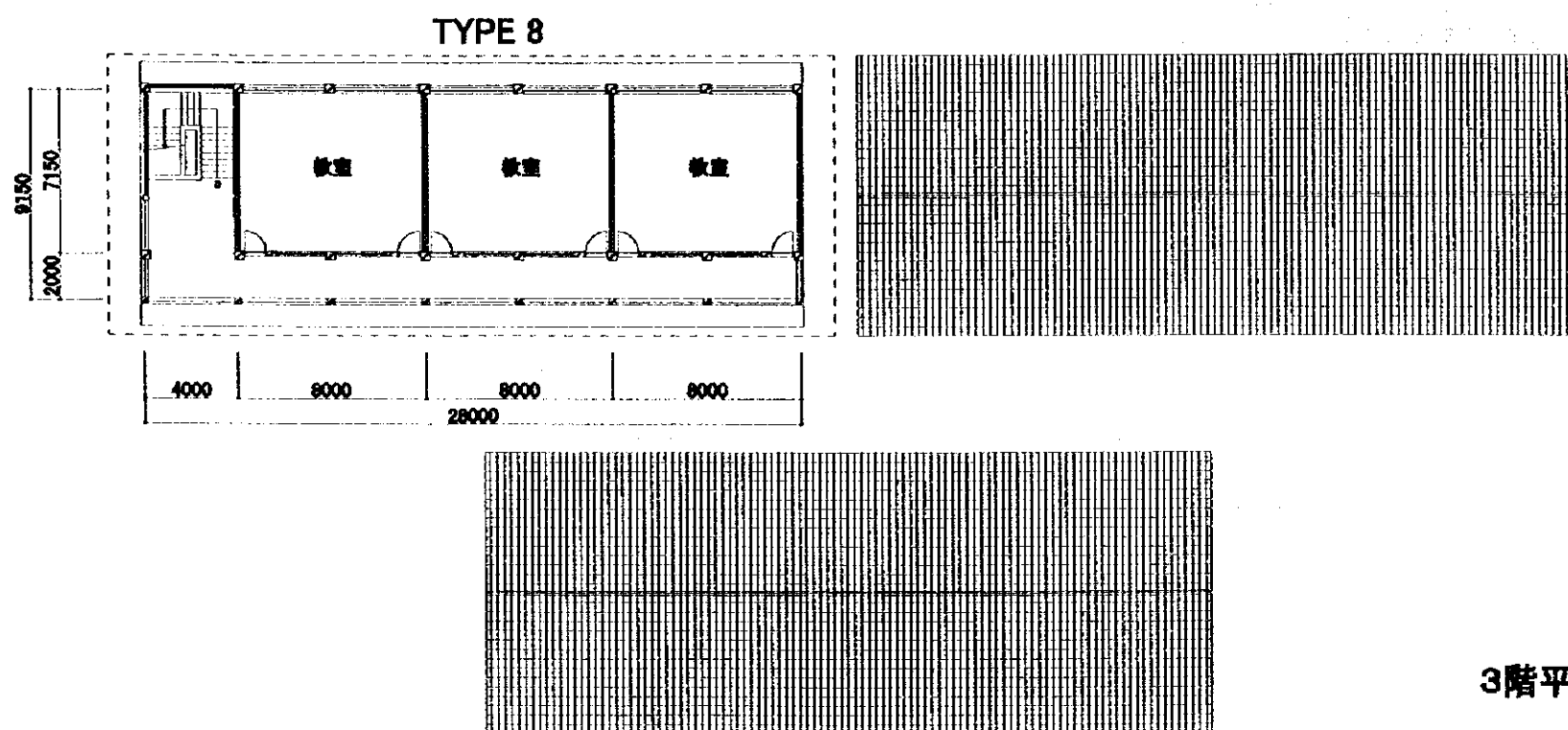
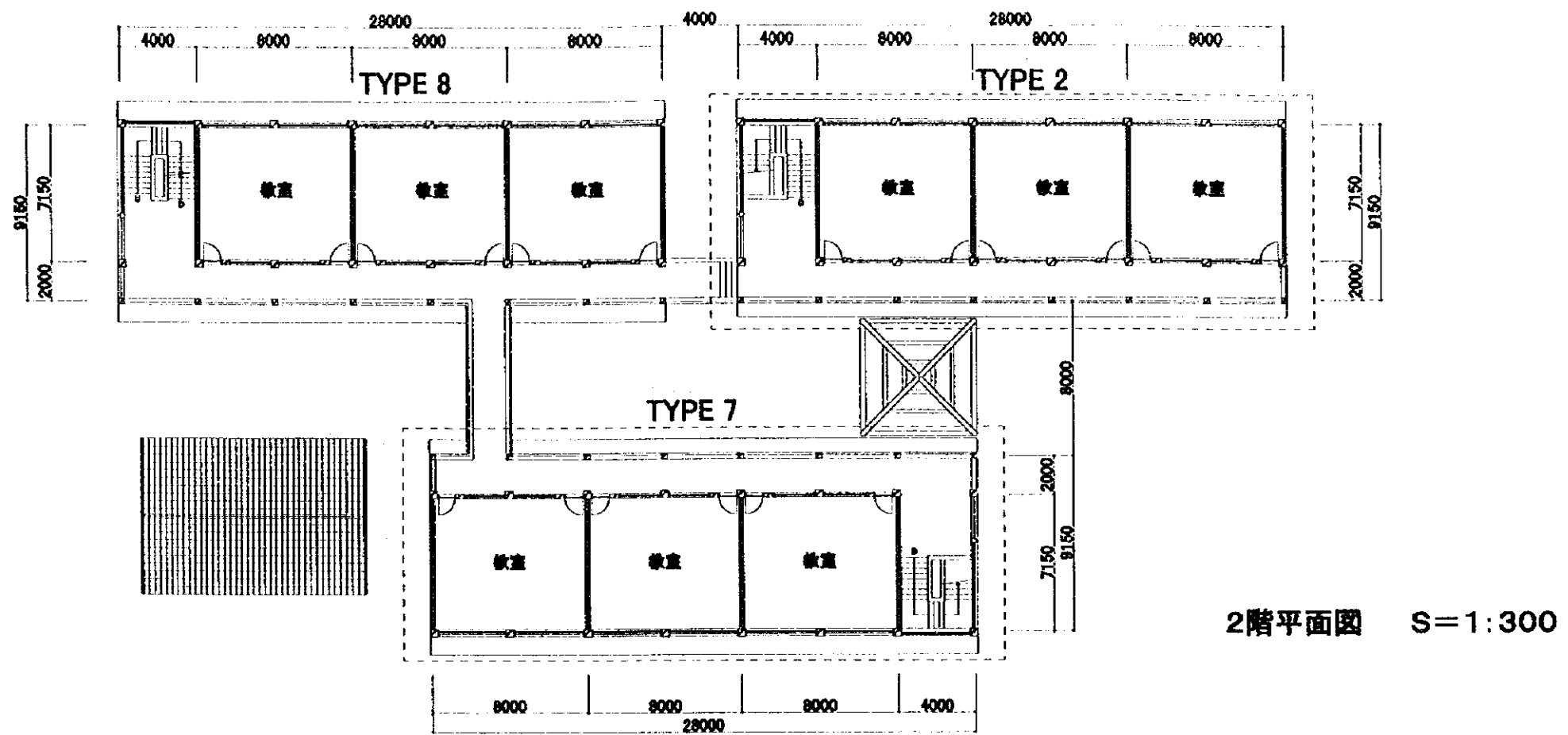
建物タイプ構成表

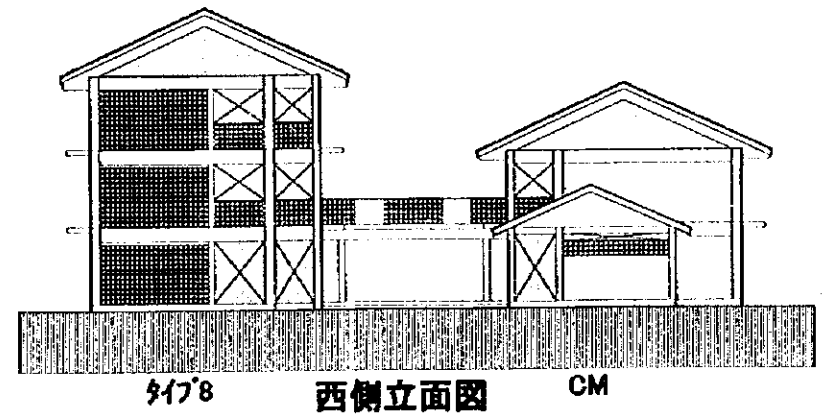
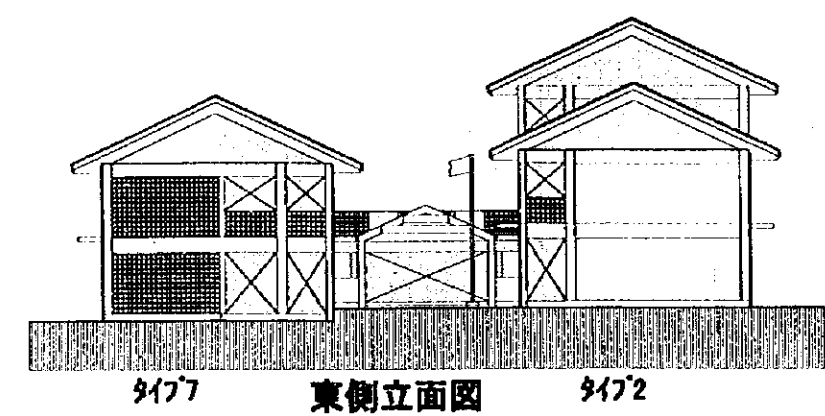
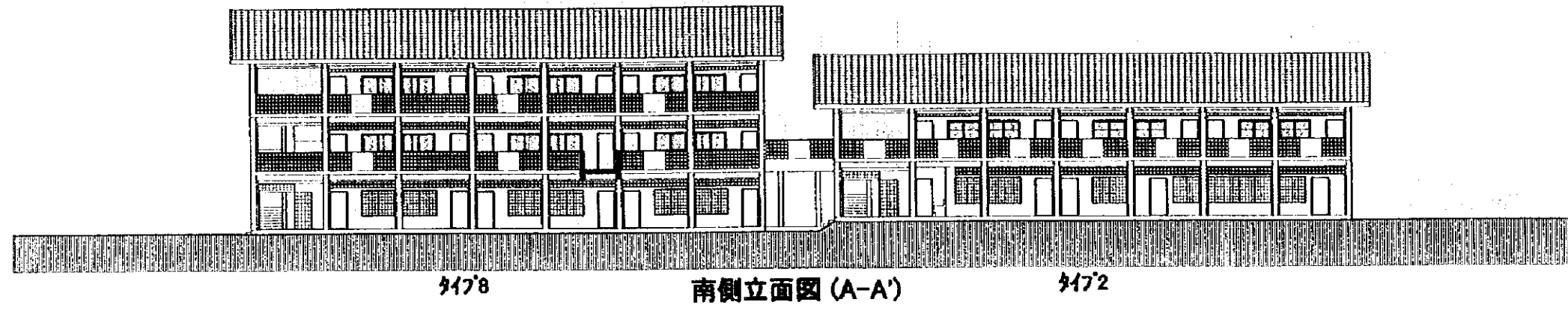
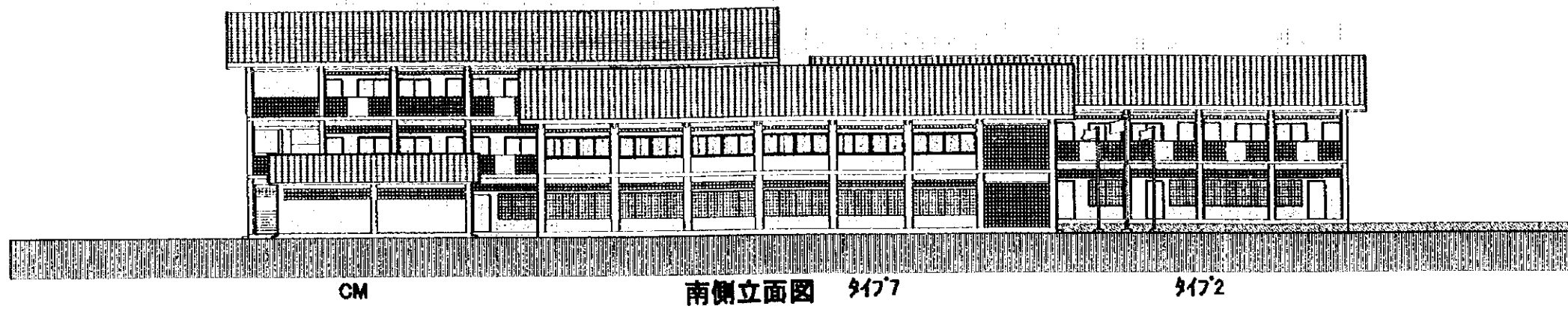
建物タイプ名	構成ユニット			教室数	床面積 (㎡)
	1 F	2 F	3 F		
タイプ 1	SB・S			0	219.60
タイプ 2	SB・M	3A		3	512.40
タイプ 3	SB・M	3A	3A	6	768.60
タイプ 4	LB・M	3A	3A	6	768.60
タイプ 5	SB・M+1A	4A		5	658.80
タイプ 6	SB・M+1A	4A	4A	9	988.20
タイプ 7	3A	3A		6	512.40
タイプ 8	3A	3A	3A	9	768.60
タイプ 9	4A	4A	4A	12	988.20



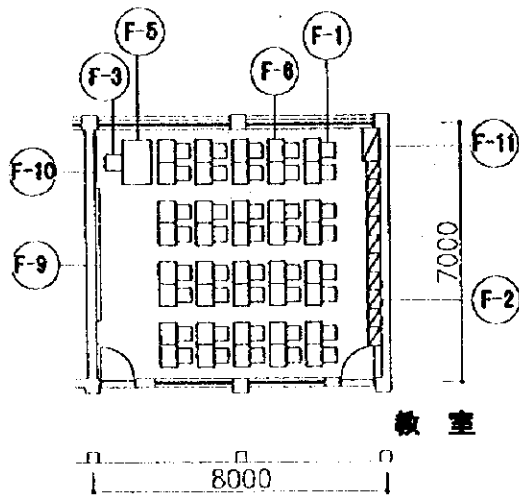
標準断面図



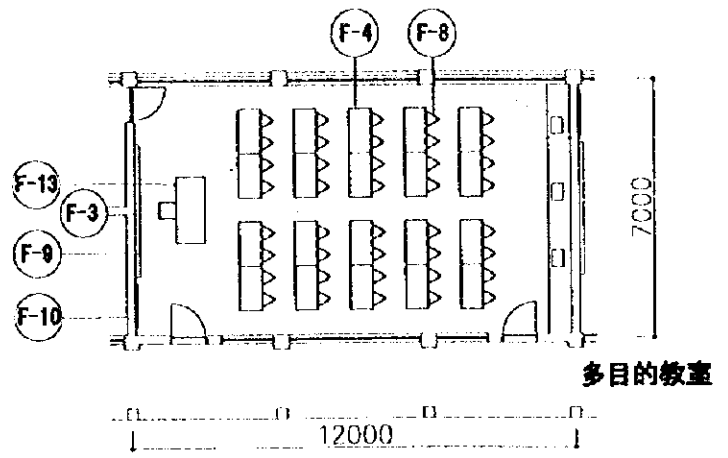




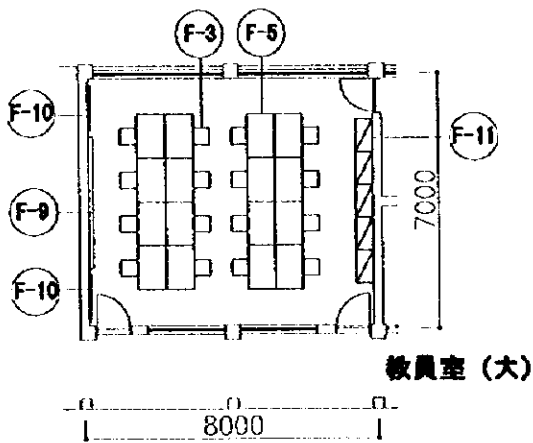




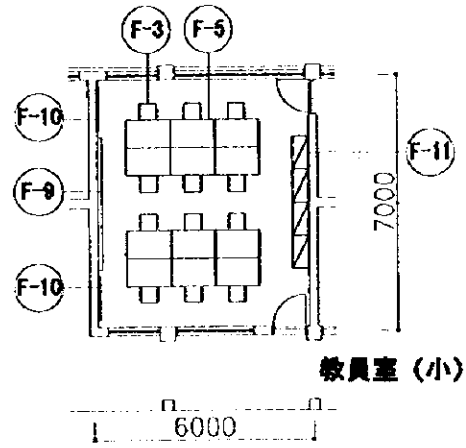
教室



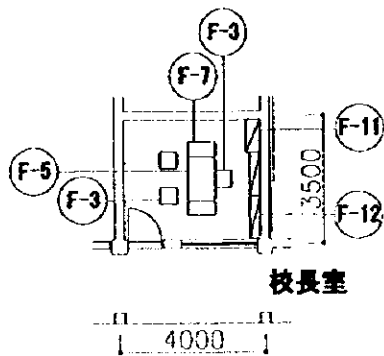
多目的教室



教員室(大)



教員室(小)



校長室

記号	品名	サイズ (W,D,H)
F-1	生徒用椅子	400×500×800
F-2	生徒用収納棚	500×350×650
F-3	教員用椅子	450×500×900
F-4	生徒用作業台	1,200×600×850
F-5	教員用机	1,200×760×760
F-6	生徒用机	600×450×740
F-7	サイドキャビネット	400×760×760
F-8	生徒用スツール	360×360×600
F-9	黒板	4,500×1,200
F-10	掲示板	1,000×1,200
F-11	職員用収納キャビネット	900×400×1,830
F-12	本棚	1,200×300×1,850
F-13	教員用デモンストレーション机	1,800×760×760

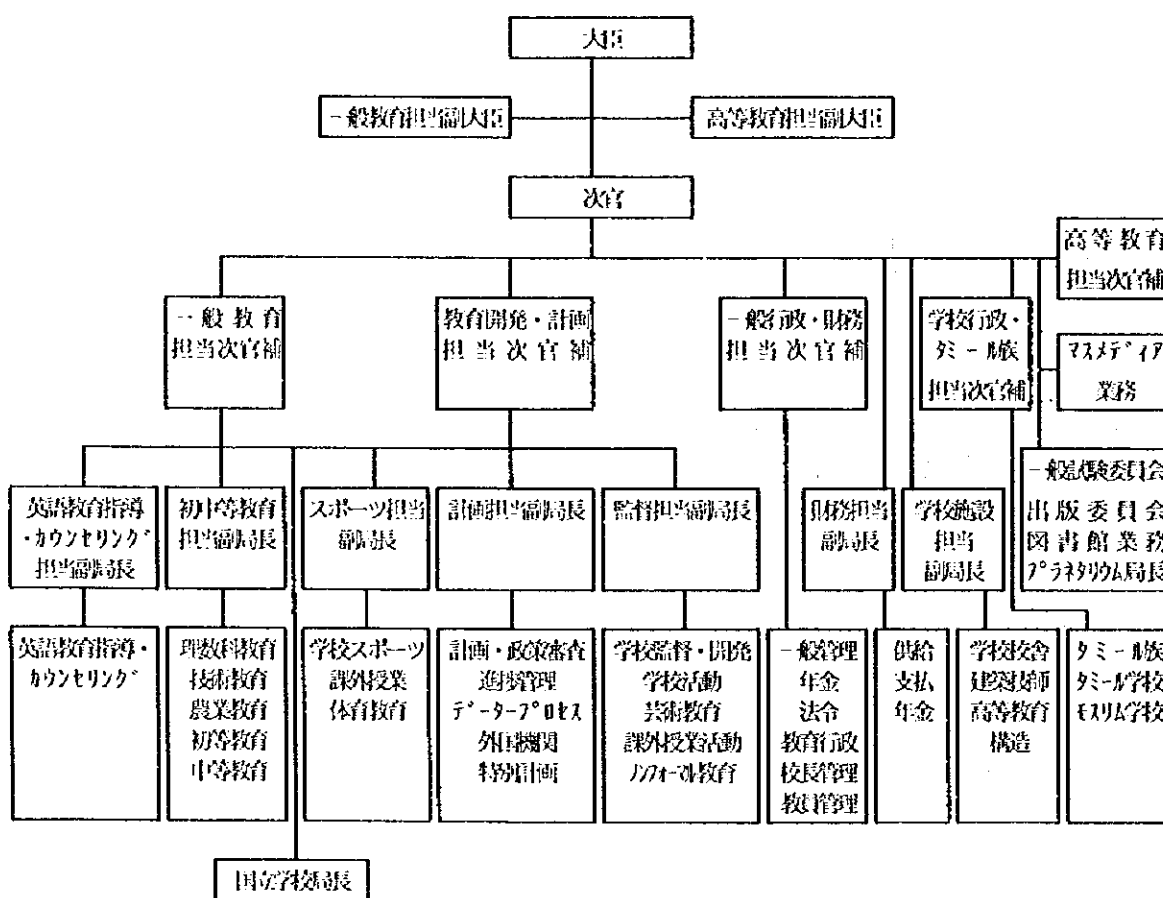
### 3-4 プロジェクトの実施体制

#### 3-4-1 組織

##### (1) 主管庁

本計画の実施機関は教育省であり、その組織図を下に示す。

図3-2 教育省の組織図



##### (2) 実施担当機関

本計画の実施機関として教育省と財務計画省、および西部州とサハラガムワ州の教育省から構成される計画推進委員会 (PSC: Project Steering Committee) が担当する予定であり、その組織図とその構成員を以下に示す。



図 3 - 3 計画推進委員会の組織図

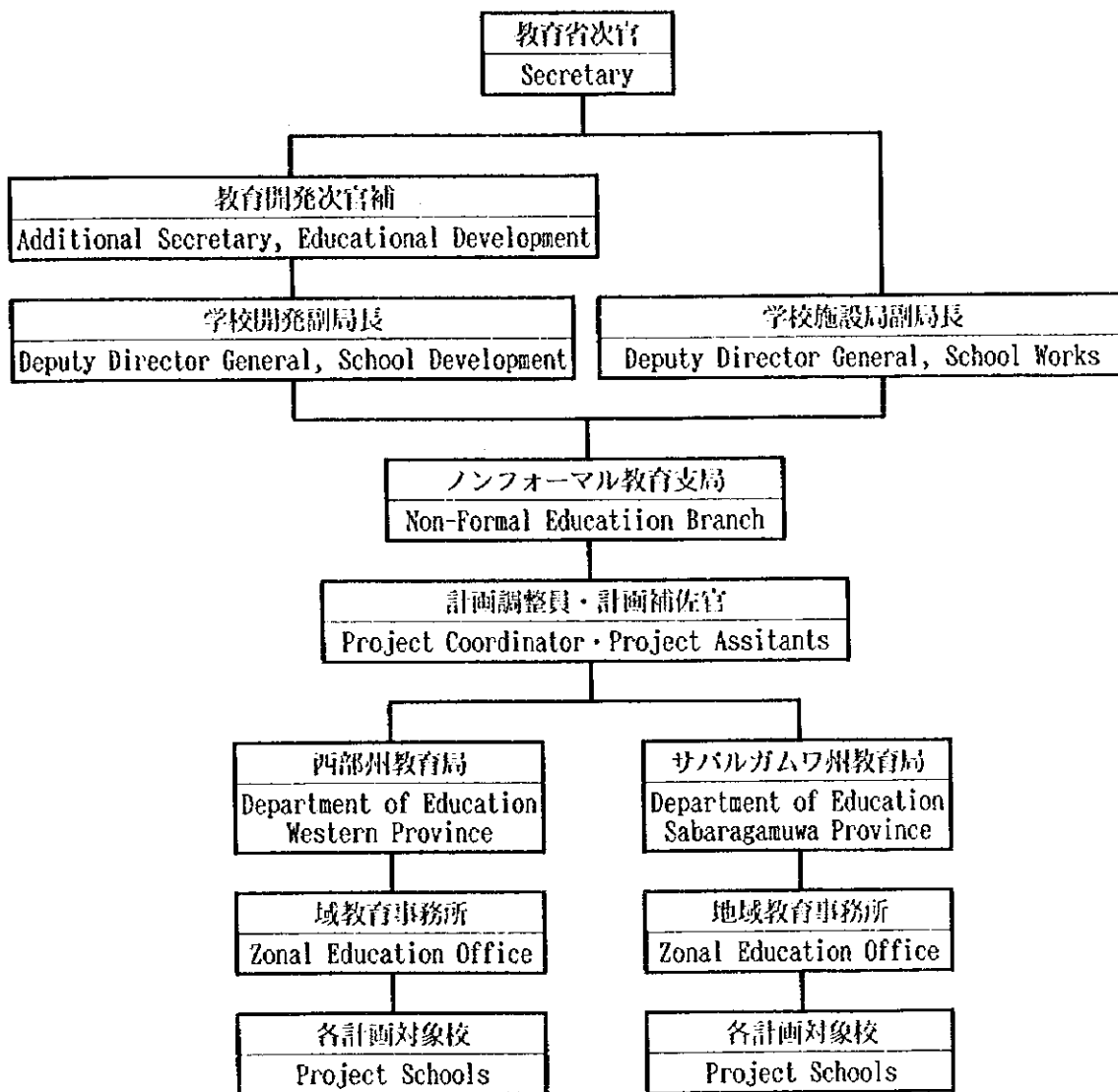


表 3 - 15 計画推進委員会構成員一覧表

	氏名	地位	所属部署
1	ラル ベレラ	次官補	教育開発・計画部、教育省
2	シリセナ	局長	計画局、教育省
3	—	局長	学校施設局、教育省
4	サロジャ ロクケタゴラ	建築技師	教育省
5	ピヤセナ	副局長	教育局、教育省
6	アベシリ	計画助手	ノンフォーマル局、教育省
7	グナセカラ	局長	計画局、教育省
8	ジャヤマハ	日本局長	財務計画省
9	アベグナワルハン	人材開発/国家計画開発局長	財務計画省
10	—	長官	西部州教育省
11	—	長官	サバラガムワ州教育省
12	ブレマシリ ウェリウイタ	(前局長)	(ノンフォーマル局)

### 3-4-2 予算

#### (1) 教育省の予算

1995年の教育予算は約209億ルピーであり国家支出の約8.6%を占め、また国内総生産の約3.16%であるが、現在教育改革が押し進められているため教育分野への予算投入は今後5年間で国内総生産の4.5%程度へと増やされる計画である。教育予算は教育省の予算と州政府の教育予算から構成されている。現在、教育分野での地方分散化政策が進められており、1994年以降州政府の教育予算は教育省の予算より増大され、1998年から1999年は約1.2倍と州政府の教育予算が増加されている。

表3-16 教育予算

(単位：百万ルピー)

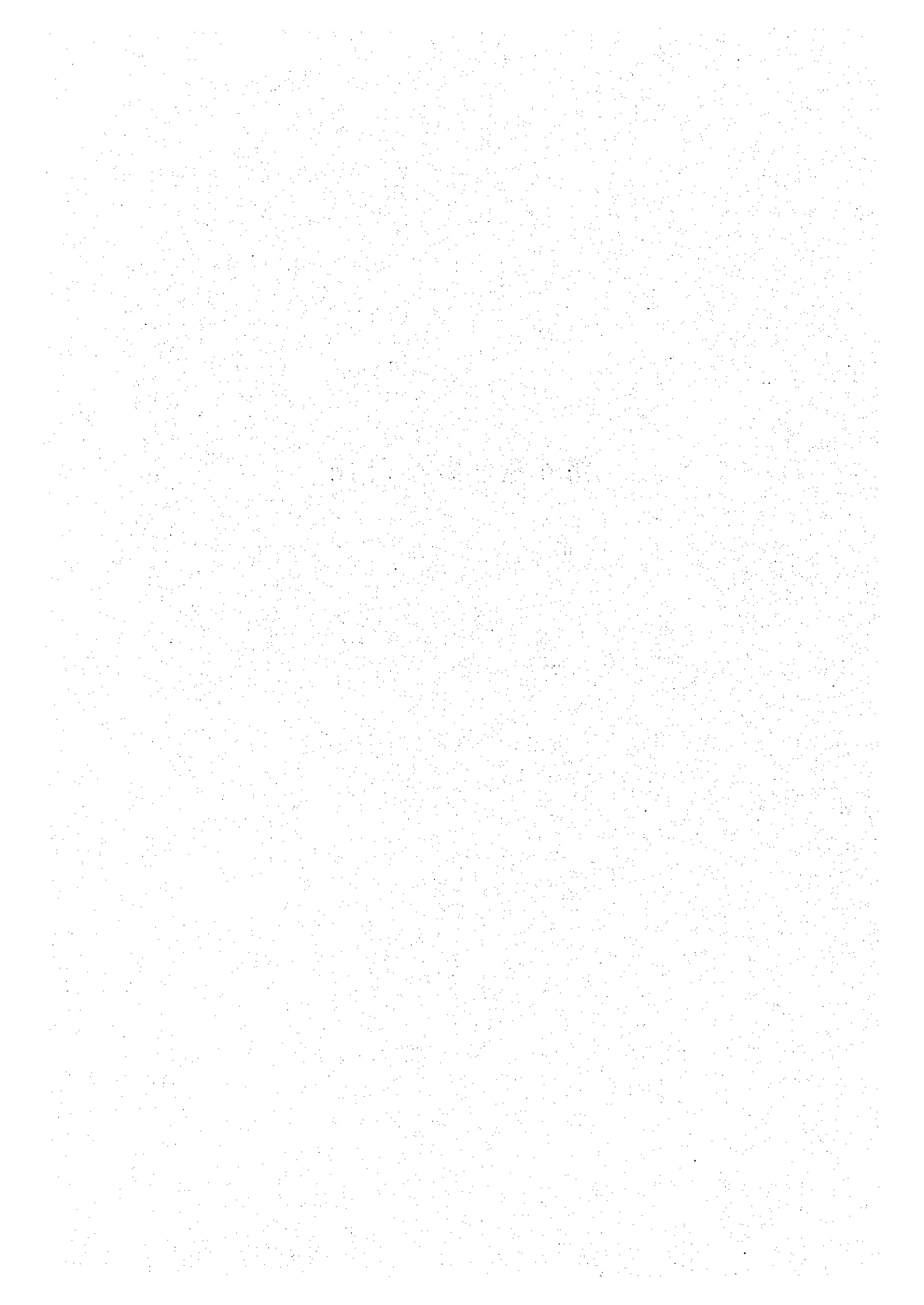
年度	GDP	国家予算	教育予算合計	教育省予算	州政府教育予算
1993	499,708	191,388	16,050	8,174	7,876
1994	579,159	197,733	16,628	8,295	8,333
1995	662,364	244,036	20,926	8,554	12,372

### 3-4-3 要員・技術レベル

教育省は本計画実施担当機関である計画推進委員会に表3-15に示された委員を任命する予定である。教育省は過去に日本の無償援助による施設案件であるマタラ教員養成学校建設計画、青少年教育訓練センター、国立教育研修・研究所拡充計画等の多くの援助を受けており、既に日本の無償援助のシステムを熟知している。また、財務計画省も計画推進委員会の構成員の一員となっており、交換公文の締結およびその関連業務を担当し、教育省を支援する予定である。

本計画は実質的には計画対象地域である西部州とサバラガムワ州の州教育局が担当窓口となり計画実施がおこなわれる。両州の教育局は過去に州政府の技術部(Engineering Office)の支援を受けて世界銀行(WB)およびスウェーデン開発庁(Sida)による学校施設建設に係る援助計画の実施を担当しており、外国援助プロジェクトの実施について十分な実務経験を有する。したがって、両州の教育省は日本人コンサルタントの協力のもとに、教育省の本省、財務計画局および州政府技術部の協力のもとに本計画の担当機関として十分に機能すると判断される。

## 第4章 事業計画



## 第4章 事業計画

### 4-1 施工計画

#### 4-1-1 施工方針

本計画は現地業者、並びに現地調達資機材を最大限に活用し、25校の初中等学校の建設と機材の調達を限られた期間内に実施するものである。従って、本計画は相手国側の実施能力や現地の建設事情並びに調達事情を十分に反映した施工計画のもとに実施されなければならない。よって、本計画を実施するための施工計画を以下の原則と方針に従って策定する。

#### (1) 本計画実施上の原則

日本国の閣議において本計画が承認され、両国の間で実施に関する交換公文が締結された場合、本計画は以下の原則の下に実施される。

- 1) 本計画は日本国国民の税金を原資とし日本国の予算制度のもとで実施される
- 2) 教育省はスリ・ランカ政府を代表して日本法人コンサルタントと契約し、本基本設計調査の結果に基づいて実施設計、業者選定補助業務、及び施工監理を委託する
- 3) 教育省は、上記コンサルタントの協力のもとで、事前資格審査付き一般競争入札によって日本の法人建設会社を選定し、同社と一括請負契約を締結して本計画施設の建設並びに機材の調達を委託する

#### (2) 施工の基本方針

- 1) 限られた期間内に建設工事を効率的に実施するため、現地の建築事情や調達事情に明るいローカルコンサルタント並びにコントラクターを最大限に活用する
- 2) 施工現場においては安全管理、品質管理、並びに工程管理を徹底するとともに、これらに関して日本の建設会社が持つ技術を最大限に移転する
- 3) 完成後の維持管理の便宜のために、建設工事に必要とする資機材及び本計画に含まれる教材並びに教育家具・備品は、極力スリ・ランカ国内で生産されているか、または同地域の一般市場に流通している輸入品の中から選定する

#### 4-1-2 施工上の留意事項

本計画の工事に係る条件の特性を検討し、以下に工事上の留意点を述べる。

#### 1) 一般留意事項

- ① 工事には、建築・設備・機材の各工事、必要資機材のタイムリーな調達、専門技能

工投入時期等、通常の工事より多くの要素が絡む。決められた工期の遵守には、手持ち、手戻りのないよう、綿密な工程計画が必要である

- ② 激しい降雨は特に土工事・基礎工事に影響が大きい。例年では、7～9月、12月～2月は乾期であるが、近年天候の不順により雨期がずれ易いため、工程に充分留意する必要がある
- ③ 本計画の着工に先立って、スリ・ランカ側による建設敷地内の既存校舎の撤去が必要なサイトも数多く含まれており、本工事工程計画に影響を及ぼさないよう、予定計画どおりに撤去が完了する必要がある
- ④ 工事期間中も既存施設では継続して授業が行われるため、その保護対策も仮設計画上必要である

## 2) 施工スケジュール

25ヶ所の建設地が東西 100 km、南北 100 kmの広い範囲に点在していることから、下記に示すように2年度にわたる2期分けにて施工監理計画を策定する。コロンボ市に近く、建築技術者の確保が容易なガンバハ県および地理的に隣接しているケゴール県の一部の合計 12 校を第1期工事にて実施し、ラトナブラ県と残りのケゴール県の学校の合計 13 校を第1期にて工事経験を積んだ建築技術者を活用して第2期工事として実施する。

工期	県名	学校番号	校数
第1期工事	ガンバハ県	G1、G5、G7、G11	12校
	ケゴール県	K1、K4、K10、K13、K14、K22、K28、K31	
第2期工事		K26、K33、K36	13校
	ラトナブラ県	R1、R2、R4、R5、R7、R9、R13、R25、R27、R32	

### 4-1-3 施工区分

#### (1) 無償資金協力の原則に基づく受益国の負担工事

以下の事項は日本国の無償資金協力の原則に従い受益国の負担で行われる。

- 1) 敷地の確保
- 2) 整地工事
- 3) 敷地内障害物の撤去
- 4) アクセス道路の確保
- 5) 敷地へ電力・水道・電話・下水等インフラの引き込み
- 6) 敷地周囲の塀・門の建設、植栽・造園工事
- 7) 計画機材以外の家具・事務機器類の調達

#### (2) 整地工事

整地工事は受益国の負担で行われるものであり、建築工事が予定通りに実施されるため

には、整地工事が遅滞なく実施される事が前提となる。特に下記の5校は建設予定地に1m以上の高低差があるため、相手国による整地工事が建築工事の着工前に確実に実施される必要がある。

表4-1 1m以上の高低差の整地工事を要する計画対象校

	学校番号	学校名	建設用地
第1期工事	G7	ヘキタハ・クリストキング学校	教室・教員室棟用地
	K4	デディガマ初中等学校	便所棟用地
	K13	アシヨカ初中等学校	教室・教員室棟用地
	K28	デデュカラ初等学校	便所棟用地
第2期工事	R27	バナウエナ南学校	教室・教員室棟用地

### (3) 障害物の撤去

以下の22校については老朽化した既存建物の撤去が必要であり、スリ・ランカ政府は着工迄に撤去工事を行うものとする。

表4-2 既存建物の撤去工事を要する計画対象校

学校番号	学校名	撤去建物内容	撤去棟数	撤去面積	
第一期工事	ガンバン県				
	G1	マドゥマバンダラ初等学校	教室、教員室、倉庫	4棟	828 m <sup>2</sup>
	G7	ヘキタハ・クリストキング学校	教室	3棟	1,116 m <sup>2</sup>
	G11	ダルワコトウア・セントアンズ学校	倉庫	1棟	90 m <sup>2</sup>
	ケゴール県				
	K4	デディガマ初中等学校	教室、倉庫	2棟	234 m <sup>2</sup>
	K10	ハムヌガマ・マリヤデワ初等学校	教室、理科室	4棟	410 m <sup>2</sup>
	K14	パデウエラ初等学校	教室、倉庫	3棟	549 m <sup>2</sup>
	K22	ウエサピディヤ・スリスマンガラ初等学校	教室、理科室	2棟	216 m <sup>2</sup>
	K28	デデュカラ初等学校	教室、教員室	1棟	161 m <sup>2</sup>
	K31	アミティリカラ初等学校	教室、倉庫	2棟	216 m <sup>2</sup>
	K26	デヒオウイタ・ブディスト初等学校	教室	2棟	278 m <sup>2</sup>
	第二期工事	K33	ガディレシャン初等学校	教室、教員室、倉庫	3棟
K36		ポトゥデニヤカンダ学校	教室、教員室、倉庫	1棟	240 m <sup>2</sup>
ラトナプラ県					
R1		ゴデワラ学校	教室、教員室	4棟	357 m <sup>2</sup>
R2		マデウワンウエラ・スリサラナンダ初等学校	教室	3棟	425 m <sup>2</sup>
R4		ハルミラケティヤ学校	教室、多目的室	1棟	310 m <sup>2</sup>
R5		ラフラ初等学校	教室	2棟	278 m <sup>2</sup>
R7		ガルバヤ学校	教室	3棟	236 m <sup>2</sup>
R9		ランワラ学校	教室	2棟	206 m <sup>2</sup>
R13		ダーマハナ学校	教室	2棟	391 m <sup>2</sup>
R25	ウエウダガラ南初等学校	教室	4棟	515 m <sup>2</sup>	
R27	バナウエナ南学校	教室	2棟	211 m <sup>2</sup>	
R32	ヒデラナ初等学校	教室、教員室、倉庫	1棟	505 m <sup>2</sup>	

### (4) アクセス道路の確保

各校までのアクセス道路は建設工事を行う上で問題ないことが確認されているが、建設予定地が学校敷地内でも校門より離れた場所に位置しているケースが大部分であり、スリ・ランカ政府により校庭内に建設予定地までのアクセス通路が確保される必要がある。日本側は安全確保のため通路に仮囲いを設ける。

## (5) インフラストラクチャー引き込み

スリ・ランカ政府はそれぞれ以下に示す分岐点までの工事を行うこととする。

### 1) 電力

日本側は道路沿い敷地内に引き込み柱を建て幹線ケーブルを配線する。スリ・ランカ政府は敷地外の配線並びに当該引き込み柱への積算電力計の設置を行い当該ケーブルを積算電力計へ接続する。電話設備は本計画においては計画しない。

### 2) 水道

日本側は道路沿い敷地内に止水栓を設ける。スリ・ランカ政府は敷地外の配管、敷地内に量水器の設置、並びに当該止水栓への水道管の接続を行う。なお、上水道も井戸も無い G1 マドゥバンダラ初中等学校、R1 ゴデワラ学校、および R7 ガルバヤ学校の3校についてはスリ・ランカ政府により削井を行い、KI 新ヘッティムラ初中等学校と R27 バナウェナ南学校の2校は日本側にて雨水槽を設けるものとする。

## (6) 外構工事

外構工事は基本的には受益国の負担工事であるが、国旗掲揚ポールは学校の運営・管理上、校長室・教員室の近辺に配置する必要がある。既存の国旗掲揚ポールは老朽化が激しく移設の際に破損する可能性が大きいので本計画においては日本側の負担工事とする。敷地外周の塀の建設並びに門の設置、敷地をより有効に利用するために必要な外周塀に沿った擁壁、校庭の植栽、及び花壇等の造園工事、及びその他の外構工事は全てスリ・ランカ政府の負担とする。

## (7) その他

計画機材以外の教材、接客用家具、コンピューター並びにコピー機等の事務機器類、及びその他本計画の日本側負担事項に含まれていないものはスリ・ランカ政府の負担とする。

### 4-1-4 施工監理計画

本計画は合計 25 校の初中等学校の建設を日本国の予算制度の下で実施するものであり、その規模は延べ面積で約 25,000 m<sup>2</sup> である。限られた工期内に確実に工事を完工すべく、実施機関への密接な報告と打ち合わせ、施工者への適時な指導・指示等、施工監理業務が適切に行われる必要がある。そこで本計画は以下に述べるような一般監理と常駐監理の 2 本立で監理を行うこととする。



(1) 一般監理

コンサルタント業務に関する全体工程の管理、総合的技術判断、常駐監理者の専門以外の領域について技術判断・指導・支援、および JICA 本部への定期報告等を行う。一般監理は、基本設計調査から本計画に携わっているプロジェクトマネージャーの統括の下に、実施設計に携わる技術者がこれに当たる。

(2) 常駐監理

実施設計に携わる日本人建築技術者の中から選定される技術者がスリ・ランカ国に駐在し、現地コンサルタントの協力の下で常駐監理に当たる。その主な業務は日常の工程管理、施工図の検討・指導、材料・機器の承認、一般技術指導、施主への随時報告、JICA コロンボ事務所への定期報告、中間検査並びに竣工検査の実施、監理報告書の作成等である。本計画のための施工監理体制を組織表にて下図に示す。

図 4-1 第 1 期施工管理体制組織表

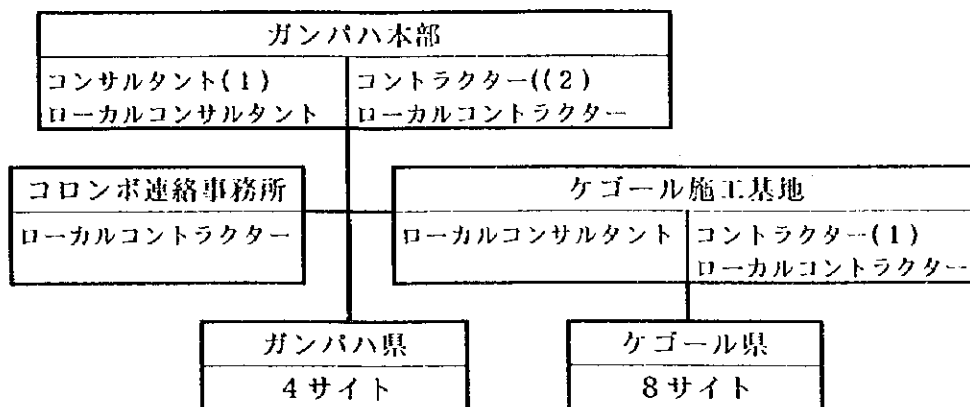
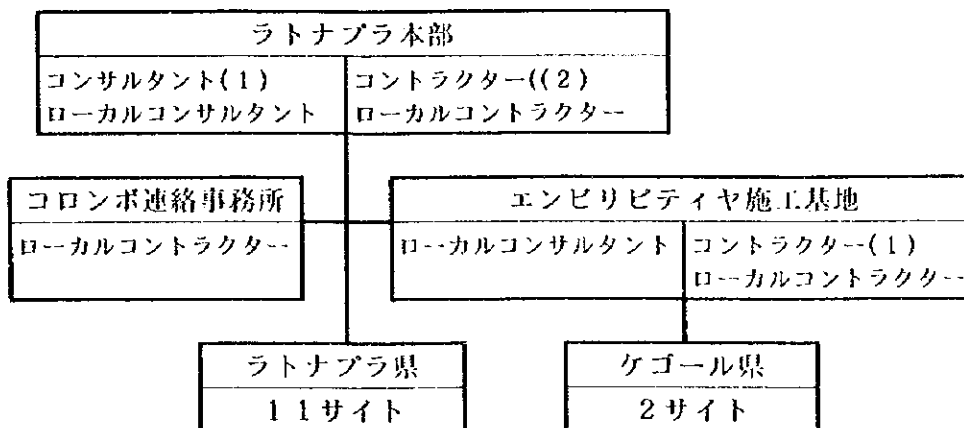


図 4-2 第 2 期施工管理体制組織表



4-1-5 資機材調達計画

(1) 建設資機材

建設資機材は、可能な限り現地調達を優先することを原則とするが、建設工期、供給能力、堅牢性、品質、施工性、コスト、維持管理の容易さ等について十分に検討する必要がある。基本設計調査時に実施した建設資機材調査に基づき、本計画で使用する資機材調達を以下のとおり計画する。

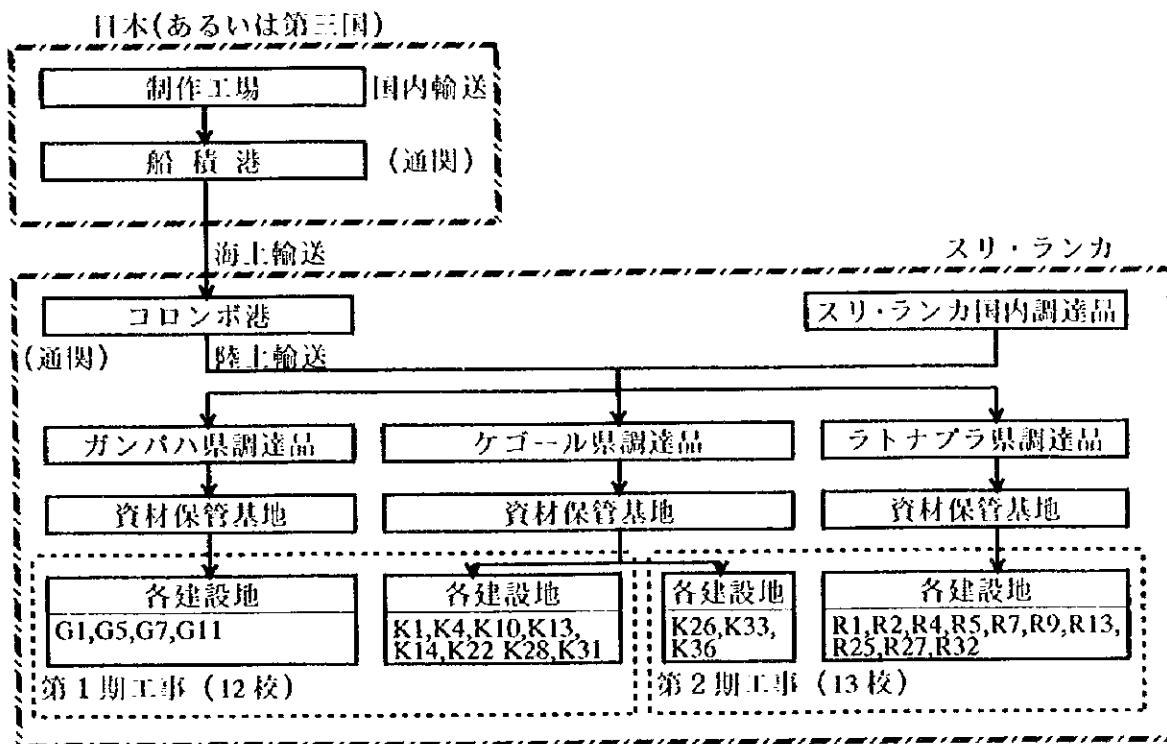
表4-3 主要資機材の調達地一覧表

資機材	スリ・ランカ 調 達	日本または 第三国調達	備 考
建設工事			
セメント	○	-	現地調達はトリンコマリーのセメント工場が稼働を止めている現状では、定期的な供給に難点があるが、輸入品も含め供給に支障はない
砂	○	-	雨季冠水時不足するが、ケラニヤ河流域の川砂を使用する
砂 利	○	-	砕石を使用する
鉄 筋	-	○	現地では輸入に依っているため日本製とする
鉄 骨	○	-	供給が少ないが、本計画用の種類は有る
型 枠 材	○	-	現地のベニア型枠材で問題無い
レ ン ガ	○	-	日乾レンガが主体、化粧用は使用不可。雨期の調達に問題有り
テラゾー	○	-	現地ですべて一般的に使用されており耐久性も有る
半磁器タイル	○	-	公社で製造、品数、種類は少ない
ベニヤ板	○	-	現地製は品質に若干問題有る
木 材	○	-	現在伐採が制限されているため輸入材が一般的に出回っているが、十分に乾燥したものを得るのは難しい
金属建具	-	○	製造されていない
木製建具	○	-	供給量、品質に若干問題があるが使用可能
金属金物	○	○	現地製は品質、種類に問題がある
ガ ラ ス	○	-	品数、種類は少ない
塗 料	○	-	コスト高であるが、維持管理上現地調達とする
アスファルトフェルト	○	-	簡易防水であれば問題ない
屋 根 瓦	○	-	焼成温度が低く、脆いが、スリ・ランカの伝統的屋根材である
什器・備品	○	○	品質、用途、納入工期による
設備工事			
ビニール管	○	-	現地製で問題ない
スチールパイプ	○	-	現地製で問題ない
バルブ配管金物	○	-	現地製で問題ない
ポ ン プ	○	-	現地製、維持管理可能
衛生陶器	○	-	現地製で問題ない
設備工事			
配 電 盤	○	-	現地製で問題ない
電線・ケーブル	○	-	現地マーケットに大量に出回っている
照明器具	○	-	現地マーケットに大量に出回っている
弱電機器	○	-	現地マーケットに大量に出回っている

(2) 調達・保管計画

建設資材、家具、機材は可能な限り現地調達とするが、スリ・ランカ国では輸入資機材

についても政府間協力案件では特に輸入規制はなく、また、関税については国内制度により免税扱いとはならないが、スリ・ランカ側の実施機関がこれを負担することにより、日本側の関税負担は免除されている。通関を円滑に行うためには関税必要額の予算を、あらかじめスリ・ランカ側の実施機関で年度予算に計上しておく必要がある。資機材の搬入経路及び保管計画は以下のとおりである。



#### 4-1-6 実施工程

日本国政府の無償資金協力により本計画が実施される場合、両国間で交換公文(E/N)締結後に詳細設計図書作成、入札・契約、建設・機材工事の3段階を経て、施設建設、機材調達が行われる。

##### (1) 詳細設計段階

基本設計をもとに入札用図書を作成する。その内容は詳細設計図、仕様書、計算書、予算書等で構成される。詳細設計期間中の必要な各時点にスリ・ランカ政府側関係機関との打合せを行い、最終成果品の承認を得て入札業務に進む。所要作業期間は、約5.0カ月と予想される。

##### (2) 入札・契約段階

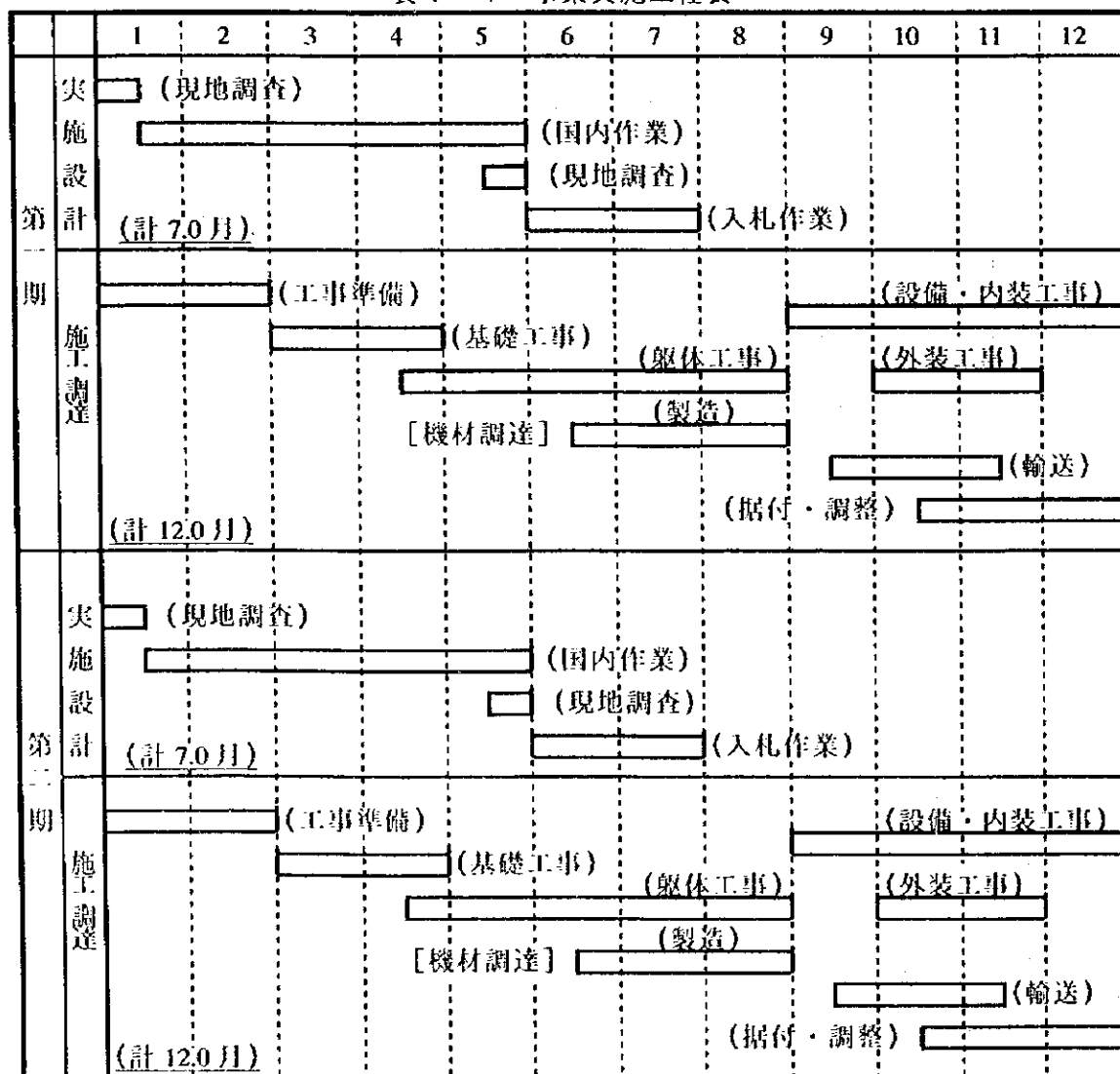
詳細設計完了後、日本において工事入札参加資格の事前審査(P/Q)を行う。審査結果に

に基づき実施機関が入札参加業者を招集し、関係者立ち会いのもとに入札を行う。最低価格を提示した入札者が、その入札内容が適正であると評価された場合、落札者となり、スリ・ランカ政府と工事契約を行う。入札から工事契約までに要する期間は約2ヵ月と予想される。

(3)建設・機材工事段階

工事契約の署名後、日本国政府の認証を得て着工する。本計画の規模・施設内容から判断し、建設資材の調達に順調に行われ、スリ・ランカ政府側負担工事が円滑に行われると想定すれば、第1期および第2期工事による学校建設に係わる工期は各々12ヵ月と見込まれる。以上のスケジュールを以下に示す。

表4-4 事業実施工程表



#### 4-1-7 スリ・ランカ政府の負担事項

日本国の無償資金協力は自助努力による開発への支援を目的としており、この基本方針に基づき日本国政府は受益国側にも応分の負担を求めている。この原則は世界中の全ての受益国に対し平等に適用されている。

従って日本国政府が本計画の実施を決定した場合、スリ・ランカ政府は「4-1-3 施工区分」で述べた負担工事の他に以下の措置を講じなければならない。

- 1) 本計画に必要な資料・情報の日本側への提供
- 2) 日本の外貨取扱銀行への銀行取極(B/A)に伴う手数料の負担
- 3) 無償資金協力範囲で調達される本計画用資機材のスリ・ランカ輸入港における、荷揚げ、通関および国内輸送の保証
- 4) 認証された契約に基づき、本計画実施にたずさわる日本の法人および私人に対して、スリ・ランカ国内で課せられる関税、国内税、その他の財政課徴金に対する免税手続
- 5) 認証された契約に基づき、本計画実施に携わる日本の法人および私人が業務を遂行するための、スリ・ランカへの入国、滞在等に必要な便宜の提供
- 6) 無償資金協力範囲で建設される本計画施設および調達機材の適正かつ効果的な活用および維持管理
- 7) 無償資金協力範囲外で本計画の実施に必要なすべての費用の負担
- 8) 本計画の実施に伴い、第三者および近隣住民との間に発生する可能性のある諸問題の調整と解決

また、スリ・ランカ政府は本計画による施設、機材の引き渡し後、施設、機材の運営、維持管理状況をモニターし、定期的に日本側へ報告することが義務付けられている。

## 4-2 概算事業費

### 4-2-1 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は約22.88億円となり、先に述べた日本とスリ・ランカとの負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件によれば次のとおりと見積られる。

#### (1) 日本側負担経費

事業費区分		第一期工事	第二期工事	合計
1)	建設費	10.59億円	7.77億円	18.36億円
	ア. 直接工事費	6.84億円	5.16億円	12.00億円
	イ. 現場経費	1.44億円	0.96億円	2.40億円
	ウ. 共通仮設費等	2.31億円	1.65億円	3.96億円
2)	機材費	1.33億円	0.94億円	2.27億円
3)	設計・監理費	1.26億円	0.84億円	2.10億円
合計		13.18億円	9.55億円	22.73億円

#### (2) スリ・ランカ側負担経費 7,217,800ルピー (約15.16百万円)

(1) 敷地整地	462,000ルピー (約 0.97百万円)
(2) 既存建物撤去	3,285,100ルピー (約 6.90百万円)
(3) 給水工事	832,900ルピー (約 1.75百万円)
(4) 電気工事	1,554,500ルピー (約 3.26百万円)
(5) その他(銀行手数料)	1,083,300ルピー (約 2.28百万円)
合計	7,217,800ルピー (約15.16百万円)

#### (3) 積算条件

- (1) 積算時点……………平成10年6月
- (2) 為替交換レート……………1 US \$=130.0円  
1ルピー= 2.10円
- (3) 施工期間……………2期による工事とし、各期に要する詳細設計、工事および機材調達の期間は、施工工程に示したとおり。
- (4) その他……………本計画は、日本国政府の無償資金協力の制度に従い、実施されるものとする。

#### 4-2-2 運営・維持管理計画

##### (1) 運営・維持管理体制

本計画施設の完成後、本計画により整備された各学校施設は従来と同様サハラガムワ州並びに西部州の教育省の指導・監督のもとに、下部組織である各州の県教育事務所・地区教育事務所を通して運営される。

##### 1) 運営スタッフ

各学校は校長以下教員とその他の職員により運営される。1～5学年の初等学校においては専門による教員の区別はなく、クラス担任と英語の教員による授業運営がおこなわれている。6～9学年の中等学校では理数科や英語また芸術等の専門教員による授業が実施されている。各学校における教員数は小中等学校共に各学校の生徒数に基づき教育省の基準に従って割り当てられている。教育省の規定に基づき算定された2003年における各計画対象校における教員数と1998年の1～9学年担当の教員数の比較表を以下に示す。

表4-5 教員数の比較表

地域名		計画対象校数	教員数			
			1998年	2003年	人数差	増減率
サハラガムワ州	ラトナブラ県	10校	195人	171人	-24人	-13.41%
	ケゴール県	11校	226人	213人	-13人	-5.75%
西部州	ガンバハ県	4校	92人	127人	+35人	+38.04%
合計		25校	513人	511人	-2人	-0.39%

上記の表に示される通り、計画対象校においては全体で約0.4%と僅かではあるが教員数は減少することとなる。教育改革により学校構造の変更が実施されると各学校における生徒数は変動するが、それにとまなう教員の増減については各県全体では生徒数は変わらないことから教員の移転を行うことにより対応することが予定されているため、本計画の実施により教員を新規に採用する必要はない。また、教育省は守衛や掃除人等の職員の採用に関しては各学校の裁量に一任しており、各学校は学校運営委員会の資金によりこれらの職員を雇っている。したがって、本計画でも校長と教員以外の職員は学校独自の運営によるものであり政府の負担とはならない。よって、本計画の施設の引き渡し後の運営スタッフの確保には支障をきたさないと判断される。

##### 2) 学校の収入と支出

スリ・ランカ政府は各学校の収入として学校の教員の給料と手当の他に、理科、家庭科・技術に対する消耗品代として各々一律に350ルピーと750ルピーを支給しており、教科書も11学年までは無料で生徒に配布している。電気・水道・電話代は学校に代わり州政府事務所が支払いをおこなっている。また、学校により金額は異なるが、生徒から約6ルピー/月が徴収されており、学校によっては父兄会費として約3ルピー/月徴収している学校もある。さらに寄付金による学校収入もあり、調査対象校におけ

る寄付金の平均金額は約8,000ルピー／年である。これらの収入は学校の修理や消耗品の購入にあてられている。

### 3) 施設・機材の維持管理

本計画施設の維持管理は基本的には各学校により行われる。消耗品の購入や電球の交換等は校長の指示のもとに教員や事務員によりおこなわれており、大規模な補修工事等に関しては地域教育事務所・州の教育省を經由し州政府事務所の資金で行われる。また、計画対象地域における学校の運営維持管理においては、各学校で組織されている学校開発委員会が学校の教育活動を支援している。学校開発委員会は学校周辺の有力者と父兄から構成されており、図書室の新築、屋根の補修など大規模な施設修繕に対する資金援助をおこなっている。また、図書の購入、水槽の設置や補修、家具の塗装、便所の建設等の小規模な維持管理に対する資金や労務の提供などをおこなうことにより、各学校の個別なニーズに応じた支援を実施している。

## (2) 維持管理費用

### 1) 本計画による施設の維持管理経費

本計画の対象となる25校の学校施設を適正に維持管理するのに必要となる1年間の経費はおおよそ以下のとおりと試算される。

表 4 - 6 年間維持管理費 (単位：ルピー)

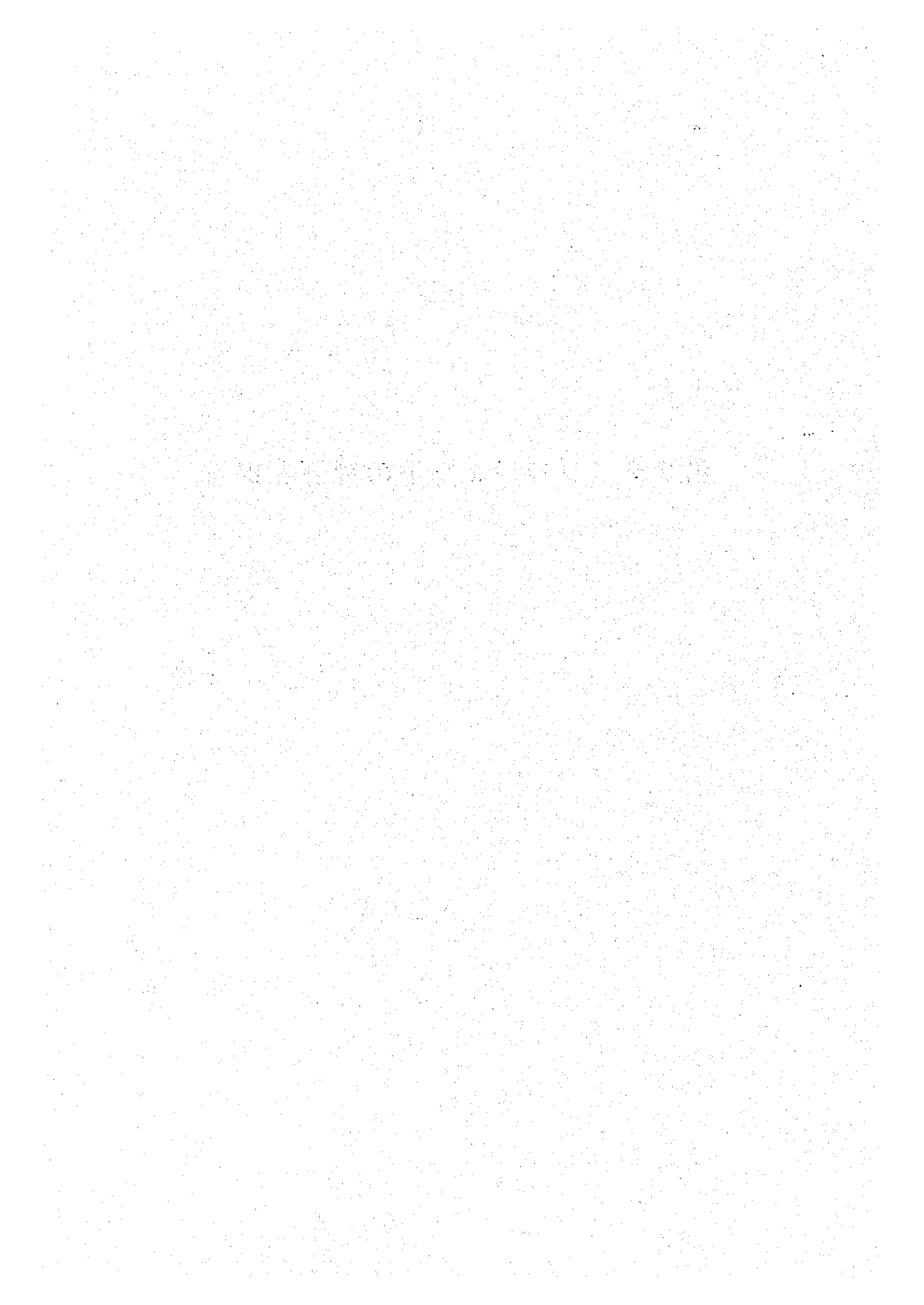
費訳	項目	金額	算定の仮定条件／根拠
光熱費	電気料金代	79,000	(調査対象校の平均金額の1.5倍)×25校
修繕費	蛍光灯の交換	99,000	蛍光灯費の10%
	塗装補修	3,021,000	塗装工事費の10%
	屋根補修	4,451,000	屋根工事費の10%
	各部補修	34,000	木工時+雑工事費の1%
	給排水設備補修	267,000	給排水設備工事費の1%
	小計	7,951,000	
機材費	家具・備品	912,000	機材費の1%
	理科教材	1,013,000	機材費の10%
	小計	1,925,000	
	合計	9,876,000	

### 2) 教育省の追加負担金

教育省は本計画施設の25校の維持管理経費として年間9,876,000ルピーを新たに確保しなければならない。ただし、施設引き渡し直後は追加の維持管理費用はさほど発生せず、上記の金額を大きく下回ると予想される。この金額は1995年度の教育省の予算の209億ルピーの約0.05%に相当するが、今後教育省の新たな追加負担として対処可能な金額であると考えられる。また、教育施設の適切な使用、日常の清掃や点検の励行、並びに早期修理によりその額が大きく変動するため、適切な維持管理が実施されることが望まれる。



## 第5章 プロジェクトの評価と提言



## 第5章 プロジェクトの評価と提言

### 5-1 妥当性にかかる実証・検証及び裨益効果

スリ・ランカ政府は教育分野における投資を積極的に実施し、教育の無料化を実施した結果、1995年において初等教育就学率 113%、成人非識字率 9.8%を達成した。しかしながら、地方部においてははまだ教育施設の整備が遅れており、大部屋を複数の学級が共有して授業が実施されており、多数の教室の窓・扉が設置されていない等、教育施設の質は低い状況にある。また、初等・中等・高等学校が明確に区分されておらず、生徒の適切な進学に支障をきたしている状況にある。

他方、スリ・ランカ政府は教育制度上の構造的な諸問題を解決し、教育の質的向上を図るべく、大統領の顧問機関である国家教育委員会（NEC）を設置し、教育改革を押し進めており、初等・中等・高等学校を初中等学校（Junior School）と高等学校（Senior School）に再編成すべく、世銀の援助のもとに学校合理化調査（SRS）を実施中である。

本計画の目的は既に SRS が実施されているサバラガムワ州のラトナブラ県とケゴール県、および西部州のガンバハ県における初中等学校に対して教育環境の改善を主要課題とした教室と付帯施設の建設、および機材整備をおこなうことによって、同国の学校合理化の実施を支援し、初中等教育の質的改善に貢献することにある。本件の実施によって以下のような効果が期待される。

#### 1) 教育改革の実施の促進

各計画対象校のサイト調査を実施し、各学校の教員数、生徒数、既存利用可能教室数等の情報を収集した。これらの数値に対し、教育省作成による学校合理化計画における各学校の 2001 年における将来計画数値をもとに、最も生徒数が減少すると予想されている 2003 年における各計画対象校の生徒数を算定し、各校における不足教室数を算出した。この結果算出された各計画対象校の不足教室数の合計である 200 教室を本計画における計画規模として設定した。また、教育改革に一環として教育省は生徒一人当たりの教室床面積を 10 sf. (約 0.9 m<sup>2</sup>) から 15 sf. (約 1.4 m<sup>2</sup>) に改善する新基準を定めた。本計画の対象校において学校合理化計画で必要とされている 200 教室を教育省の新基準に従い建設することにより教育改革の実施の促進に寄与するものである。

#### 2) 学習環境の改善

本計画の対象校 25 校の敷地調査を実施した結果、既存教室棟 113 棟のうちの 81%にあたる 92 棟において間仕切りが無いか、あるいは高さ 1.2m 程度の可動間仕切りにて仕切られているだけの校舎にて複数の授業が同時におこなわれており、騒音により生徒の授業への集中の妨げとなっている。また、全ての教室棟において窓サッシュ・ドアは設置されておらず、雨天時に授業が中断する状況にあった。本計画により各教室間を間仕切り壁にて仕切り、アルミサッシュによるガラス窓と木製ドアを設置した学校校舎を建設することにより学習環境の改善に寄与するものである。

### 3) 学校運営の改善

本計画の対象校 25 校の敷地調査を実施した結果、計画対象校 25 校のうち、教員室が整備されている学校は 36 %の 9 校であった。いずれも床面積は約 20 m<sup>2</sup>程度で4人程度が収容可能な教員の休息室として使用されている。この様な状況に対して、本計画にて各計画対象校の最大限3人の教員が1つの執務机を共有できる規模の教員室（収容教員数12人・16人の2種類）を校長室及び教育機材を保管する倉庫と隣接して新設し各計画対象校の学校運営の改善を図るものである。

### 4) 衛生状況の改善

本計画の対象校 25 校の敷地調査を実施した結果、全ての計画対象校における便所は、小便所は周りを腰壁で囲っただけのもので、大便所は 1m 四方の壁で囲まれた小屋にすぎず、いずれも給水設備を備えていない。また、井戸からの適切な距離も保たれておらず井戸水が汚染されている可能性もあり、衛生上の配慮に欠けた状況にある。この様な状況に対して、本計画により全ての対象校に、教育省の設置基準に従った規模の給排水設備を備えた便所を既存の井戸から 30m 以上離して配置するもので、各計画対象校における衛生状況の改善に寄与するものである。

## 5-2 技術協力・他ドナーとの連携

本計画による学校施設の運営、維持管理に関しては、教育省、地方政府および各学校との連携のもとにおこなわれているシステムが確立しており、教育省はこのための人材と技術を既に有している。従って、本計画のための技術協力は必要ないと判断される。しかしながら、本計画により整備される理科教材の適切な活用のためには、教員の理科カリキュラムの内容の理解、および機材の使用方法の修得が前提となる。このため、青年協力隊員等の派遣による理科教員の再教育・指導は、より確実な理科教材の活用につながると判断され、理科教育面における技術協力の実施が積極的に検討されることが望まれる。

また、教育省は多くのドナーの支援のもとに教育改革を押し進めており、本計画は世界銀行の援助にて実施されている教育合理化計画の一端を担うものである。このため本計画の実施にあたっては、世界銀行との協議が必要である。

## 5-3 課題

本計画には既に述べたように十分な裨益効果が期待できるとともに、無償資金協力案件としての妥当性も十分に認められる。本計画の実施後、より効果的な施設・機材の活用を実現するためには、スリ・ランカ国が講じる措置として下記の事項が挙げられる。

### 1) 学校合理化計画の完全実施

本計画の規模設定は SRS により算出された数値に基づいて設定されているため、SRS に基づく教育合理化計画の確実な実施が本計画による施設が適切に活用されるための

前提となっている。従って、今後教育省が教育合理化の進捗状況を綿密にモニターし、州教育局および各学校の指導・監督をおこなうことにより、教育合理化計画が確実に実施されることが不可欠である。

## 2) スリ・ランカ国側の負担工事の確実な実施

本計画は日本／スリ・ランカ両国の努力により実施されるものであり、スリ・ランカ側の負担工事の確実な実施が本計画には不可欠である。特に、工事着工前に短期間でおこなわれる建設予定地の整地・既存校舎の解体工事は遅滞なく実施されなければならない。このためにはスリ・ランカ側による事前の予算措置・実施計画等を十分に検討し、両国が綿密な協議をおこなう必要がある。

## 3) 教員の確保

本計画により増設される教室にて授業をおこなうためには教員の増員が必要となるが、既に述べたとおり、必要となる教員の確保には支障が無いと判断される。しかしながら、教育省により本計画により教室が増設される学校に教員が新たに配属される必要があり、本計画の施設の引き渡しの時期にあわせて、教員の配置が遅滞なく確実におこなわれる必要がある。

## 4) 適切な維持管理の実施

本計画実施後は教育省と州政府の予算により学校施設の管理維持をおこなうこととなり、教育省の予算を検討した限りでは、計画実施後の施設の維持管理は可能と判断される。しかしながら、計画施設の快適な教育環境をより長期間維持するためには、日常の教員と生徒による清掃、破損部の補修、および学校開発委員会の維持管理に対するさらなる支援が望まれる。

## 5) 理科教材の有効活用

教育省の規定によると各学校に理科教員が配属されることとなっているが、実際には一般教員が兼務している場合が多く理科教材を十分に活用することが困難であると思われる。理科機材の選定にあたっては専門教員が配属されていない学校においても理科機材が活用されるように品目を選定しているが、教員の再訓練、または専門教員の配属をおこない、理科機材がさらに有効に活用されることが望まれる。

## 資料

## 1. 調査団氏名

### 基本設計調査団（平成10年2月15日～3月14日）

総括	滝本 勝	国際協力事業団国際協力専門員
計画管理	市川 達也	国際協力事業団無償資金協力調査部 調査第2課（ジュニア専門員）
業務主任／建築計画	佐々木史郎	株式会社 毛利建築設計事務所
教育計画／機材計画	田中 研一	株式会社 毛利建築設計事務所
施設・設備計画Ⅰ	西村 哲郎	株式会社 久米設計
施設・設備計画Ⅱ	日野 勝	株式会社 毛利建築設計事務所
施工・調達計画／積算	永井 修二	株式会社 久米設計
施設・設備計画Ⅲ（自主補強）	木曾 一宜	株式会社 久米設計

### 基本設計概要説明調査団（平成10年5月31日～6月9日）

総括	滝本 勝	国際協力事業団国際協力専門員
業務主任／建築計画	佐々木史郎	株式会社 毛利建築設計事務所
施設・設備計画Ⅰ	西村 哲郎	株式会社 久米設計

2. 調査日程

基本設計現地調査日程

日 順	月 日	曜 日	作業内容					施設計画・木曾 (f)(自主構築)	
			官団員	業務主任/建築 計画 佐々木(a)	教育計画/機材 計画 田中(b)	施設・設備 計画 西村(c)	施設・設備 計画 日野(d)		施工・調達計画 積算 永井(e)
1	2/15	日	成田発12:00(SQ-997)→ソドモ→着18:20、ソドモ→発21:00(SQ-402)→ソドモ→着22:40						
2	16	月	大使館表敬、JICA スリランカ事務所表敬・打ち合わせ、財務・計画省、教育省表敬						
3	17	火	世銀、教育省協議						
4	18	水	教育省協議、移動						
5	19	木	サバラガム州教育事務所表敬・協議						
6	20	金	ラトナプラ県サイト視察						
7	21	土	ケゴール県サイト視察						
8	22	日	団内協議、コロンボへ移動						
9	23	月	西部州教育事務所表敬・協議、ガンバハ県サイト調査視察					成田発12:30(UA-455)→ソドモ→着12:45	
10	24	火	教育省協議		教育事情調査	現地建築施設・設備事情調査	積算調査票配布	dに同じ	
11	25	水	教育省ミニッツ案協議						
12	26	木	ミニッツ署名、大使館、JICAスリランカ事務所報告						
13	27	金	ソドモ発23:55(SQ-401)	敷地調査日程案策定	教育事情調査	現地建築施設・設備事情調査	積算資料収集	dに同じ	
14	28	土	ソドモ→成田着15:45(JL-712)	教育省と協議、測量会社と打ち合わせ			施工・資機材調査、調達事情調査		
15	3/1	日	敷地調査準備、団内協議						
			団内協議						
			資料整理	サバラガム州ケゴール県へ移動	サバラガム州ラトナプラ県へ移動	資料整理		dに同行	
16	2	月	西部州ガンバハ県敷地調査(3校)	敷地調査(3校)	敷地調査(3校)	敷地調査(3校)		dに同行	
17	3	火	敷地調査(2校) 住民集会(2校)	敷地調査(3校) 住民集会(2校)	敷地調査(3校)	敷地調査(3校)			
18	4	水	ラトナプラ県 住民集会(2校)	敷地調査(3校) 住民集会(2校)	敷地調査(3校)	敷地調査(3校)			
19	5	木	教育省報告協議	敷地調査(3校)	敷地調査(3校)	敷地調査集計			
20	6	金	西部州地方政府、教育事務所協議	敷地調査(2校)	敷地調査(3校)	敷地調査集計の作成			
21	7	土	計画案の作成	敷地調査収集資料集計	敷地調査(3校)			dに同じ	
22	8	日	方針策定	敷地調査収集資料集計				b,c,dに同じ	
23	9	月	JICAへ敷地調査結果概要報告	追加資料の収集	敷地調査(1校) サバラガム州地方政府、教育事務所と協議	積算資料収集		dに同じ	
24	10	火	計画案の作成 総括	教育計画・機材計画案策定	敷地調査結果の分析・評価			e,dに同じ	
25	11	水	教育省と最終協議					ソドモ→発9:45 成田着17:35 (SQ-988)	a,b,c,dに同じ
26	12	木	団内協議、測量会社と打ち合わせ・契約締結		施設計画・設備計画案の作成				
27	13	金	大使館・JICA調査結果報告、資料整理						
28	14	土	ソドモ発23:55(SQ-401)	ソドモ→着5:00、ソドモ→発8:15(JL-712) 成田着15:45					

基本設計概要現地説明日程

日 順	月 日	曜 日	作業内容		
			官団員 滝本 勝	業務主任者/建築計画: 佐々木 史郎	施設計画・設備計画: 西村 哲郎
1	5/31	日	調査団成田発11:30(JL-719)→ソドモ→着17:25、ソドモ→発21:00(SQ-402)→ソドモ→着22:30		
2	6/1	月	JICA、大使館表敬訪問、教育省表敬訪問・基本設計概要書の説明、大蔵省対外援助局表敬訪問		
3	2	火	教育省協議		
4	3	水	教育省協議、ラトナプラへ移動		
5	4	木	計画対象校敷地視察(R7、R9)		
6	5	金	教育省にてミニッツ案協議、ミニッツ調印、本団大使館報告、JICA報告		
7	6	土	ソドモ発23:55(SQ-401)	団内協議	
8	7	日	ソドモ→着5:50→ソドモ→発8:00(UA-S96) 成田着15:45	団内協議・資料整理	
9	8	月			
10	9	火	調査団ソドモ発23:55(SQ-401) ソドモ→着5:50→ソドモ→発8:00(UA-S96) 成田着15:45		



### 3. 相手国関係者リスト

#### 1. 教育省 MOEHE: Ministry of Education and Higher Education

- |  |   |
|--|---|
| Mr. A. Andrew De Silva   | Secretary   |
| - EDD: Education Development Division                                |   |
| Prof. L.S. Perera  | Additional Secretary,                             |
| Mr. H.M. Sirisena  | Deputy Director General / Education               |
| - SWD: School Works Division   |   |
| Mr. A.P. Abeysinghe  | Deputy Director General / Education               |
| Mr. D.R. Abewickrema   | Additional Director                               |
| Ms.Saroja Lokuketagoda   | Architect   |
| - NFE: Non Formal Education Division                                 |   |
| Mr. K. Samarasinghe  | Director,   |
| Mr. S.L.M.D. Piyasena  | Assistant Director, Project Coordinator/Education |
| Mr. H.M. Abeyesiri Herath  | Project Assistant                                 |
| Mr. Premasiri Weliwita   | (Former Director, NFE)                            |
| - PPRD: Policy, Planning and Review Division                         |   |
| Mr. S. Athaudage   | Deputy Director / Education                       |
| Mr. Y.A.N.D. Yapa  | Deputy Director / Education                       |
| Mr. D.D.P.W. Gunaratune  | Assistant Director / Education                    |
| Mr. P.N. Ilapperuma  | Assistant Director / Data Processing              |
| Mr. M. Ranawcera   | Special Consultant                                |
| - PED: Primary Education Division                                    |   |
| Mr. Wickremasinghe   | Director / Primary Education                      |
| - SD: Science Division   |   |
| Mr. Sellahewa  | Director / Science                                |
| - FD: Finance Division   |   |
| Mr. Subasinghe   | Chief Accountant/ Accounts                        |
| - GEP - II: General Education Project / World Bank                   |   |
| Mr. D. Basynayake  | Project Director                                  |
| - TETD: Teacher Training and Teacher Deployment Project / World Bank |   |
| Mr. Sriya Subasingha   | Project Director                                  |
| - PSDP: Primary School Development Programme / SIDA                  |   |
| Mr. Gunasekera   | Project Director                                  |
| Mr. S.L. Gunawardana   | Deputy Director                                   |
| - SPCOE: Sri Pada College of Education Project / GTZ                 |   |
| Mrs. P. Gunawardane  | Project Officer                                   |
| - PEPP: Primary Education Planning Project / DFID                    |   |
| Mr. M. Sivagnanam  | Project Director                                  |

2. 財務計画省 MOFP: Ministry of Finance and Planning

Mr. J.H.J. Jayamaha	Director, Japan Desk, ERD: Department of External Resources
Mr. B. Abeygunawardene	Director, HRD: Human Resources Development NPD: National Planning Department
Ms. K.W.S.P. Athukorala	Deputy Director, HRD/NPD

3. サバルガムワ州政府関連 Sabaragamuwa Provincial Office

- PDE: Provincial Department of Education

Mr. W.B.M. Saddaratna	Provincial Director / Education
Mr. P.B. Dayasiri	Deputy Director / Education

- PEO: Provincial Engineer's Office

Mr. K. Fernando	Director / Engineer
Mr. W. Wijethilake	Chief Clerk, Engineering Service Office
Mr. Newton Perera	Deputy Clerk

- KZO: Kegalle Zonal Education Office

Mr. T. Gunaratna	Zonal Director
Mr. K.A.K. Navaratna	Deputy Director
Ms. B.R.M. Ranasinghe	Assistant Director

- DZO: Dehiwoita Zonal Education Office

Mr. B.H.W. Piyafillake	Deputy Director / Education
Mr. N.G. Dharmadasa	Assistant Education Officer

- MZO: Mawaneralla Zonal Education Office

Mr. W. Ratnapala	Zonal Director
Mr. D.W.M. Tilakaratna	Deputy Director / Education

- Schools in Kegalle District / Principals' Name

Mr. W.M. Dharmapala	K2: Kegalle Walagamba K. V.
Mr. G.R.G. Bandara	K4: Dedigama K. V.
Mr. A.S.P. Gunaratna	K10: Bamunugama Maliyadewa K. V.
Mr. H.M.A. Amarawansa	K13: Ashoka K. V.
Mr. L.V.K. Karunarathna	K14: Baddewela K. V.
Mr. K.S. Samarasingha	K21: Galatara K. V.
Mr. E.R.W. Gunasena	K22: Ussapitiya Sri Sumangala K. V.
Mr. S.P. Hemapala	K26: Dehiowita Budedhist P. V.
Mr. G.K. Ranasinghe	K28: Dedugala P. S.
Mr. N.G.W. Senewiratne	K31: Amithirigala K. V.
Mr. S. Rajaratnam	K33: Kadhireshan K. V.
Mr. T.M.P.A. Desapriya	K35: Polgaswatta K. V.

Mr. P.A. Piyasinghe

K36: Pothdeniyakanda M. V.

- Schools in Ratnapura District / Principals' Name

Mr. W.W. Thilakarathna

R1: Godewala M.V.

Mr. S.K. Samaranayaka

R2: Maduwanwela Sri Sarananda V.

Mr. L.M.A. Bandara

R4: Halmillaketiya V.

Mr. R.B. Premarathna

R5: Rahula P. S.

Mr. S.S. Lckam Arachi

R7: Galpaya V.

Mr. P.J. Samaresekara

R8: Hatangala V.

Mr. M.K. Chandrasena

R9: Ranwala M. V.

Mr. W.A. Chandrasekara

R11: Aluthnuwara Shastralankara V.

Mr. M.P. Abecysiri

R13: Dhamahana M. V.

Mr. C. Shanmuganatan

R15: Mewdekanda Tamil V.

Mr. D.M. Nihal Erabadda

R18: Pebotuwa P. S.

Mr. B.D. Dharmasena

R25: Wewdagala South

Mr. H. Wijeratna

R27: Panawenna South V.

Mr. K. Warunasekara

R28: Narangoda V.

Mr. M.H. Perera

R29: Erapola Sri Mahinda M. V.

Mr. S. Dharmasena

R30: Nugadanda V.

Mr. S.H. Gunatilaka

R32: Hidellana K. V.

Mr. M.P.K. Chandrasena

R33: Gairenagama K. V.

4. 西部州政府関連 Western Provincial Office

- PDE: Provincial Department of Education

Mr. K.A.D.C. Nanayakkara

Provincial Director / Education

Mr. D.C.A. Wisidagama

Additional Director / Education

Mr. W.S. Perreca

Deputy Director / Education

- PEO: Provincial Engineering Office

Mr. E.A.J. Edirisinghe

Director / Building,

- GZO: Gampaha Zonal Education Office

Mr. Abecysirisena

Zonal Education Officer

- KZO: Kelania Zonal Education Office

Mr. J.K.H.A. Perera

Deputy Director / Education,

- Schools in Kegalle District / Principals' Name

Ms. W.P.M. Perera

G1: Madduma Bandara K. V.

Mr. G.K. Somapala

G5: Welipillawa K. V.

Mr. H.K.U.B. Silva

G7: Hekittaha Christ King V.

Mr. P. Piyaratne

G9: Wegowwa K. V.

Ms. K.M.S. Perera

G11: Daluwakotuwa St. Anne's

5. 国立教育研究所 NIE: National Institute of Education

Mr. J.P. Herath

Assistant Director General,  
Science and Technical Education

Dr. Senarath Nanayakkara

Director, General Education

6. 世界銀行 World Bank

Ms. Sriyani Hulugalle

Industrial Economist / Education

7. 在スリ・ランカ日本国大使館

金井 要

一等書記官

公文 敦

一等書記官

8. 国際協力事業団スリ・ランカ事務所

狩野 良昭

所長

鈴木 秀幸

次長

永石 雅史

所員

国名	スリ・ランカ民主社会主義共和国
	Democratic Socialist of Sri Lanka

一般指標	
政体	共和制 *1
元首	Pres. Chandrika KUMARATUNGA *1
独立年月日	1948年2月4日 *1
人種(部族)構成	シンハラ系74%、タミル系18%、ムスリム7% *1
言語・公用語	シンハラ語74%、タミル語18%、英語 *1
宗教	仏教69%、ヒンズー15%、キリスト教、回教 *1
国連加盟	1955年12月 *2
世銀加盟	1950年08月 *3
IMF加盟	1994年03月 *3
面積	65.61千Km <sup>2</sup> *1
人口	18,553.074千人(1996年) *1
首都	スリ・ジャヤワルダナプラコッタ *1
主要都市名	カレ、ジャナ、マド *1
経済活動可人口	8,000千人(1995年) *4
義務教育年数	11年間(1997年) *5
初等教育就学率	% (年) *5
初等教育終了率	% (年) *6
識字率	90.1%(1994年) *7
人口密度	286.58人/Km <sup>2</sup> (1996年) *1
人口増加率	1.1%(1996年) *1
平均寿命	平均72.35 男69.77 女75.06 *1
5歳児未満死亡率	19/1000(1995年) *7
カロリー供給量	2,275.0 cal/日/人(1992年) *7

経済指標	
通貨単位	スリ・ランカ・ルピー *1
為替(1US\$)	1US\$=61.29 (1997年12月) *8
会計年度	1月~12月 *1
国家予算	(1996年) *9
歳入	2,646.6百万ドル *9
歳出	3,811.5百万ドル *9
国際収支	239.40百万ドル(1995年) *9
ODA受取額	553.00百万ドル(1995年) *7
国内総生産(GDP)	12,915.00百万ドル(1995年) *4
一人当たりGNP	700.0百万ドル(1995年) *4
GDP産業別構成	農業 23.0%(1995年) *4
	鉱工業 25.0%(1995年)
	サービス業 52.0%(1995年)
産業別雇用	農業 48.0%(1990年) *7
	鉱工業 21.0%(1990年)
	サービス業 31.0%(1990年)
経済成長率	4.8%(1995年) *4
貿易量	(1996年) *8
輸入	4,095.0百万ドル *8
輸出	5,416.0百万ドル *8
輸入カバー率	4.2月(1995年) *10
主要輸出品目	繊維、茶、石油製品、ゴム(1994年) *1
主要輸入品目	食品、飲料品、繊維、石油(1994年) *1
日本への輸出	273.9百万ドル(1996年) *11
日本からの輸入	400.8百万ドル(1996年) *11
外貨準備総額	2,051.0百万ドル(1997年12月) *8
対外債務残高	409.0百万ドル(1995年) *10
対外債務返済率	7.0%(1995年) *10
インフレ率	8.2%(1993年) *7
国家開発計画	公共投資5ヵ年計画(93~97年) *12

気象(1961~1990年平均)		場所:Colombo											(標高 7 m)	
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計	
最高気温	30.0	31.0	31.0	31.0	31.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.8℃	*13
最低気温	22.0	22.0	23.0	24.0	26.0	25.0	25.0	25.0	25.0	24.0	23.0	22.0	23.8℃	*13
平均気温	26.8	26.9	27.7	28.2	28.3	28.0	27.6	27.6	27.5	27.0	26.8	26.6	27.4℃	*14
降水量	89	69	147	231	371	224	135	109	160	348	315	147	2,345 mm	*13
雨期乾期														

\*1 CIA World Fact Book 1997-1998  
 \*2 States Members of United Nations  
 \*3 International Financial Statistics Yearbook 1996  
 \*4 World Development Report 1997  
 \*5 UNESCO Statistical Yearbook 1997  
 \*6 Status and Trends 1997  
 \*7 Human Development Report 1997

\*8 International Financial Statistics February 1998  
 \*9 International Financial Statistics Yearbook 1997  
 \*10 Global Development Finance 1997  
 \*11 世界の国一覽表 1997年版  
 \*12 最新世界各国要覧 97年版  
 \*13 The Times Book World Weather Guide, Update Edition  
 \*14 理科年表, 国立天文台(1997)

国名	スリ・ランカ民主社会主義共和国
	Democratic Socialist of Sri Lanka

1998.03 2/2

\*15

我が国におけるODAの実績					
項目	年度	1992	1993	1994	1995
技術協力		2,699.97	2,892.93	3,087.67	2,796.65
無償資金協力		2,194.95	2,244.22	2,456.48	3,256.28
有償資金協力		5,852.05	3,939.97	4,352.21	3,878.11
総額		10,746.97	9,077.12	9,896.36	9,931.04

\*15

当該国に対する我が国ODAの実績					
項目	年度	1992	1993	1994	1995
技術協力		20.97	22.74	27.51	36.37
無償資金協力		43.78	71.70	53.59	82.06
有償資金協力		31.31	52.76	132.66	145.28
総額		96.06	147.20	213.76	263.71

\*16

OECD諸国の経済協力実績					(支出純額、単位:百万ドル)
	贈与 (1)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び 民間資金 (4)	経済協力総額 (3)+(4)
二国間援助 (主要供与国)	250.90	123.10	374.00		374.00
1. 日本	118.40	145.30	263.70		263.70
2. アメリカ	20.00	5.00	25.00		25.00
3. ノルウェー	13.90	0.30	14.20		14.20
4. オランダ	27.10	-13.00	14.10		14.10
多国間援助 (主要援助機関)	38.30	146.10	184.40		184.40
1. IDA					
2. ASDB					
その他	0.00	-2.80	-2.80		-2.80
合計	289.20	266.40	555.60		555.60

\*17

援助受入れ窓口機関	
技術	関係各省庁→計画実施省国家計画局
無償	
協力隊	

\*15 Japan's ODA Annual Report 1996  
 \*16 Geographical Distribution of Financial Flows to  
 Aid Recipients 1991-1995  
 \*17 国別協力情報(JICA)

5. 参考資料リスト

資料名	著者・発行者等
教育省へのスウェーデンの援助に関する1997年度セクターレビューと進捗報告に係る合意議事録 Agreed Minutes 1997: The Annual Sector Review and Progress Reports for 1996 Regarding Swedish Support to the MOEHE in Sri Lanka	教育省 MOEHE
スリ・ランカ教育研究定期刊行書第1巻 No.1 1990年 Sri Lankan Journal of Education Research Vol.1 No.1 1990	国家教育研究所 National Institute of Education
国家教育研究所 展望：独立50周年記念 National Institute of Education; Prospect: 50th Anniversary of Independence	国家教育研究所 National Institute of Education
教育財務 Financing of Education	スリ・ランカ経済協会 Sri Lanka Economic Association
スリ・ランカ中央銀行広報 1997年6月号 Central Bank of Sri Lanka: BULLETIN June 1997	スリ・ランカ中央銀行 Central Bank of Sri Lanka
1995年度スリ・ランカ社会主義共和国収支概算予算書 Estimates of Revenue and Expenditure of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka for the Fiscal Year, 1st January to 31st December, 1995, Part I - General Estimates Vol. One, 1995	スリ・ランカ政府出版部 The Department of Government Printing, Sri Lanka
1996年度スリ・ランカ社会主義共和国収支概算予算書 Estimates of Revenue and Expenditure of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka for the Fiscal Year, 1st January to 31st December, 1996, Part I - General Estimates Vol. One, 1996	スリ・ランカ政府出版部 The Department of Government Printing, Sri Lanka
1994年スリ・ランカ人口調査；人口の特性に関する報告書 Demographic Survey 1994 Sri Lanka; Report on Demographic Characteristic of the Population	大蔵省人口統計部 Department of Census and Statistics, MOFP
スリ・ランカ教育統計 Educational Statistics of Sri Lanka 1992	教育省 MOEHE
スリ・ランカ社会主義共和国統計資料 Statistical Abstract of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka 1996	大蔵省 MOFP
公共投資計画 1996-2000年 Public Investment Programme 1996-2000	大蔵省 MOFP
第6～13学年のための理科機材標準リスト Standard List of Science Equipment Requirements for year 6 to 13	教育省 MOEHE

6. 計画教室数の算出表

計画教室数の算出表

学校名	学年数		学級数(クラス)				教室数(1~9学年)				未完教室 e)=c)-d)	
	現状	2001年 (SRS)	現状(調査時)		2001年(SRS)		所置教室		必要教室			
			(1~5/9)	(全学年)	(1~9学年)	(全学年)	a)	c)=a)-b)				
西部州 ガンパハ県												
G1 Maddurabandara K.V.	5	9	24	31.0	35.6	36	36	0	36	36	0	
G5 Melipilitawa K.V.	5	9	6	14.8	13.4	13	13	7	6	6	6	
G7 Hekiththa Kfisthu Raja V.	11	9	27	27.2	26.2	26	26	7	19	18	1	
G11 Daluwakeruwa St. Anne S.	5	9	20	30.6	29.5	20	29.5	12	18	18	0	
小計			77	110	104.7	105.0	104.7	26	79	78	1	

学校名	学年数		学級数(クラス)				教室数(1~9学年)				未完教室 e)=c)-d)
	現状	2001年 (SRS)	現状(調査時)		2001年(SRS)		所置教室		必要教室		
			(1~5/9)	(全学年)	(1~9学年)	(全学年)	a)	c)=a)-b)			
サハラガムワ州 ケゴール県											
K1 Hettimulla New K.V.	5	9	10	18.4	17.8	18	18	15	3	3	0
K4 Dedigama K.V.	5	9	25	37.3	36.0	36	36	19	17	9	8
K10 Bamungama Malyadewa K.V.	11	9	17	14.8	14.3	14	14	9	5	5	0
K13 Ashoka K.V.	13	13	19	28.6	27.8	16	16	7	9	9	0
K14 Baddewela K.V.	5	9	15	13.0	12.5	13	13	7	6	6	0
K22 Ussapitiya Sri Sumangala K.V.	11	9	12	13.4	13.0	13	13	10	3	3	0
K26 Dehiwita Buddhist P.V.	5	9	15	24.2	23.3	23	23	7	16	9	7
K28 Dedugala P. S.	11	11	9	6.3	7.8	9	9	3	6	6	0
K31 Amithirigala K.V.	11	11	9	7.7	10.4	9	9	4	5	5	0
A33 Nachiresan K.V.	11	11	13	14.8	14.4	14	14	6	8	3	5
K36 Pothenikanda M.V.	13	13	9	8.2	12.4	9	9	6	3	3	0
小計			153	187	174.9	174	174	93	81	61	20

学校名	学年数		学級数(クラス)				教室数(1~9学年)				未完教室 e)=c)-d)
	現状	2001年 (SRS)	現状(調査時)		2001年(SRS)		所置教室		必要教室		
			(1~5/9)	(全学年)	(1~9学年)	(全学年)	a)	c)=a)-b)			
サハラガムワ州 ラトナプラ県											
R1 Godawela M.V.	13	9	12	13.2	12.7	13	13	8	5	5	0
R2 Maduwanjela Sri Sarananda V.	11	9	18	14.2	13.7	14	14	9	5	5	0
R4 Rajallaketiya V.	13	11	18	14.5	14.0	14	14	11	3	3	0
R5 Ranula P. S.	5	9	23	31.5	30.4	30	30	13	17	6	11
R7 Galpaya V.	11	11	16	13.0	13.2	13	13	6	7	6	1
R9 Ranwala M.V.	13	11	9	7.7	12.0	9	9	3	6	6	0
R13 Damahana M.V.	13	11	13	9.3	13.3	9	9	3	6	6	0
R25 Weddagala South	13	11	13	8.7	11.6	9	9	3	6	6	0
R27 Panawenna South V.	11	11	9	6.5	10.3	9	9	0	7.8	9	0
R32 Hicellana K.V.	11	11	17	12.4	16.5	12	12	3	9	9	0
小計			148	191	177.6	182	182	89	73	61	12
合計			378	459	468.9	411	411	178	232.7	200	33



7. 敷地調査集計表 - 1 敷地状況

調査集計表 - 1 敷地状況

学校名	評価	7/25	施設状況				給電状況			維持管理費(1997年)				合計			
			敷地面積	敷地形状	基礎形状	切壁土	施設撤去	給水	排水	受電	復用料金	PEA	P.T.A		S.F.F	その他	
G: Maddumabandara K.V.	A	良好	8,500	平坦	有り	不要	転用	無し	井戸	浄化	可能	12,000	5,000			5,000	5,000
G5 Welipiliya K.V.	A	良好	6,300	段差	有り	軽微	無し	無し	井戸	浄化	有り	5,000	5,000			37,464	250,000
G7 Hekitha Krishu Raja V.	A	良好	9,500	平坦	有り	不要	移転	無し	市水	浄化	可能	3,406				3,337	37,484
G9 Wogowwa K.V.	A	良好	13,000	平坦	有り	不要	軽微	無し	井戸	浄化	有り					12,000	3,337
G11 Daluwakotuwa St. Anne's	A	良好	10,000	平坦	有り	盛土	軽微	無し	井戸	浄化	有り	4,800	60,000			12,000	72,000

PEA: Provincial Education Authority

SFF: School Facility Fund

学校名	評価	7/25	施設状況				給電状況			維持管理費(1997年)				合計				
			敷地面積	敷地形状	基礎形状	切壁土	施設撤去	給水	排水	受電	復用料金	PEA	P.T.A		S.F.F	その他		
K1 Hettimulla New K.V.	B	良好	9,000	段差	有り	不要	無し	無し	無	直接	可能							
K2 Kogalle Walagamba K.V.	A	可能	4,200	斜面	無し	不要	有り	無し	市水	直接	有り	300			3,760	900	4,660	
K4 Deegama K.V.	A	良好	3,600	平坦	無し	不要	有り	無し	井戸	浄化	有り	500			3,534		3,534	
K10 Bamanugama Malliyadewa K.V.	A	良好	5,600	平坦	無し	不要	有り	無し	井戸	浄化	有り	州政府			6,500		6,500	
K13 Ashoka K.V.	B	良好	45,000	段差	有り	不要	無し	無し	市水	浄化	有り	2,500			15,000		15,000	
K14 Baddewela K.V.	A	良好	6,500	平坦	無し	不要	有り	無し	井戸	直接	可能				2,400		2,400	
K17 Kahawandala K.V.	C	困難	-	斜面	無し	-	-	-	無	-	-	-			-		-	
K21 Galatara K.V.	B	可能	4,200	段差	無し	軽微	有り	無し	無	直接	可能							
K22 Ussapitiya Sri Sumangala K.V.	B	可能	9,100	斜面	有り	不要	有り	有り	井戸	直接	有り	州政府			5,448		5,448	
K26 Dehiowita Buddhisi P.V.	B	可能	4,000	斜面	無し	軽微	有り	有り	市水	直接	有り				2,000		2,000	
K28 Dedugala P.S.	B	可能	14,000	斜面	無し	要	有り	有り	市水	直接	1km							
K31 Amathirigala K.V.	B	良好	7,500	段差	無し	不要	有り	有り	井戸	直接	有り				1,522	1,189	2,701	
K33 Kadhireshan K.V.	B	良好	3,600	段差	無し	不要	有り	有り	泉水	直接	有り	300					3,000	
K35 Pothchenikanda M.V.	B	可能	12,300	斜面	無し	軽微	有り	有り	泉水	直接	可能							

学校名	評 価	効 果	施設状況				給電状況		排水状況		維持管理費(1997年)								
			敷地面積	敷地形状	建築用地	切取土	施設撤去	給水	ポンプ	処理	汚水処理	交電	使用料	人	P	F	F	その他	合 計
サバラガム州 ラトナブラ県																			
R1 Godawela M.V.	A	良好	6,000	段差	有り	不要	有り	井戸	良好	直接	有り	540	1,500		2,500				4,000
R2 Maduwanwela Sri Sarananda V.	A	良好	17,500	段差	有り	軽微	有り	市水	良好	直接	可能		5,000						5,000
R4 Halmilakeliya V.	A	良好	19,000	平坦	無し	不要	有り	市水	良好	直接	有り	480	120,000	15,000	8,000				143,000
R5 Raajula P.S.	A	良好	3,500	段差	有り	軽微	有り	市水	可能	直接	可能				7,710				7,710
R7 Galpaya V.	B	可能	-	平坦	有り	不要	無し	井戸	可能	直接	可能				2,160				2,160
R8 Hatangala V.	C	可能	-	傾斜	無し	要	無し	井戸	良好	直接	可能			8,061	2,233				10,294
R9 Ranwala M.V.	A	可能	13,000	傾斜	有り	軽微	有り	湧水	良好	直接	有り	6,750	225,000		9,918				234,918
R11 Aluthnuwara Shastiralankara V.	B	可能	9,500	段差	有り	軽微	無し	井戸	可能	直接	可能			5,000	1,686				6,686
R13 Danahana M.V.	A	良好	16,000	段差	有り	不要	有り	井戸	良好	直接	可能		5,000		24,166				29,166
R15 Meddekanda Tamil V.	C	困難	-	傾斜	無し	要	無し	湧水	良好	直接	可能								-
R18 Pebotuwa P.S.	B	良好	10,000	段差	無し	軽微	有り	市水	良好	直接	有り	2,616	150,000		7,110				157,110
R25 weddagala South	A	可能	8,300	段差	有り	軽微	有り	市水	良好	直接	有り	1,300	1,000		5,250				6,250
R27 Panawenna South V.	B	可能	5,300	傾斜	有り	軽微	有り	雨水	可能	直接	有り	不明		3,600	3,347				6,947
R28 Narangoda V.	C	困難	-	傾斜	無し	要	無し		良好	直接	可能			10,681	5,230				15,911
R29 Erapola Sri mahinda M.V.	A	良好	13,000	段差	無し	軽微	有り	市水	良好	直接	有り	3,479		9,840	7,044			5,151	22,035
R30 Nugadanda V.	C	困難	-	傾斜	無し	軽微	無し	湧水	良好	直接	可能				4,200				4,200
R32 Hidelilana K.V.	A	良好	6,500	平坦	無し	不要	有り	井戸	良好	直接	有り	3,407			560				560
R33 Gairenagana K.V.	B	可能	8,000	傾斜	有り	軽微	無し	湧水	良好	直接	1km			5,000					5,000

8. 敷地調査集計表 - 2 施設状況

調査集計表 - 2 施設状況

学校名	評価	施設構成					構造状況					便所	
		棟別名称	床面積	床数	他の房室	建設年度	構造年度	構造	材根	明仕切り	状況	撤去	大便所
西部州 ガンバハ県 G11 マンツラ初中等学校 Maddumabandara K. V.	A	教室棟-1	216	6	校長室・事務室	1978	組積	瓦	固定(3.0m)	可	転用	3	2
		教室棟-2	216	5	倉庫	1982	組積	瓦	固定(1.2m)	可	転用		
		教室棟-3	252	4	図書室	1990	組積	瓦	固定(1.8m)	良好	転用		
		教室棟-4	144	4		1994	木	瓦	—	危険	転用		
		教室計	828	19	平均 43.57m					計	828 m	4	6
G5 カレパ初中等学校 Welipiliawa K. V.	A	教室棟-1	180	4	校長室・倉庫	1914	組積	瓦	無	可	〇		
		教室棟-2	72	2		1995	組積	瓦	固定(2.5m)	良好	〇		
		教室計	252	6	平均 42.00m					計	0 m	5	6
		教室棟-1	420	8	(3F工事中断)	1995	RC2F	瓦	固定(梁下)	良好	撤去		
		教室棟-2	54	3		1992	組積	瓦	固定(3.0m)	可	撤去		
G7 アサ・クリスタル学校 Hekitha Kristhu Raja V.	A	教室棟-3	762	7		1907	組積	瓦	一部有り	危険	撤去		
		教室棟-4	300	3	教員室	1947	RC2F	瓦	固定	可	撤去		
		教室棟-5	378	8	倉庫	1986	RC2F	瓦	固定	良好	〇		
		教室計	1914	29	平均 66.00m					計	1116 m	3	3
		教室棟-1	72	2		1984	組積	瓦	無	可	〇		
		教室棟-2	162	4	校長室	1972	組積	瓦	無	可	〇		
G9 ウニコ初中等学校 Wegowwa K. V.	A	教室棟-3	140	7	仮設増設(1)	1987	RC2F	瓦	固定(梁下)	良好	〇		
		教室棟-4	72	2	教員室	1932	組積	瓦	無	危険	撤去		
		教室棟-5	140	3	倉庫	1955	組積	瓦	無	可	〇		
		教室棟-6	72	2		1982	組積	瓦	固定(2.5m)	可	〇		
		教室計	658	21	平均 31.33m					計	72 m	3	9
		教室棟-1	144	4	校長室	1975	組積	瓦	可動(1.2m)	可	一部撤去		
G11 ダロコワ・セパナス 学校 Daluwakotawa St. Anne's	A	教室棟-2	348	10	倉庫・事務室	1982	組積	瓦	一部有り	危険	一部撤去		
		教室棟-3	144	4		1972	組積	瓦	1F固定 2F可動	可	〇		
		倉庫	—	—	—	1957	組積	瓦	—	可	〇		
		教室計	636	18	平均 35.33m					計	90 m		

学校名	評価	施設構成					構造状況					便所	
		棟別名称	床面積	床数	その他	建設年度	構造年度	構造	材根	明仕切り	状況	撤去	大便所
サバラガム州 ケゴール県 K1 新ヘッティアムラ初中等学校 Hettimulla New K. V.	B	教室棟-1	180	3		1975	組積	瓦	無	可	〇	2	2
		教室棟-2	180	3		1981	組積	瓦	無	良好	〇		
		教室棟-3	180	3		1990	組積	瓦	無	良好	〇		
		廊下・音楽棟	90	1	校長室	1990	組積	瓦	固定(梁下)	良好	〇		
		教室計	630	10	平均 63.00m					計	0 m	3	4
K2 ケーパ・ワガハ 初中等学校 Kessalle Walagamba K. V.	A	教室棟-1	120	2	校長室	1993	組積	瓦	固定(梁下)	良好	〇		
		教室棟-2	240	4	教員室	1955	組積	瓦	無	老朽	撤去		
		教室棟-3	100	4	図書室	1985	組積	瓦	無	可	撤去		
		教室棟-4	68	2		1937	組積	瓦	無	可	撤去		
		教室棟-5	72	2		1982	組積	瓦	無	老朽	〇		
		教室棟-6	108	2		1987	組積	瓦	無	老朽	〇		
教員宿舎	—	—	—	1937	組積	瓦	—	老朽	〇				
教室計	708	16	平均 44.25m					計	408 m				

K4	デヂィガマ初中等学校 Dedigama K. V.	教室棟-1	130	6	教員室 倉庫	1910	組積	木製	瓦	固定(2.0m) 可動(1.2m)	老朽	撤去	3	4	浄化	
		教室棟-2	243	4		1961	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-3	126	4		1972	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-4	108	3		1978	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-5	130	5		1992	組積	好少	好少	可動(1.2m)	良好	〇				
		教室棟-6	144	4		1985	組積	好少	好少	可動(1.2m)	可	〇				
		教員宿舎	54		図書室	1910	組積	木製	瓦	無	良好	〇				
		教員宿舎	-													撤去
		教室計	1035m <sup>2</sup>	26	平均 38.81m						計	180 m <sup>2</sup>				
		教室棟-1	210	4	実験室	1983	組積	木製	瓦	固定(壁下)	老朽	撤去				
教室棟-2	210	4	教員室 倉庫	1972	組積	木製	瓦	無	可	〇						
教室棟-3	90	3		1985	組積	木製	瓦	無	良好	〇						
教室棟-4	68	2		1933	組積	木製	瓦	無	老朽	撤去						
教室棟-5	72	2		1975	組積	木製	瓦	無	良好	〇						
教室棟-6	60	2	(PTAが建設)	1985	組積	木製	好少	好少	老朽	撤去						
教室棟-7	150	4	校長室	1990	組積	木製	瓦	無	良好	〇						
多目的室棟	81		図書室	1991	組積	木製	瓦	無	良好	〇						
ホビーエス棟	63			1993	組積	木製	瓦	無	良好	〇						
ハビーエス				1982	組積	木製	瓦	無	良好	〇						
教室計	860m <sup>2</sup>	21	平均 40.95m						計	410 m <sup>2</sup>						
K13	アショカ初中等学校 Ashoka K. V.	教室棟-1	258	5	音楽室・地理室	1960	組積	木製	瓦	無	可	〇	6	3	浄化	
		教室棟-2	252	4		1969	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-3	159	3	農業室	1972	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-4	150	2	校長室・実験室	1976	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-5	448	8	倉庫	1982	RC2F	好少	好少	固定(壁下)	良好	〇				
		教室棟-6	160	4		1987	組積	好少	好少	無	良好	〇				
		図書室棟	81			1969	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		廊下室棟	56			1985	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室計	1427m <sup>2</sup>	26	平均 54.89m						計	0 m <sup>2</sup>				
		教室棟-1	360	5		1928	組積	木製	瓦	無	老朽	撤去				
教室棟-2	108	3		1972	組積	木製	瓦	固定(壁下)	良好	〇						
教室棟-3	180	3		1978	組積	木製	好少	好少	老朽	撤去						
教室棟-4	144	3	校長室	1995	組積	木製	瓦	無	良好	〇						
図書室棟	9			1928	組積	木製	瓦	無	放棄	撤去						
校長宿舎	-			1928	組積	木製	瓦	無	放棄	撤去						
教室計	792m <sup>2</sup>	14	平均 56.57m						計	549 m <sup>2</sup>						
K21	ガラタラ初中等学校 Galatara K. V.	教室棟-1	240	6	校長室(1993)	1940	組積	木製	瓦	無	老朽	撤去	3	2	直接	
		教室棟-2	72	2		1945	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-3	90	2		1952	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-4	90	2		1904	組積	木製	好少	好少	無	撤去				
		教室計	492m <sup>2</sup>	12	平均 41.00m						計	330 m <sup>2</sup>				
		教室棟-1	180	4	校長室	1947	組積	木製	瓦	無	老朽	〇				
		教室棟-2	108	6		1972	RC2F	好少	好少	無	可	〇				
		教室棟-3	144	3		1967	組積	木製	好少	好少	危険	撤去				
		実験室棟	72	2		1947	組積	木製	好少	好少	危険	撤去				
		ホビーエス棟	72			1947	組積	木製	瓦	無	老朽	〇				
教員宿舎	-								計	216 m <sup>2</sup>						
教室計	504m <sup>2</sup>	15	平均 33.60m						計	216 m <sup>2</sup>						
K26	デヒウィッタ初等学校 Dedhiwita Buddhist P. V.	教室棟-1	206	5		1910	組積	木製	瓦	無	老朽	撤去	2	3	直接	
		教室棟-2	72	2		1920	組積	木製	瓦	無	老朽	撤去				
		教室棟-3	181	4	校長室	1990	組積	木製	瓦	無	可	〇				
		教室棟-4	152	4	教員室	1994	組積	好少	好少	無	良好	〇				
		教員宿舎	-								計	278 m <sup>2</sup>				
		教室計	611m <sup>2</sup>	15	平均 40.70m						計	278 m <sup>2</sup>				

校種	校名	棟別名称	床面積	学級数	その他	建設年度	改修年度	構造	トラス	屋根	間仕切り	状況	撤去	大規模	小規模	使所	直接	
K28	デウガラ小学校 Dedugala P. S.	教室棟-1	161	4	教員室	1909		組積	木製	瓦	無	老朽	撤去	2	3		直接	
		教室棟-2	161	4	校長室	1925		組積	木製	瓦	無	老朽	〇					
		教室棟-3	120	3		1996		組積	スチール	瓦	固定(屋根)	良好	〇					
		実験室棟	60			1975		組積	木製	瓦	一	可	〇					
		教室計	442m	11	平均 40.18m								計	161 m				
		教室棟-1	144	4	倉庫	1905		組積	木製	瓦	無	無	老朽	撤去	2	1		直接
		教室棟-2	252	3	校長・教員・図書	1975		組積	木製	瓦	無	無	老朽	〇				
		教室棟-3	72	2		1905	1996	組積	木製	瓦	無	無	老朽	撤去				
		教室棟-4	216	5		1986		組積	木製	瓦	無	無	可	〇				
		教室計	684m	14	平均 48.86m							固定(廊下)	計	216 m				
K33	カゼイレンジャン初中等学校 Kadhireshan K. V.	教室棟-1	308	6	倉庫	1988		RC2F	スチール	スチール	無	良好	〇	2	3		直接	
		教室棟-2	180	5	倉庫	1972		組積	木製	瓦	無	老朽	撤去					
		教室棟-3	180	5	教員室	1993		組積	木製	瓦	無	可	〇					
		教室棟-4	54	2			仮設	木	木	四角開放	危険	撤去	〇					
		事務管理棟	30		教室	1983		組積	スチール	スチール	一	良好	〇					
		実験室棟	72			1985		組積	スチール	スチール	一	良好	〇					
		教室計	722m	19	平均 38.00m								計	264 m				
		教室棟-1	240	6	教員室・倉庫	1940		組積	木製	瓦	無	無	老朽	撤去	2	3		直接
		教室棟-2	180	4	校長室	1986		組積	木製	瓦	無	無	良好	〇				
		教室棟-3	144	4		1976		組積	木製	瓦	無	無	可	〇				
教室棟-4	72	2		1976		組積	木製	瓦	無	無	可	〇						
実験室棟	72		(天井・軒天)	1997		組積	木製	瓦	無	無	一	〇						
教員宿舎	35																	
教室計	686m	16	平均 39.75m								計	240 m						

校種	校名	棟別名称	床面積	学級数	その他	建設年度	改修年度	構造	トラス	屋根	間仕切り	状況	撤去	大規模	小規模	使所	直接	
R1	ゴダウエラ学校 Godawela M. V.	教室棟-1	118	2	校長室	1977		組積	木製	瓦	無	老朽	解体	2	1		直接	
		教室棟-2	114	2		1988		組積	木製	瓦	無	無	可	〇				
		教室棟-3	120	3			仮設	木	木	スチール	無	危険	解体					
		教室棟-4	90	2			仮設	木	木	瓦	無	老朽	解体					
		教室棟-5	29	1			仮設	木	木	瓦	無	老朽	解体					
		教室棟-6	248	5		1994		RC2F	スチール	スチール	固定(廊下)	無	良好	〇				
		教室計	719m	15	平均 47.93m								計	357 m				
		教室棟-1	144	4		1994		RC	スチール	スチール	無	無	良好	〇	0(3)	0		直接
		教室棟-2	217	4		1991		木	木	スチール	可動(1.2m)	無	危険	解体				
		教室棟-3	200	6		1996		RC2F	スチール	スチール	無	良好	〇					
教室棟-4	120	3		1958		組積	木製	瓦	無	無	可	〇						
教室棟-5	48	1		1958		組積	木製	スチール	スチール	無	可	撤去						
教室棟-6	160	3		1958		組積	木製	瓦	無	無	可	撤去						
教室計	889m	21	平均 42.33m								計	425 m						
R4	ハレミラケティヤ学校 Halimilaketiya V.	教室棟-1	197	4		1997		組積	スチール	スチール	無	良好	〇	3(7)	1(3)		直接	
		教室棟-2	143	4		1969		組積	木製	瓦	無	可	〇					
		教室棟-3	310	5	遊戯室	1966		組積	木製	瓦	無	老朽	解体					
		教室棟-4	252	5	ホール(6室)(2)	1969		組積	木製	瓦	無	可	〇					
		教室棟-5	119	2	実験室	1987		組積	木製	瓦	無	無	可	〇				
		教室棟-6	127	3		1992		組積	スチール	スチール	無	無	良好	〇				
		教室計	1143m	23	平均 49.91m								計	310 m				

校名	教室棟	190	5	倉庫	1989	仮設	組積	対カ	瓦	無	1(2)	1(3)	直接
R6 ラブラ初等学校 Rahela P. S.	教室棟-1	160	5	倉庫	1993	仮設	組積	木製	瓦	無	1(2)	1(3)	直接
	教室棟-2	200	5	校長室	1989	無	組積	対カ	瓦	無			
	教室棟-3	213	4	(建設中断)	1994	固定(梁下)	RCIF	一	RC	固定(梁下)			
	教室棟-4	118	4		1996	仮設	木	木	スラト	無			
	教室棟-5	881m	23	平均 38.30m									
R7 ガルハヤ学校 Galpaya V.	教室棟-1	143	3	倉庫	1967		組積	木製	瓦	無	1(3)	1(3)	直接
	教室棟-2	124	4	校長室	1969		組積	木製	瓦	無			
	教室棟-3	163	6		1993		組積	対カ	瓦	無			
	教室棟-4	124	5		1997		組積	対カ	スラト	可動(1.2m)			
	教室棟-5	40	2	倉庫	-	仮設	木	木製	砂板	無			
R8 ハタンガラ学校 Hatangala V.	実驗室棟	40		倉庫	1998	仮設	RC	一	瓦	無			
	図書室棟	62		職員室	1997	(仮付)	組積	木製	瓦	無			
	教室計	594m	20	平均 29.7m									
	教室棟-1	8	8		1990		RC2F	対カ	瓦	IF固定・2F可動	6	1(3)	直接
	教室棟-2	3	3		?		組積	木製	瓦	無			
R9 ランワラ学校 Ranwala M. V.	教室棟-3	?	14	平均 ? m	?		組積	木製	瓦	可動(1.2m)			
	教室計	528	5	校長室・音楽室	1994	(ISDP)	RC2F	木製	スラト	IF固定・2F可動	2(4)	1(3)	直接
	教室棟-1	179	3		1985	1997	組積	木製	瓦	無			
	教室棟-2	84	2		1988	1997	組積	木製	砂板	無			
	教室棟-3	122	3		1982	1997	組積	木製	瓦	無			
R11 アルワワラ・シャストラ学校 Aluthwara Shastrankara V.	実驗室棟	143		実驗室・音楽室	1985		組積	木製	瓦	無			
	教室計	913m	13	平均 70.23m									
	教室棟-1	160	3		1986		組積	木製	瓦	無	4(4)	0	直接
	教室棟-2	108	3		1992		組積	対カ	瓦	無			
	教室棟-3	108	2	多目的室 (天井有り)	1972		組積	木製	瓦	無			
R13 ダマハナ学校 Damahana M. V.	実驗室棟	60		平均 47.00m	1996		組積	対カ	スラト	無			
	教室計	376m	8										
	教室棟-1	186	6		1997		組積	対カ	スラト	無	0(2)	1(3)	直接
	教室棟-2	126	4		1992		組積	対カ	瓦	無			
	教室棟-3	160	5		1970		組積	木製	瓦	無			
R15 メデカンダ・タミール学校 Meddekanda Tamil V.	教室棟-4	101	2		-	仮設	組積	木製	瓦	無			
	教室棟-5	290	5	(増築有り)	1958		組積	木製	瓦	無			
	実驗室棟	176	2		1975		組積	木製	瓦	固定(壁紙)			
	多目的室棟	90		雜務室・工作室	1968		組積	木製	瓦	無			
	教室計	1039m	23	平均 45.17m									
R18 ペボトウ小學校 Pebotuwa P. S.	教室棟-1	159	4		1944	1994	組積	対カ	砂板	固定(9m)	?	?	?
	教室棟-2	156	4		1982		組積	木製	瓦	無			
	教室棟-3	424	7	実驗室	1996		組積	対カ	スラト	無			
	教室棟-4	108	4		1994		組積	対カ	スラト	固定(9m)			
	教室計	?	13	平均 ? m									
R18 ペボトウ小學校 Pebotuwa P. S.	教室棟-1	159	4		?		組積	木製	瓦	無	0(3)	1(3)	直接
	教室棟-2	156	4		1977		組積	木製	瓦	無			
	教室棟-3	424	7		?		RC2F	対カ	スラト	固定(梁下)			
	教室棟-4	108	4		?		組積	木製	瓦	無			
	教室棟-5	124	1		1949	1996	組積	木製	瓦	無			
R18 ペボトウ小學校 Pebotuwa P. S.	教室棟-6	154	3	ホムドク室	?		組積	対カ	瓦	無			
	教室棟-7	120	1		-	仮設	木	木	砂板	無			
	実驗室棟	62		(天井有り)	?		組積	対カ	スラト	無			
	図書室棟	30			?		組積	木製	瓦	無			
	雜務室棟	60			-	仮設	木	木	砂板	無			
教室計	1245m	24	平均 51.88m										

校名	棟名	面積 (㎡)	用途	完成年	設備	構造	材料	固定(梁下)	状態	0(3)	0(2)	直接	
													0(3)
R25 ウェダガワ南初中学校 Weddagala South	教室棟-1	122	2	(PIAが建設中)	-	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-2	172	4		1974	RC	AL-ト	瓦	無	危険			
	教室棟-3	45	1		1985	飯設	木製	瓦	無	老朽			
	教室棟-4	224	4		1948	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-5	120	3		1973	組積	木製	瓦	無	老朽			
	教室棟-6	126	3		1945	組積	木製	瓦	無	老朽			
	教室棟-7	120	2		1966	組積	木製	瓦	無	老朽			
	実験室棟	60			1979	組積	木製	瓦	無	良好			
	教室計	929	19	平均 48.39m						計	0(2)	1(3)	直接
	教室棟-1	48	2	(PIAが建設)	1989	組積	木製	瓦	無	危険			
R27 パナウェナ南学校 Panawenna South V.	教室棟-2	163	5		1957	組積	木製	瓦	無	老朽			
	教室棟-3	118	2		1996	組積	AL-ト	瓦	無	良好			
	教室棟-4	115	3		1983	組積	木製	瓦	無	可			
	教室計	444	12	平均 37.00m						計	?	?	
R28 ナランゴダ学校 Naransoda V.	教室棟-1		1		1975	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-2		3		?	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-3		3		?	組積	木製	瓦	無	危険			
	教室棟-4		4		?	組積	AL-ト	瓦	無	可			
多目的室棟				?	組積	木製	AL-板	瓦	無	可			
教室計	?	11	平均 ? m						計	?	?		
R29 イポラ・ヌンダガ学校 Erapola Sri mahinda M. V.	教室棟-1	336	6		1997	RC/F	AL-ト	AL-ト	固定(梁下)	良好		直接	
	教室棟-2	160	1	図書室	1970	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-3	334	6	図書室・教員宿舎	1960	組積	AL-ト	瓦	無	可			
	教室棟-4	157	4		1960	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-5	156	4		1980	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-6	156	5		1975	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-7	80		舞蹈室・音楽室	1995	組積	木製	AL-板	固定(屋根)	可			
	AL-PTA棟	76			1982	組積	木製	瓦	無	可			
	教室計	1299	26	平均 49.96m						計	0 m		
	教室棟-1	163	4	教員室	1972	組積	木製	瓦	固定(梁下)	可		直接	
R30 スガダンダ学校 Nugadanda V.	教室棟-2	163	3		1977	組積	木製	瓦	無	良好			
	教室棟-3	208	4		1950	組積	木製	瓦	無	可			
	教室棟-4	140	3		1993	組積	AL-ト	瓦	固定(梁下)	良好			
	事務管理棟	80			1992	組積	AL-ト	瓦	無	良好			
実験室棟	64		(天吊・射天)	1998	組積	AL-ト	AL-ト	無	良好				
AL-PTA棟	81		IRDPにて材料が建設中						計	0 m			
教室計	674	14	平均 48.14m						計	0 m			
R32 ヒラナナ南初中学校 Hidellana K. V.	教室棟-1	336	9		1980	RC/F	木製	瓦	IF(梁下)2F(2.2m)	良好		直接	
	教室棟-2	505	9	校長室・倉庫	1928	組積	木製	AL-ト	無	老朽			
	教室棟-3	124	3		1987	組積	木製	AL-ト	可動(1.6m)	可			
	実験室棟	38			1988	組積	木製	AL-ト	無	良好			
教室計	965	21	平均 45.95 m						計	505 m			
R33 ガイレナガマ南初中学校 Gairenagama K. V.	教室棟-1	216	4	校長室・倉庫	1956	組積	木製	AL-ト	無	可		直接	
	教室棟-2	144	3		1985	組積	木製	瓦	固定(1.6m)	可			
	教室棟-3	144	4		1992	組積	AL-ト	瓦	無	良好			
	実験室棟	54			1993	組積	AL-ト	瓦	無	可			
教室計	504	11	平均 45.81m						計	0 m			

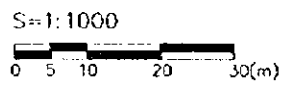
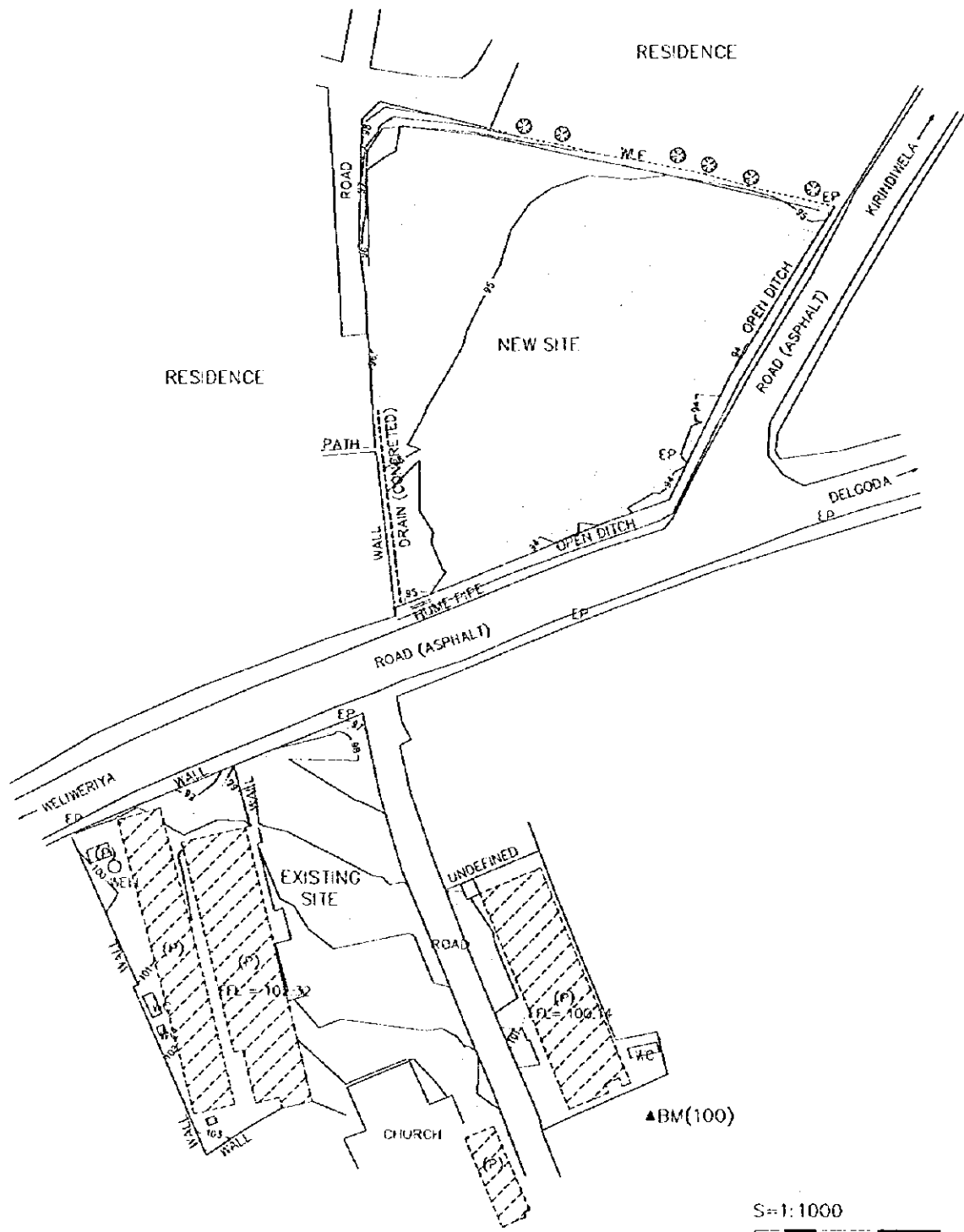




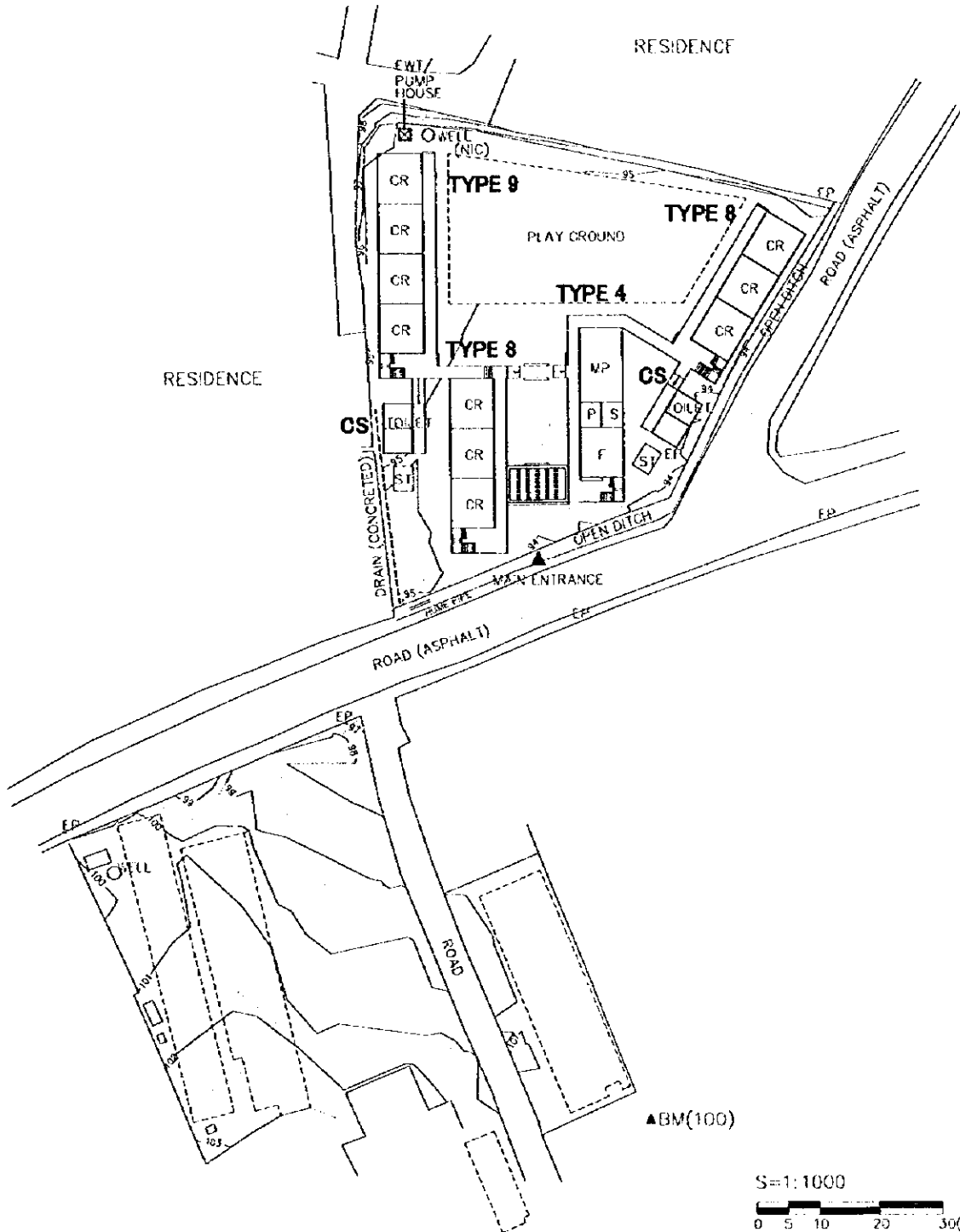
10. 計画対象校敷地現況図／配置計画図

SITE NO.	G-1	NAME OF SCHOOL	MADDUMADANDARE K.V.
DISTRICT	GAMPAHA	PROVINCE	WESTERN PROVINCE

1. EXISTING SITE CONDITION



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN

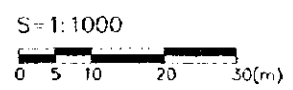
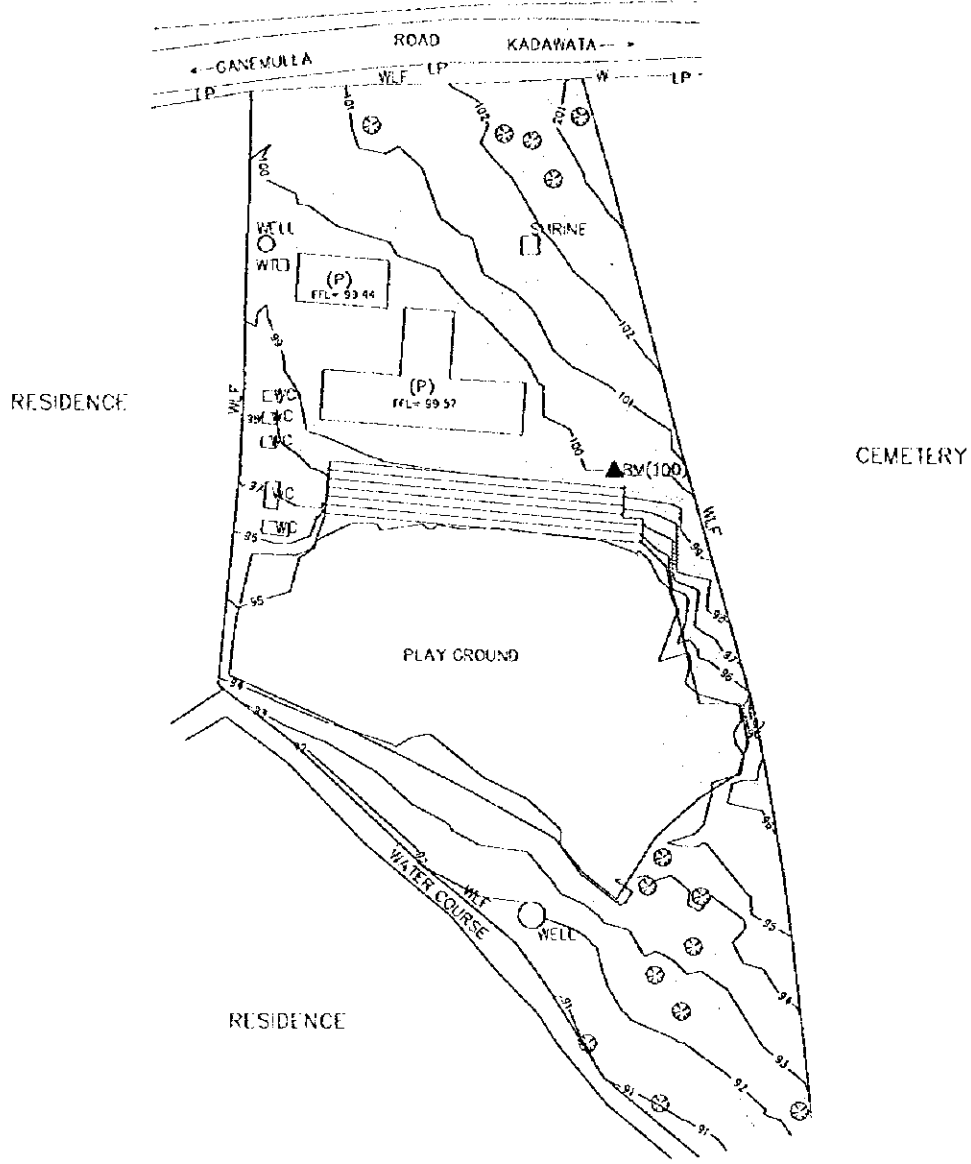


S=1:1000  
 0 5 10 20 30(m)

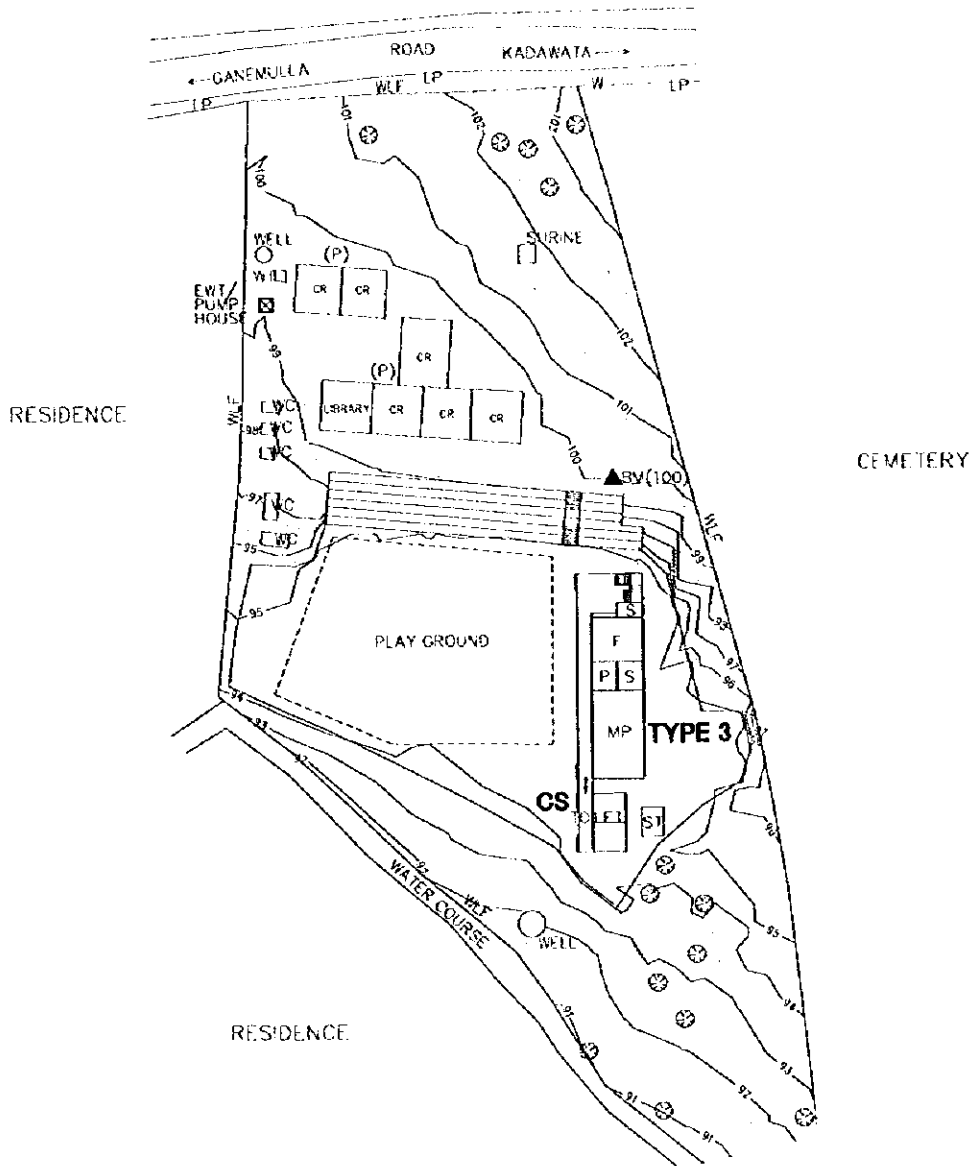
LEGEND:					
-----	FENCE LINE	▲BM	BENCH MARK	CR	CLASS ROOM
-----	EMBANKMENT LINE	WLM	WATER LINE MARKER	VP	MULTI-PURPOSE ROOM
-----	DRAINAGE LINE	GLM	GAS LINE MARKER	P	PRINCIPAL'S OFFICE
-95-	CONTOUR LINE & LEVEL	TLM	TELEPHONE LINE MARKER	F	OFFICE
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)F	WIRE (& LIVE) FENCE	S	STORAGE
[ ] MH	MANHOLE	(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(E)WT	(ELEVATED) WATER TANK
▶◀	GATE	(I)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST	SEPTIC TANK

SITE NO.	G-5	NAME OF SCHOOL	WELIPILLAWA K.V.
DISTRICT	GAMPAHA	PROVINCE	WESTERN PROVINCE

1. EXISTING SITE CONDITION



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN

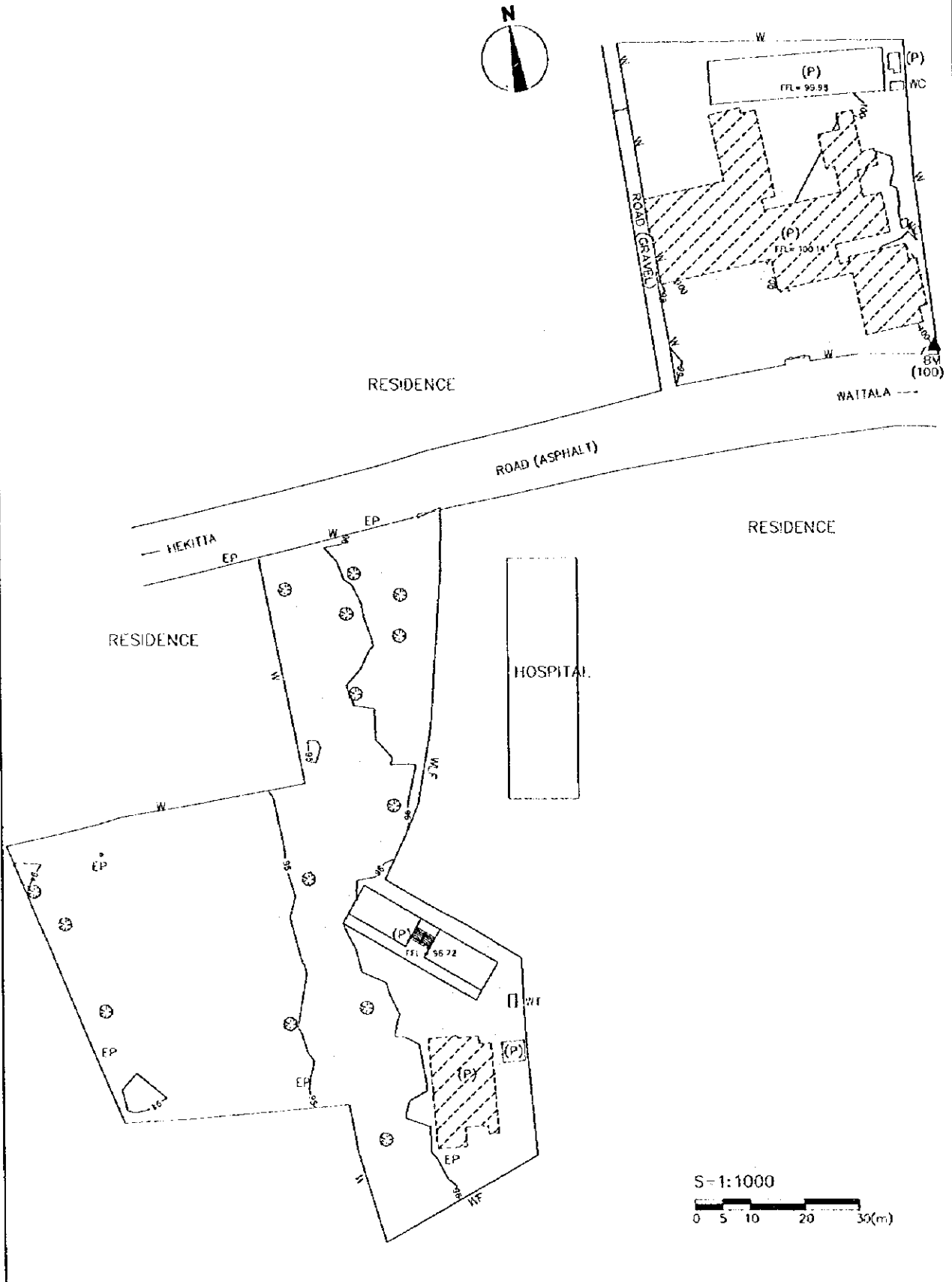


S=1:1000  
0 5 10 20 30(m)

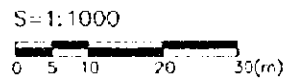
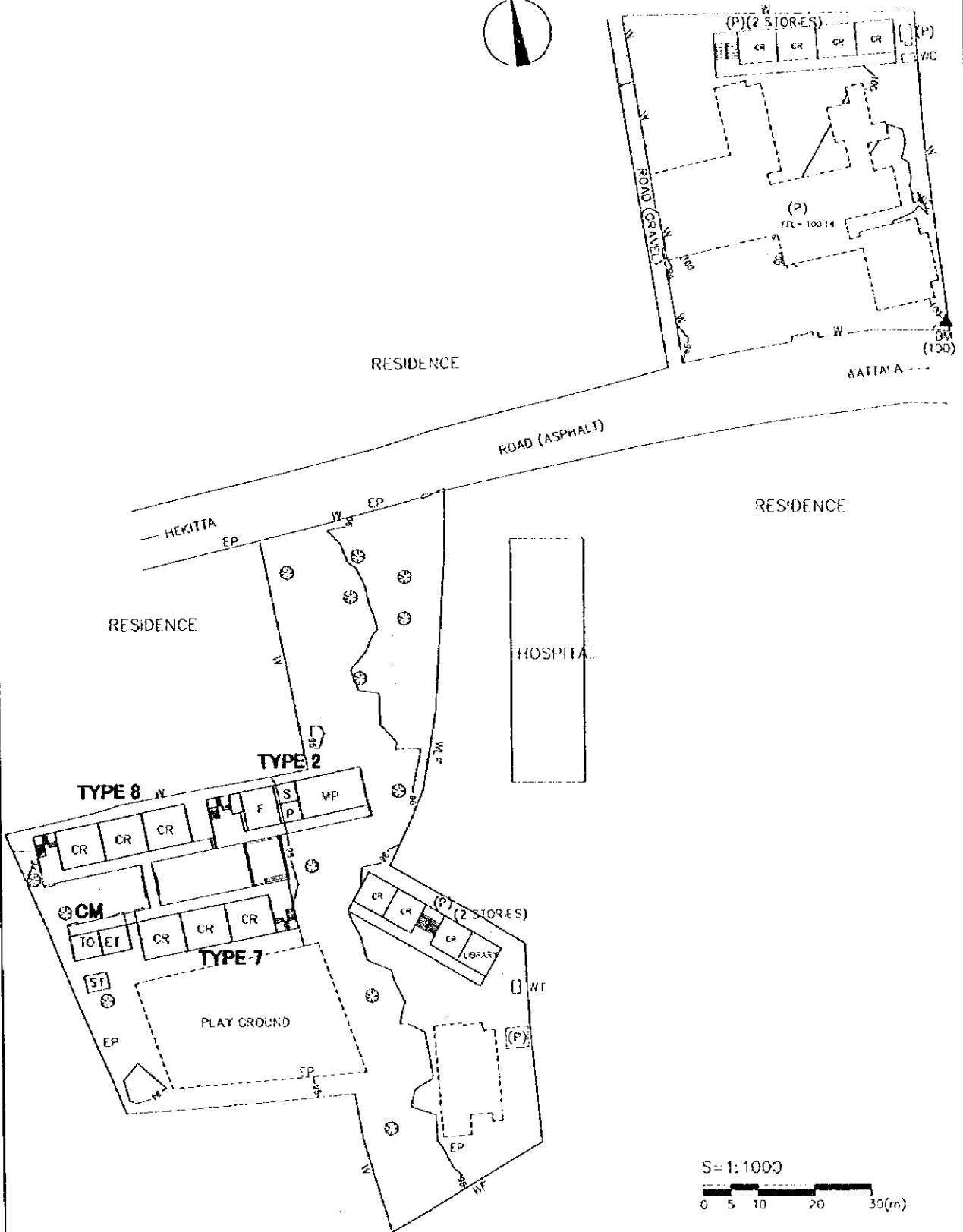
LEGEND:					
---	FENCE LINE	▲BM	BENCH MARK	CR	CLASS ROOM
---	EMBANKMENT LINE	WLM	WATER LINE MARKER	MP	MULTI-PURPOSE ROOM
---	DRAINAGE LINE	GLM	GAS LINE MARKER	P	PRINCIPAL'S OFFICE
---	CONTOUR LINE & LEVEL	TLM	TELEPHONE LINE MARKER	F	OFFICE
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)F	WIRE (& LIVE) FENCE	S	STORAGE
(M)	MANHOLE	E(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(E)WT	(ELEVATED) WATER TANK
---	GATE	E(T)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST	SEPTIC TANK

SITE NO.	G-7	NAME OF SCHOOL	HEKITTAH CHRIST KING V.
DISTRICT	GAMPAHA	PROVINCE	WESTERN PROVINCE

1. EXISTING SITE CONDITION



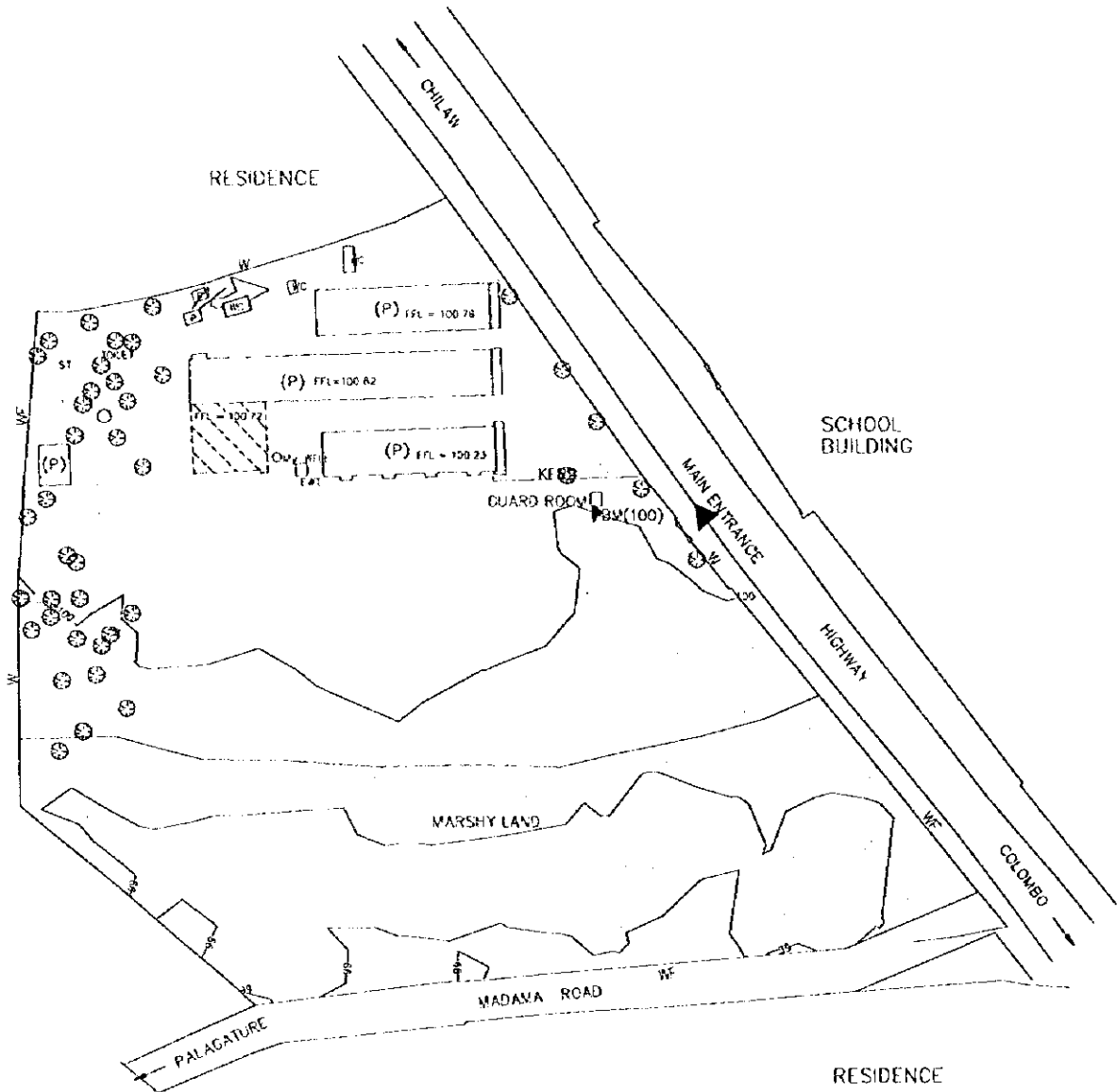
## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



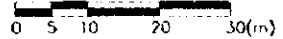
LEGEND:			
-----	FENCE LINE	▲BM	BENCH MARK
-----	EMBANKMENT LINE	WLM	WATER LINE MARKER
-----	DRAINAGE LINE	GLM	GAS LINE MARKER
---95---	CONTOUR LINE & LEVEL	TLM	TELEPHONE LINE MARKER
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)F	WIRE (& LIVE) FENCE
□ MH	MANHOLE	E(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)
⬆	GATE	E(T)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)
		CR	CLASS ROOM
		MP	MULTI-PURPOSE ROOM
		P	PRINCIPAL'S OFFICE
		F	OFFICE
		S	STORAGE
		(E)WT	(ELEVATED) WATER TANK
		ST	SEPTIC TANK

SITE NO.	G-11	NAME OF SCHOOL	DALUWAKOTUWA ST. ANNE'S
DISTRICT	GAMPAHA	PROVINCE	WESTERN PROVINCE

1. EXISTING SITE CONDITION

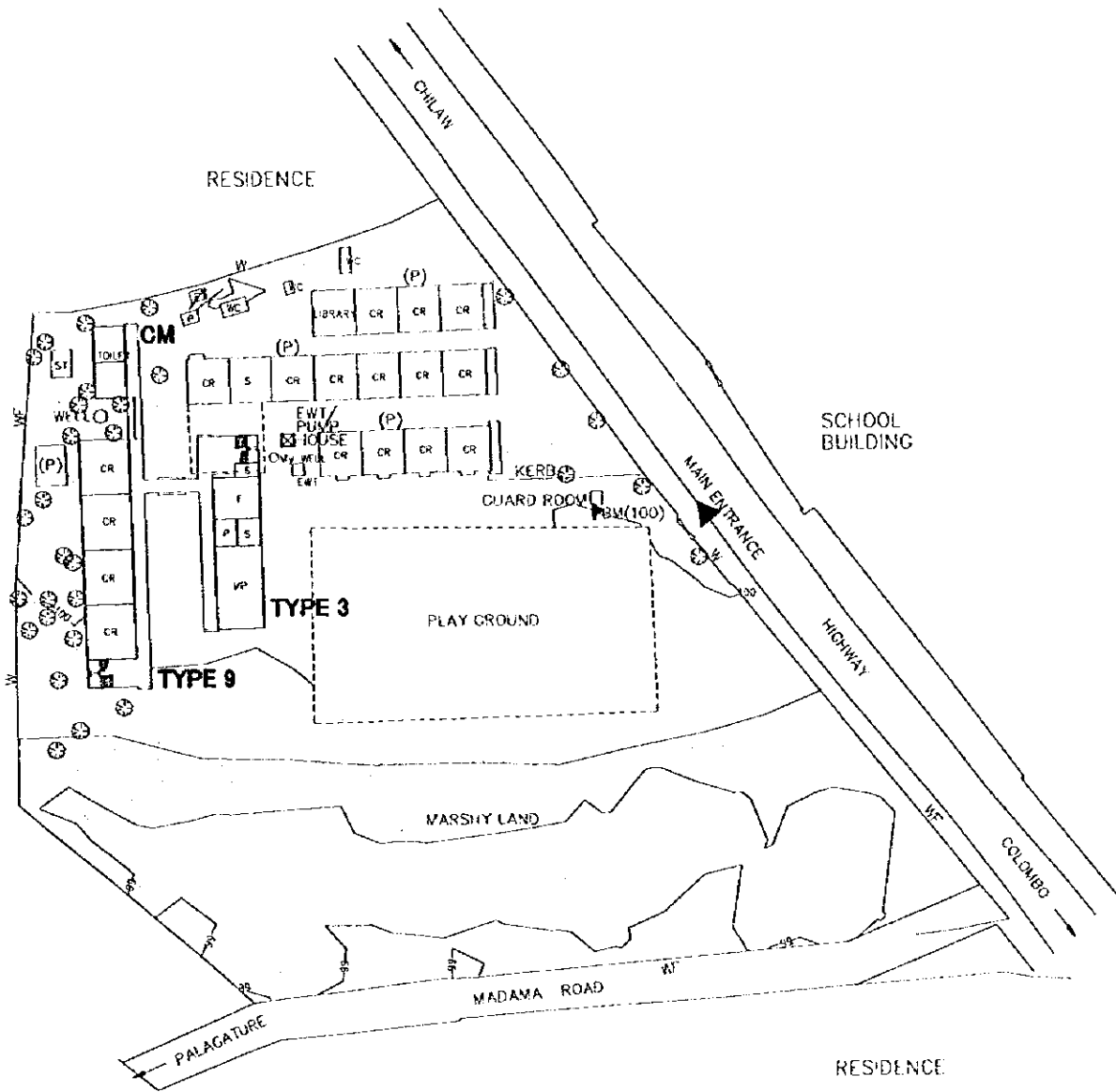
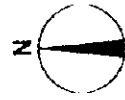


S=1:1000

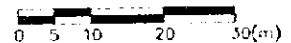




## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



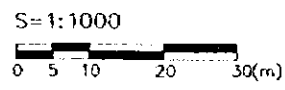
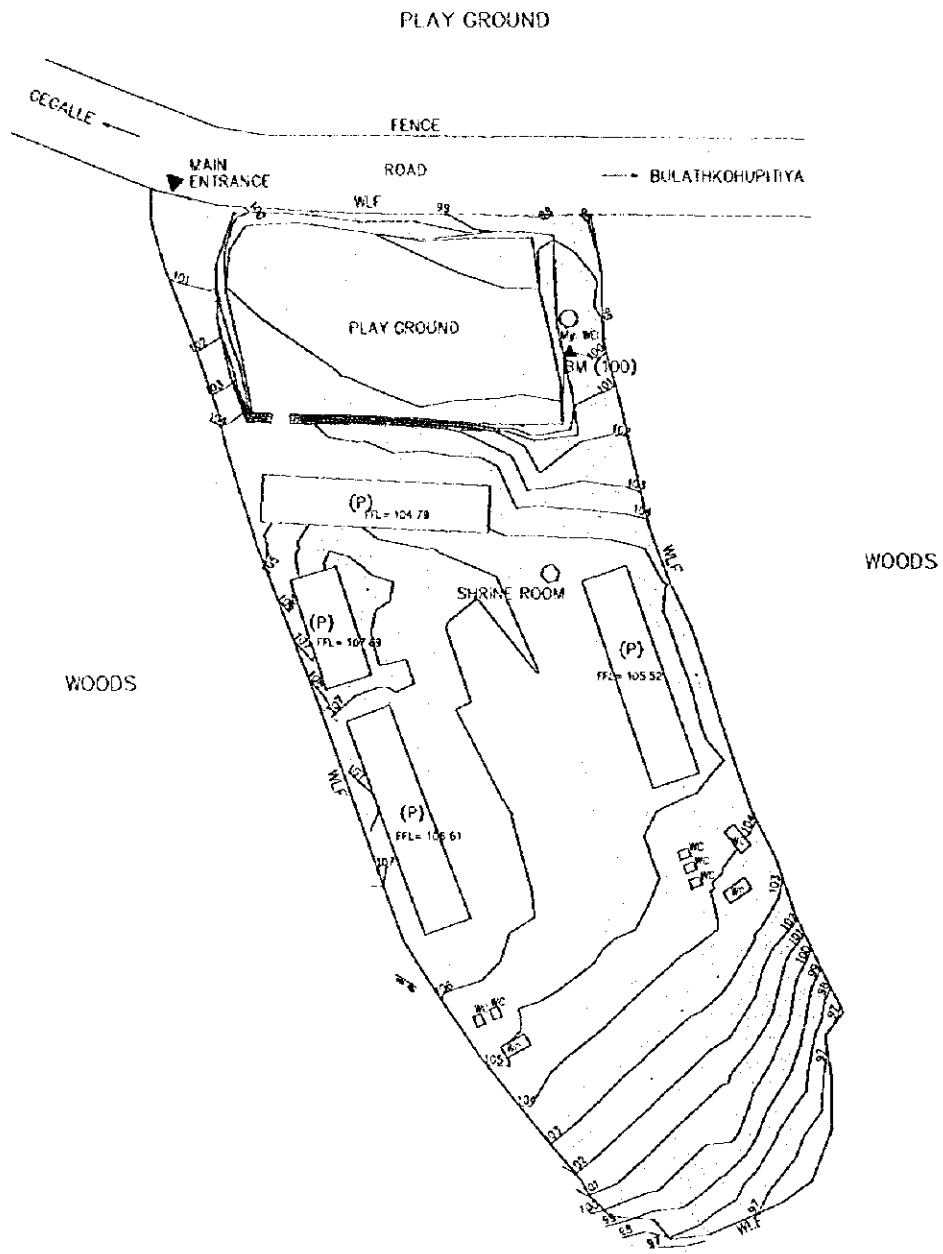
S=1:1000



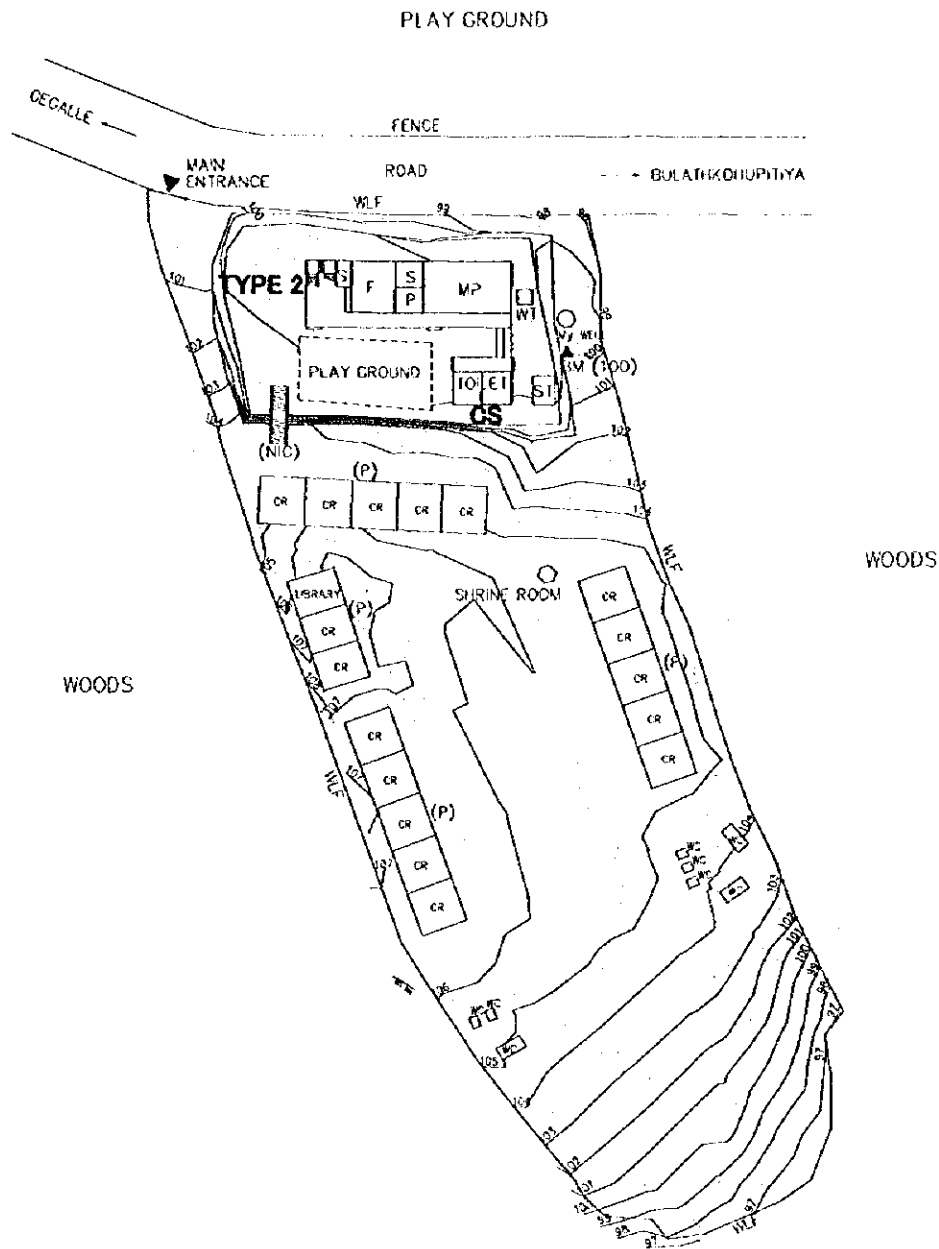
LEGEND:					
---	FENCE LINE	▲BM	BENCH MARK	CR	CLASS ROOM
- - - -	EMBANKMENT LINE	WLM	WATER LINE MARKER	MP	MULTI-PURPOSE ROOM
- - - -	DRAINAGE LINE	GLM	GAS LINE MARKER	P	PRINCIPAL'S OFFICE
- .95	CONTOUR LINE & LEVEL	TLM	TELEPHONE LINE MARKER	F	OFFICE
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)F	WIRE (& LIVE) FENCE	S	STORAGE
[ ] MH	MANHOLE	E(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(E)WT	(ELEVATED) WATER TANK
---	GATE	E(T)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST	SEPTIC TANK

SITE NO.	K-1	NAME OF SCHOOL	HETTIMULLA NEW K.V.
DISTRICT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

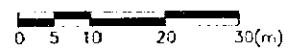
**1. EXISTING SITE CONDITION**



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



S=1:1000

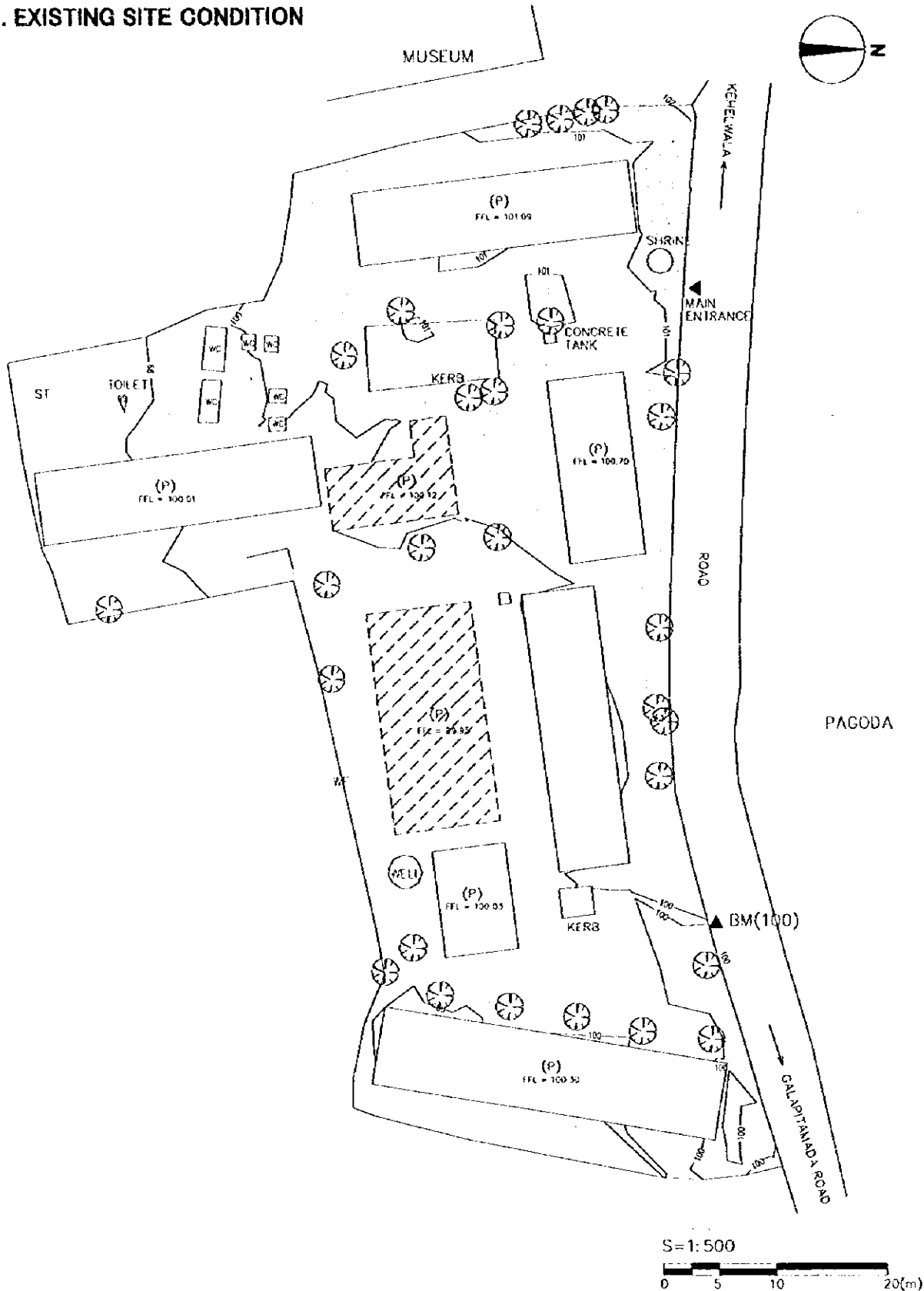


### LEGEND:

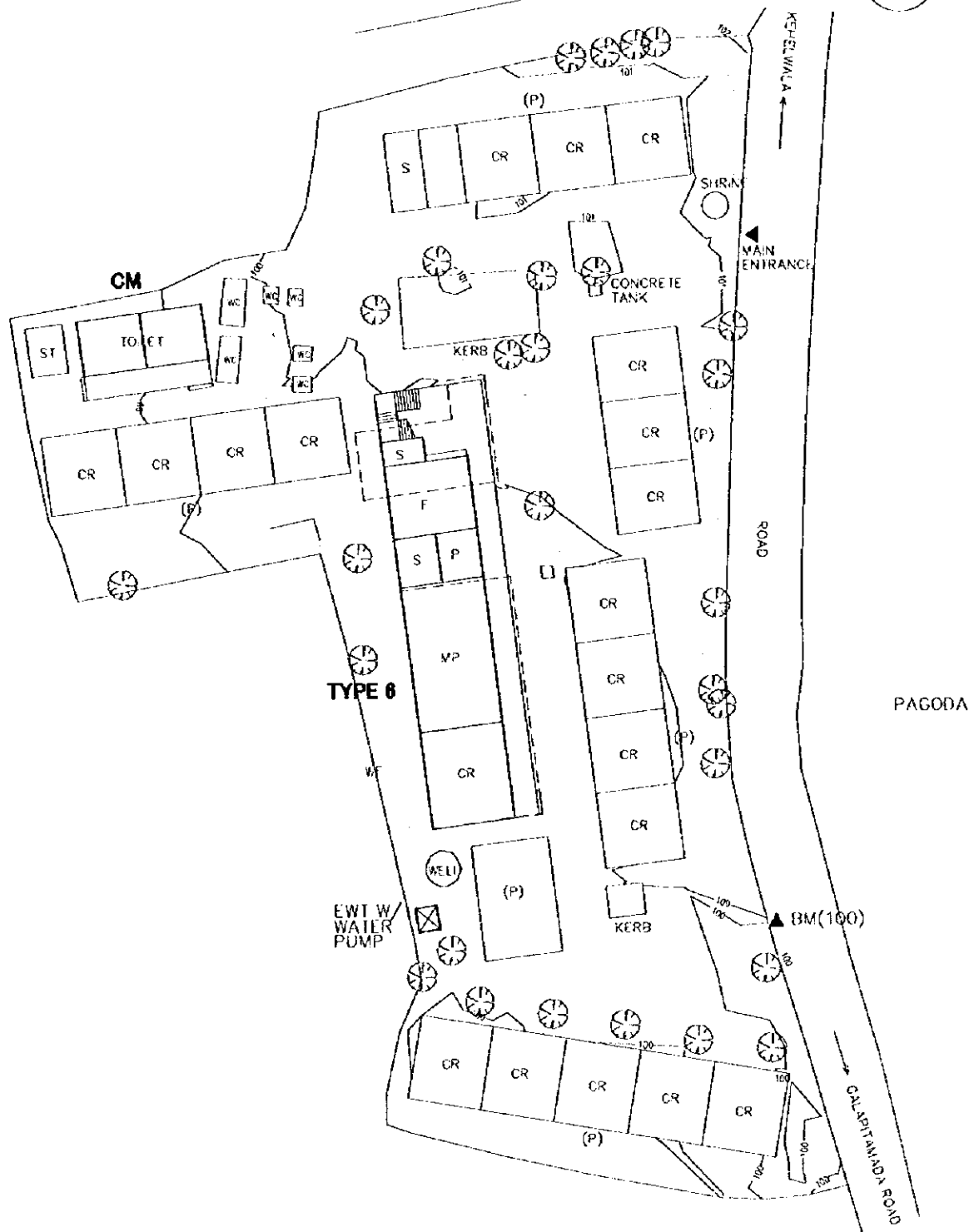
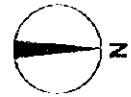
-----	FENCE LINE	ABM-----	BENCH MARK	CR-----	CLASS ROOM
-----	EMBANKMENT LINE	WLM-----	WATER LINE MARKER	MP-----	MULTI-PURPOSE ROOM
-----	DRAINAGE LINE	GLM-----	GAS LINE MARKER	P-----	PRINCIPAL'S OFFICE
-----	CONTOUR LINE & LEVEL	ILM-----	TELEPHONE LINE MARKER	F-----	OFFICE
EP/LP-----	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)F-----	WIRE (& LIVE) FENCE	S-----	STORAGE
[ ] MH-----	MANHOLE	(P)-----	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(E)WT-----	(ELEVATED) WATER TANK
-----	GATE	(T)-----	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST-----	SEPTIC TANK

SITE NO.	K-4	NAME OF SCHOOL	DEDIGAMA. K.V.
DISTRICT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

1. EXISTING SITE CONDITION



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



S=1:500

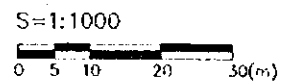
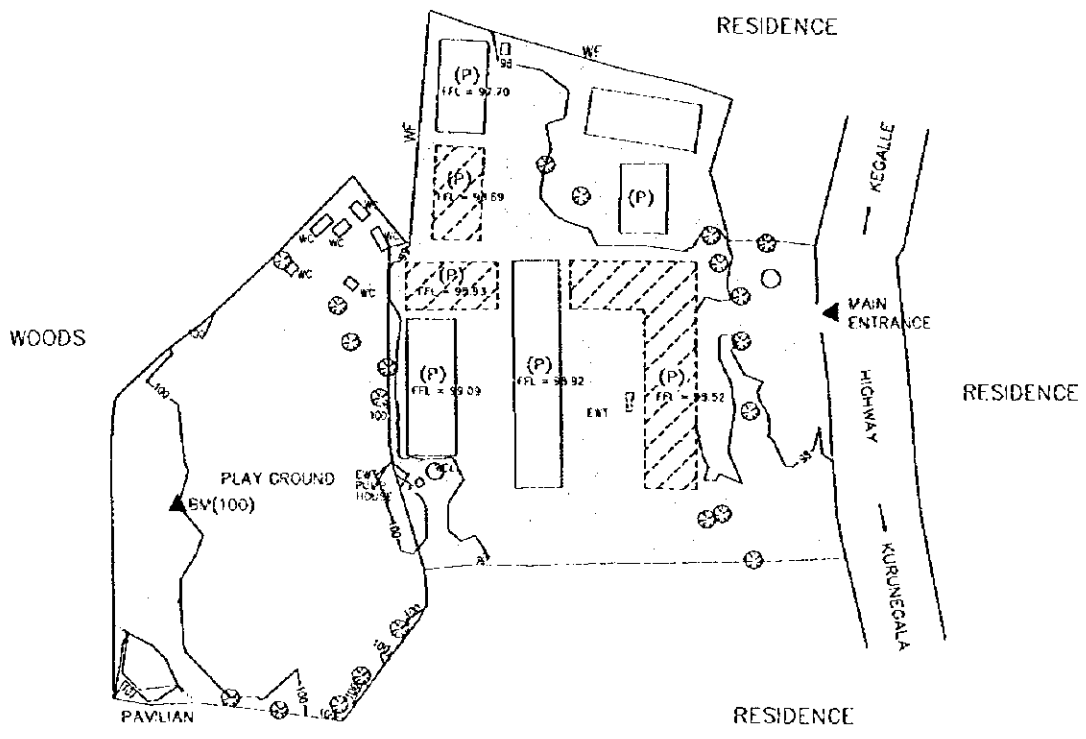
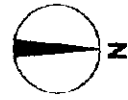
0 5 10 20(m)

### LEGEND.

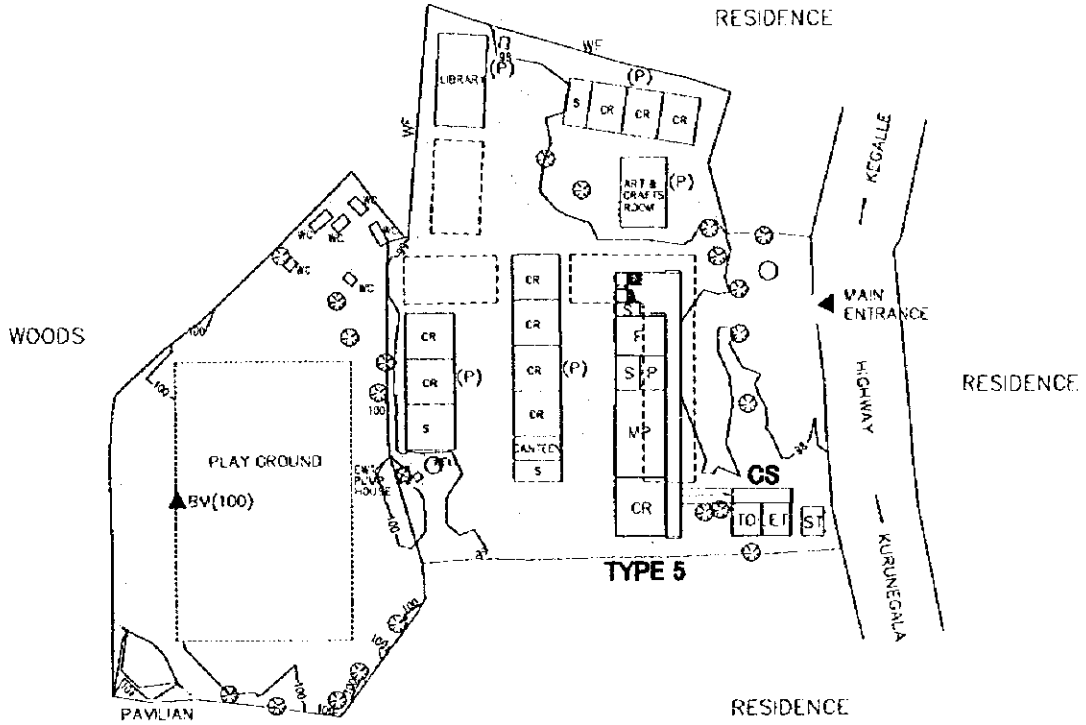
---	FENCE LINE	▲BM	BENCHMARK	CR	CLASS ROOM
---	EMBANKMENT LINE	WLM	WATER LINE MARKER	MP	MULTI-PURPOSE ROOM
---	DRAINAGE LINE	GLM	GAS LINE MARKER	P	PRINCIPAL'S OFFICE
---95---	CONTOUR LINE & LEVEL	ILM	TELEPHONE LINE MARKER	F	OFFICE
EP/LP	ELECTRIC POST / LIGHT POST	W(L)	WIRE (& LIVE) FENCE	S	STORAGE
[ ]	MANHOLE	(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(E)WT	(ELEVATED) WATER TANK
---	GATE	(I)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST	SEPTIC TANK

SITE NO.	K-10	NAME OF SCHOOL	BAMUNUGAMA MALIYADEWA K.V.
DISTRICT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

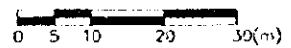
1. EXISTING SITE CONDITION



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



S=1:1000



LEGEND:

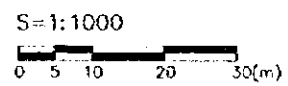
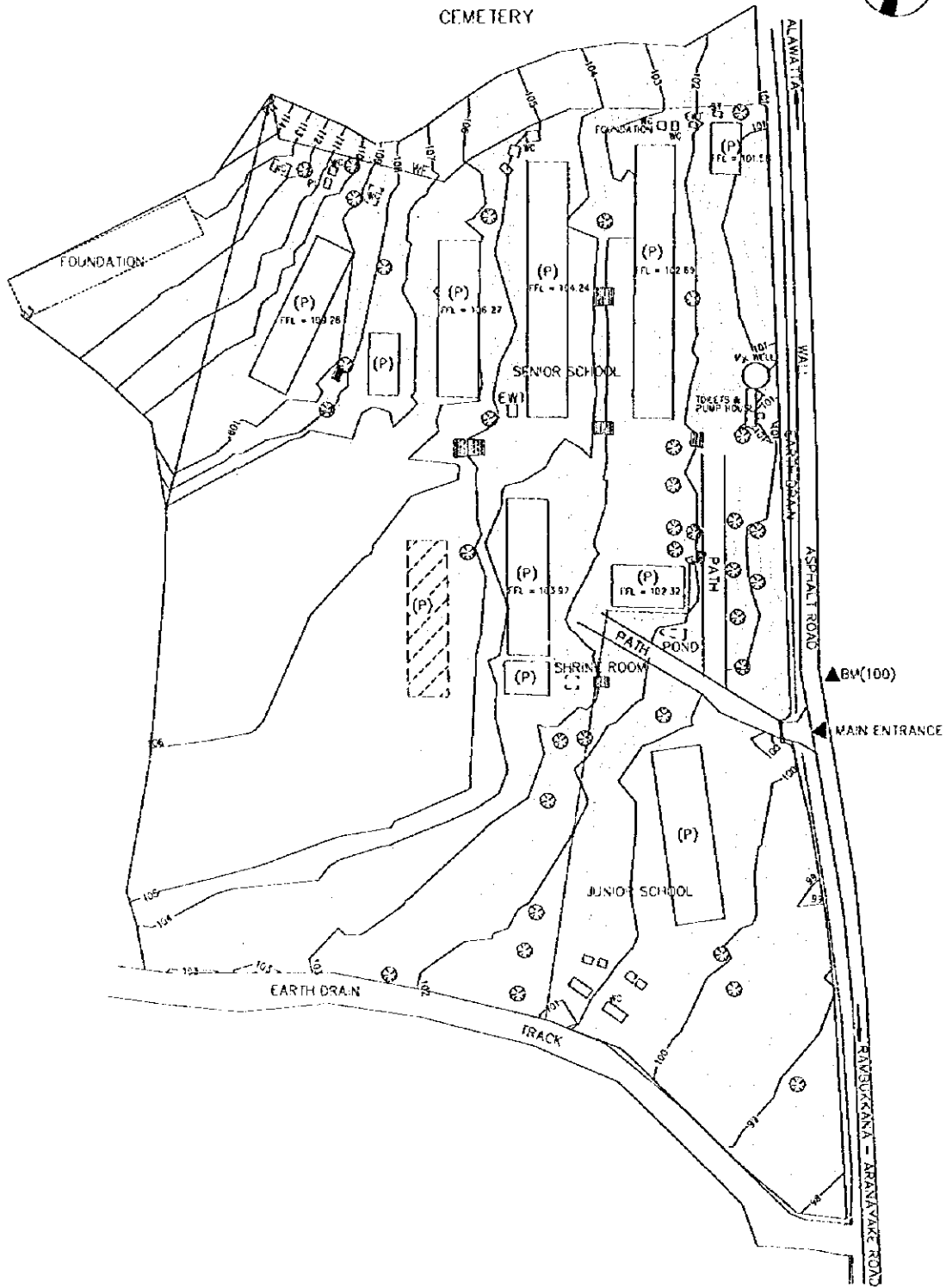
- FENCE LINE
- EMBANKMENT LINE
- DRAINAGE LINE
- 95--- CONTOUR LINE & LEVEL
- EP/LP ELECTRIC POST/LIGHT POST
- V/HI MAN-HOLE
- GATE

- ▲BM BENCH MARK
- W(L)M WATER LINE MARKER
- GLM GAS LINE MARKER
- TLM TELEPHONE LINE MARKER
- W(L)F WIRE (& LIVE) FENCE
- (P) EXISTING BLDG (PERMANENT)
- (T) EXISTING BLDG (TEMPDRARY)

- CR CLASS ROOM
- VP MULTI-PURPOSE ROOM
- P PRINCIPAL'S OFFICE
- F OFFICE
- S STORAGE
- (E)W (ELEVATED) WATER TANK
- ST SEPTIC TANK

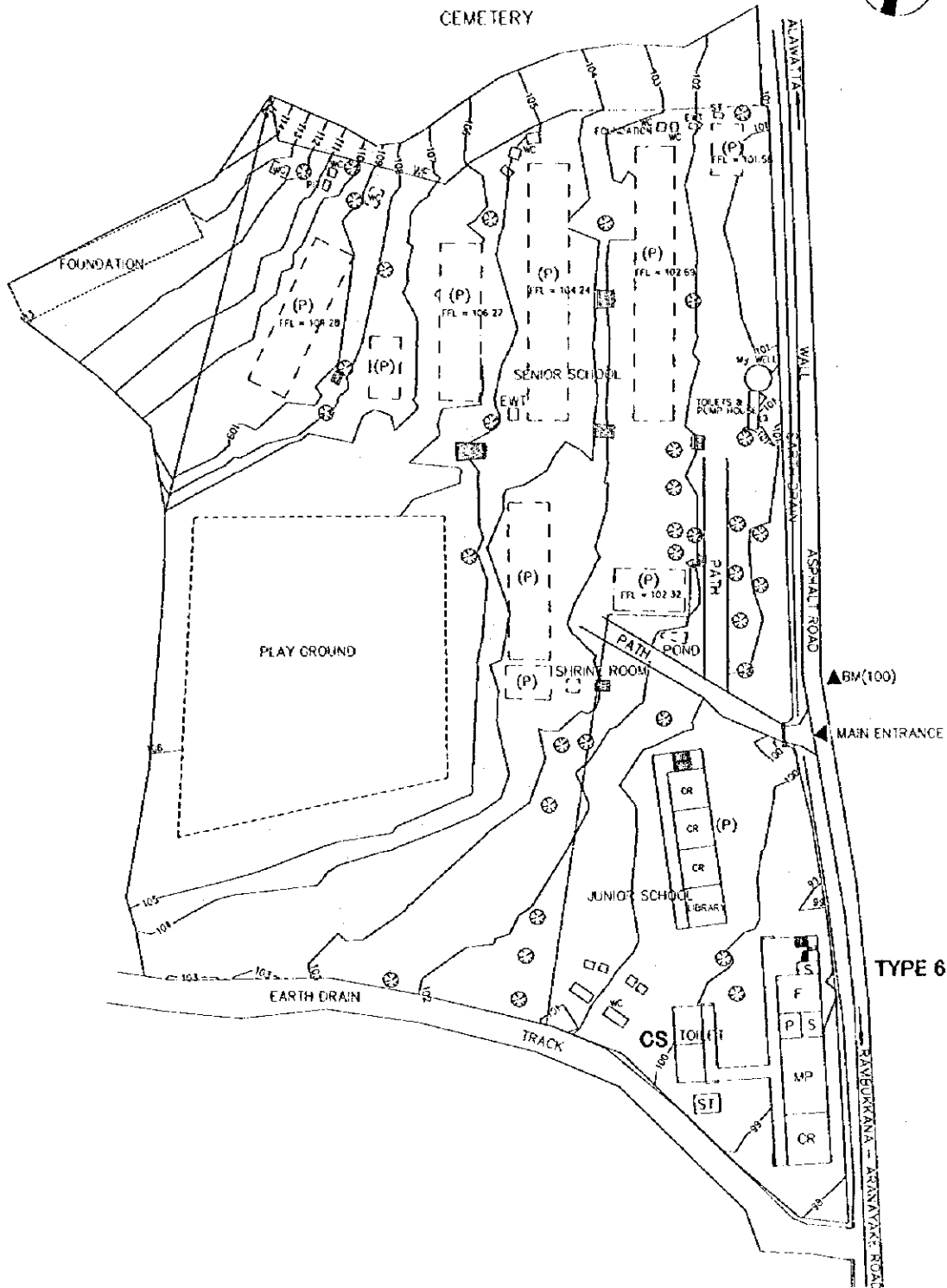
SITE NO.	K-13	NAME OF SCHOOL	ASHOKA K.V.
DISTRICT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

**1. EXISTING SITE CONDITION**

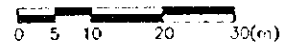




## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



S=1:1000

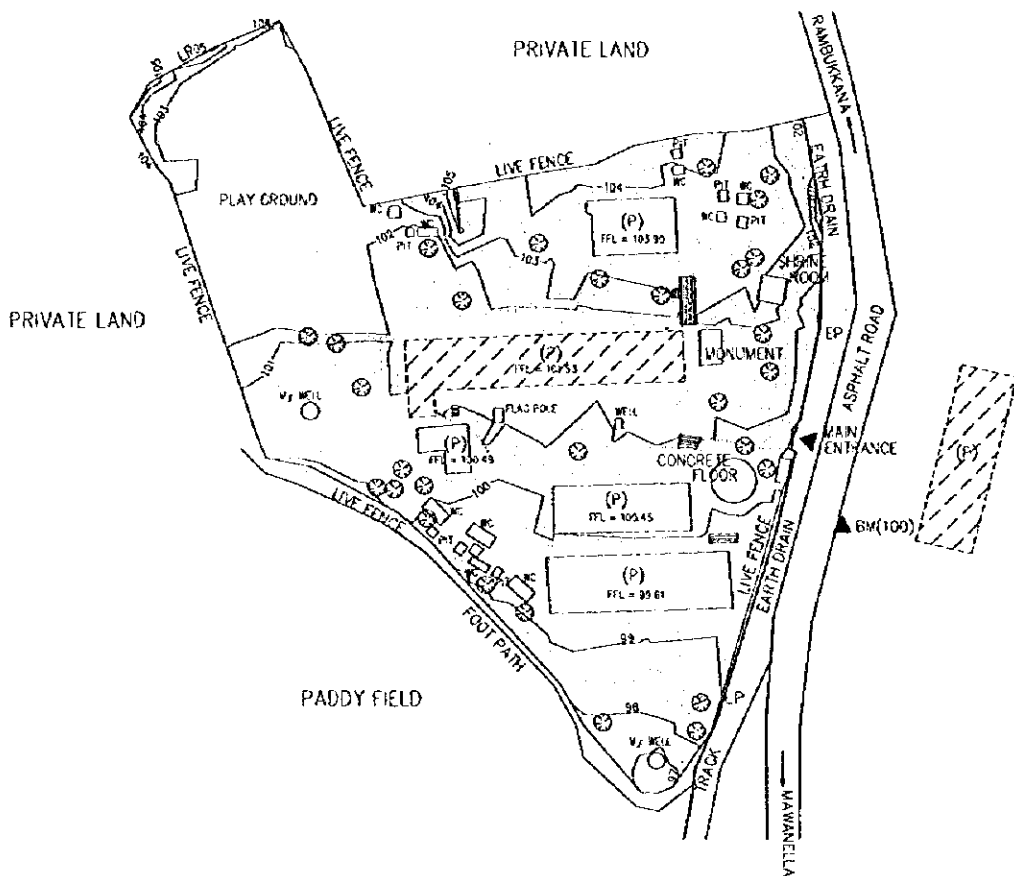


### LEGEND:

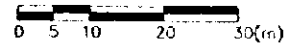
-----	FENCE LINE	▲BM	BENCH MARK	CR	CLASS ROOM
-----	EMBANKMENT LINE	WLM	WATER LINE MARKER	MP	MULTI-PURPOSE ROOM
-----	DRAINAGE LINE	GLM	GAS LINE MARKER	P	PRINCIPAL'S OFFICE
95	CONTOUR LINE & LEVEL	TLM	TELEPHONE LINE MARKER	F	OFFICE
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)F	WIRE (& LIVE) FENCE	S	STORAGE
□ M.I	MANHOLE	(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(E)WT	(ELEVATED) WATER TANK
--->	GATE	(T)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST	SEPTIC TANK

SITE NO.	K-14	NAME OF SCHOOL	BADDEWELA K.V.
DISTRICT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

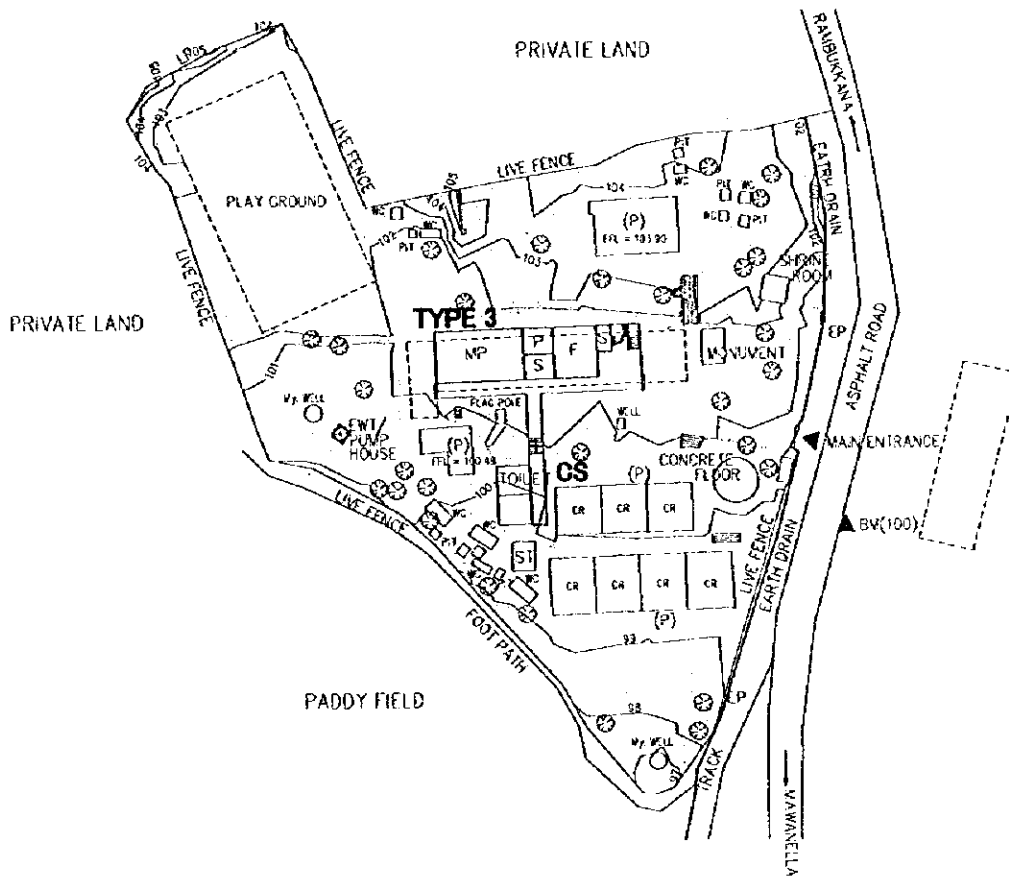
1. EXISTING SITE CONDITION



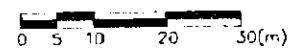
S=1:1000



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



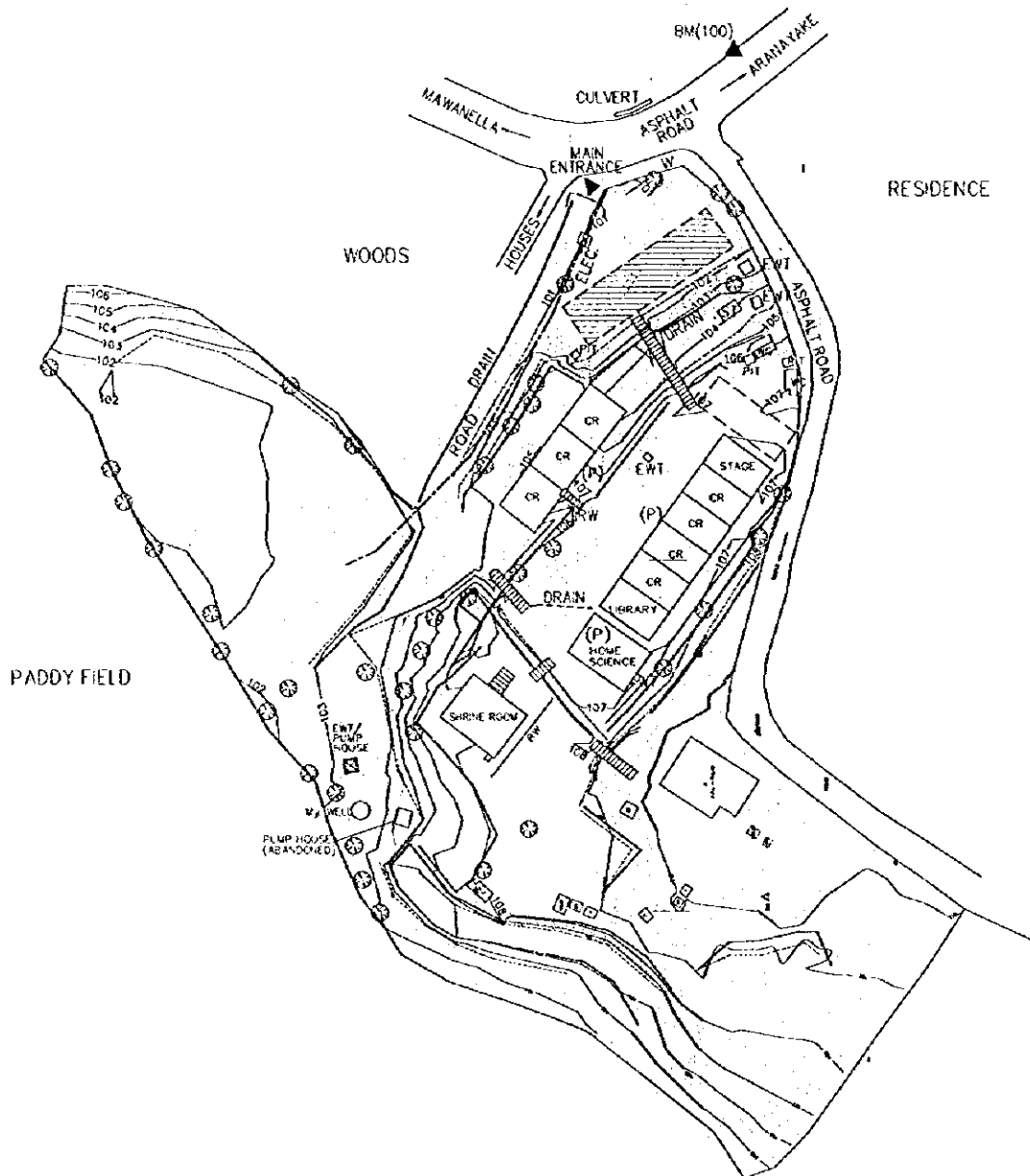
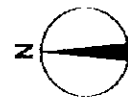
S=1:1000



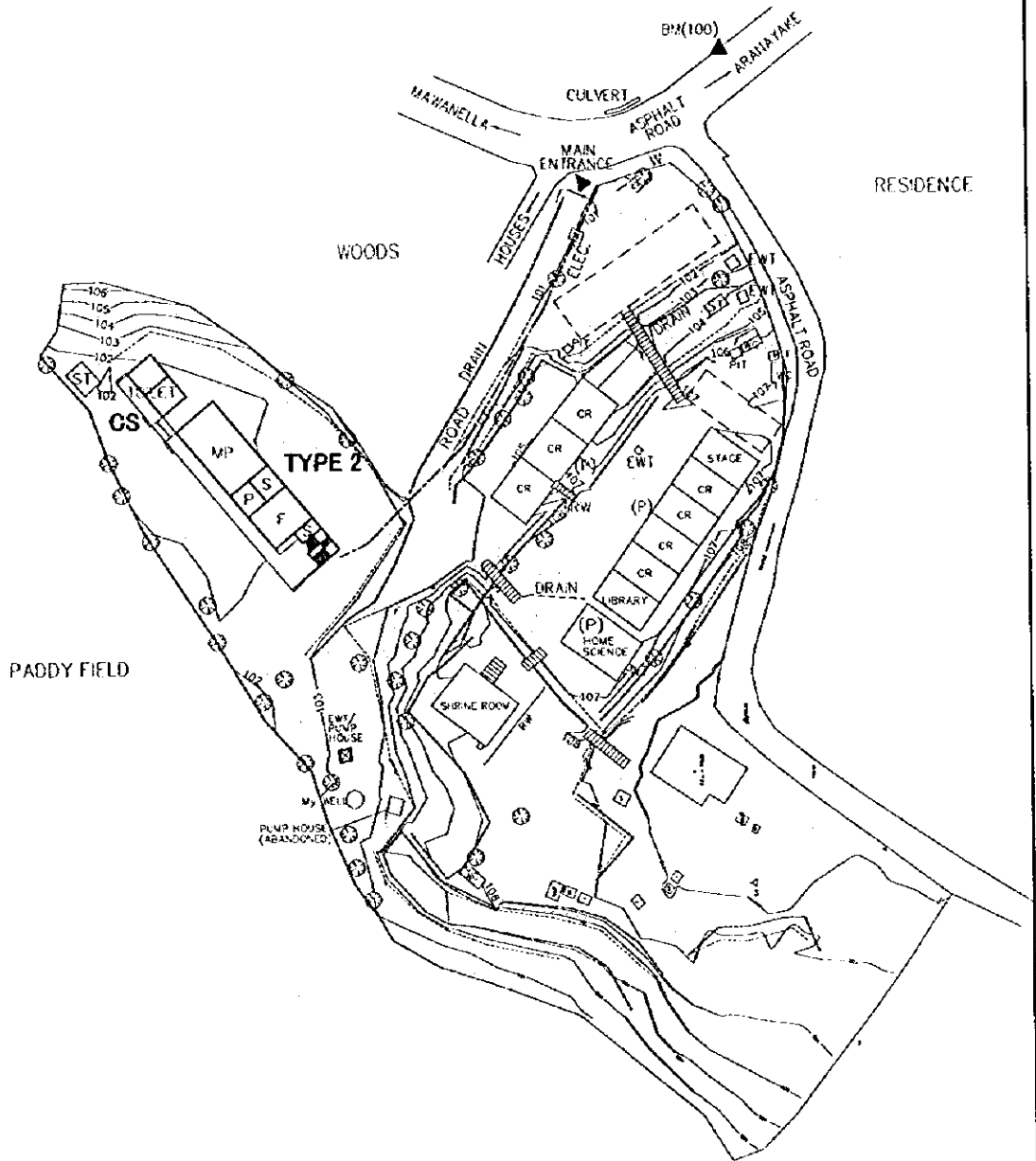
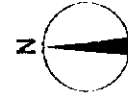
LEGEND:					
-----	FENCE LINE	▲BM-----	BENCH MARK	CR -----	CLASS ROOM
-----	EMBANKMENT LINE	W.M-----	WATER LINE MARKER	MP -----	MULTI-PURPOSE ROOM
-----	DRAINAGE LINE	G.M-----	GAS LINE MARKER	P -----	PRINCIPAL'S OFFICE
---95---	CONTOUR LINE & LEVEL	T.M-----	TELEPHONE LINE MARKER	F -----	OFFICE
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)F	WIRE (& LIVE) FENCE	S -----	STORAGE
[ ] M.H	MANHOLE	(P) -----	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(L)WT	(ELEVATED) WATER TANK
-----	GATE	(T) -----	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST -----	SEPTIC TANK

SITE NO.	K-22	NAME OF SCHOOL	USSAPITIYA SRI SUMANGALA K.V.
DISTRICT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

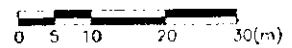
1. EXISTING SITE CONDITION



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



S=1:1000



**LEGEND:**

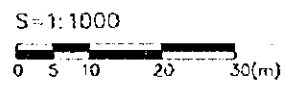
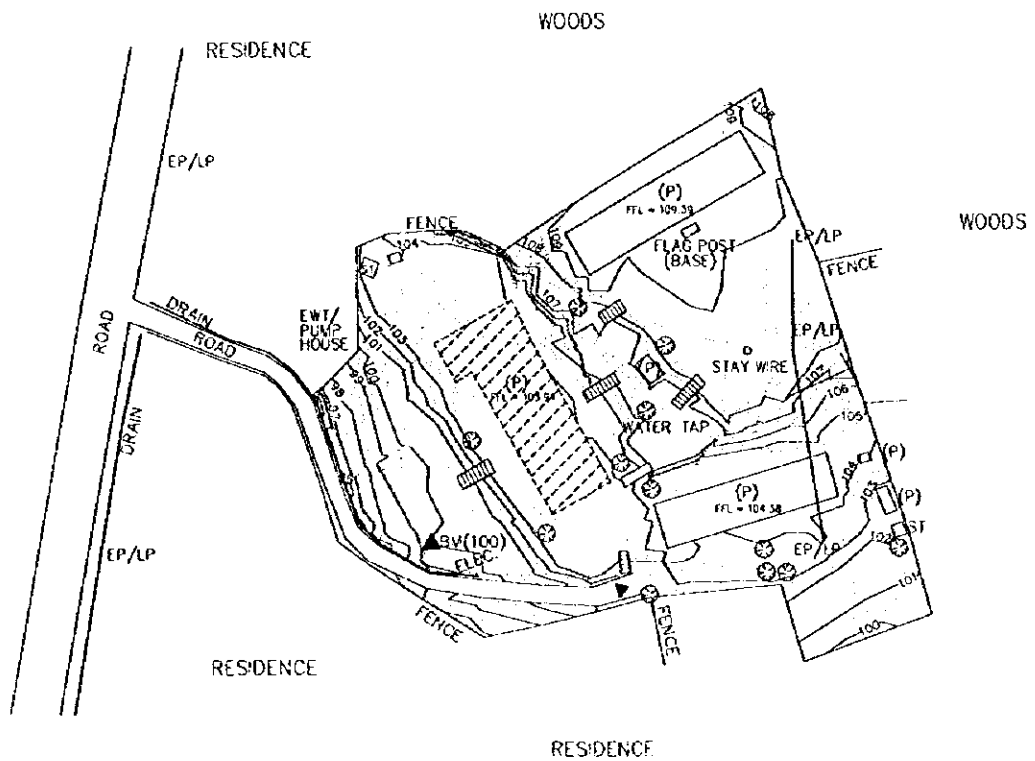
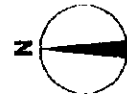
- FENCE LINE
- EMBANKMENT LINE
- DRAINAGE LINE
- 95--- CONTOUR LINE & LEVEL
- EP/LP --- ELECTRIC POST/LIGHT POST
- [ ] MH --- MANHOLE
- GATE

- BSM --- BENCH MARK
- WLM --- WATER LINE MARKER
- GLM --- GAS LINE MARKER
- TLM --- TELEPHONE LINE MARKER
- W(L)F --- WIRE (& LIVE) FENCE
- (P) --- EXISTING BLDG (PERMANENT)
- (T) --- EXISTING BLDG (TEMPORARY)

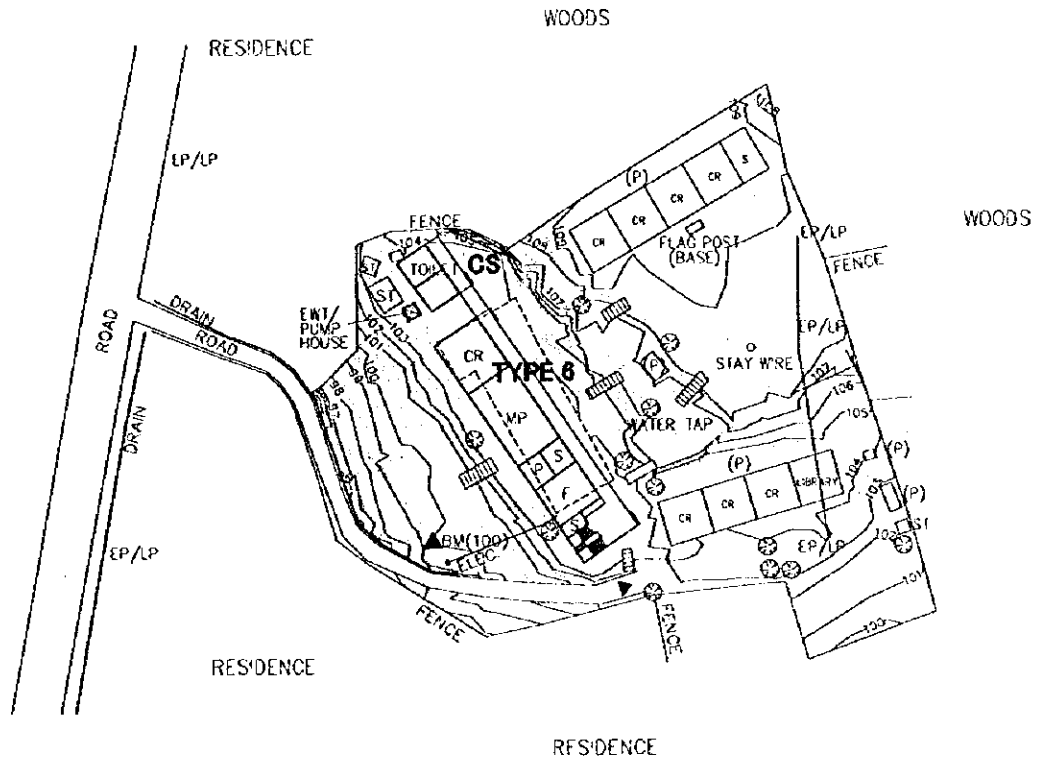
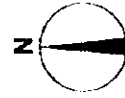
- CR --- CLASS ROOM
- MP --- MULTI-PURPOSE ROOM
- P --- PRINCIPAL'S OFFICE
- F --- OFFICE
- S --- STORAGE
- (E)AT --- (ELEVATED) WATER TANK
- ST --- SEPTIC TANK

SITE NO.	K-26	NAME OF SCHOOL	DEHIOWITA BUDDHIST P.V.
DISTRICT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

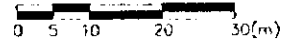
1. EXISTING SITE CONDITION



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



S=1:1000

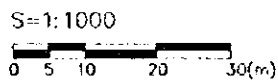
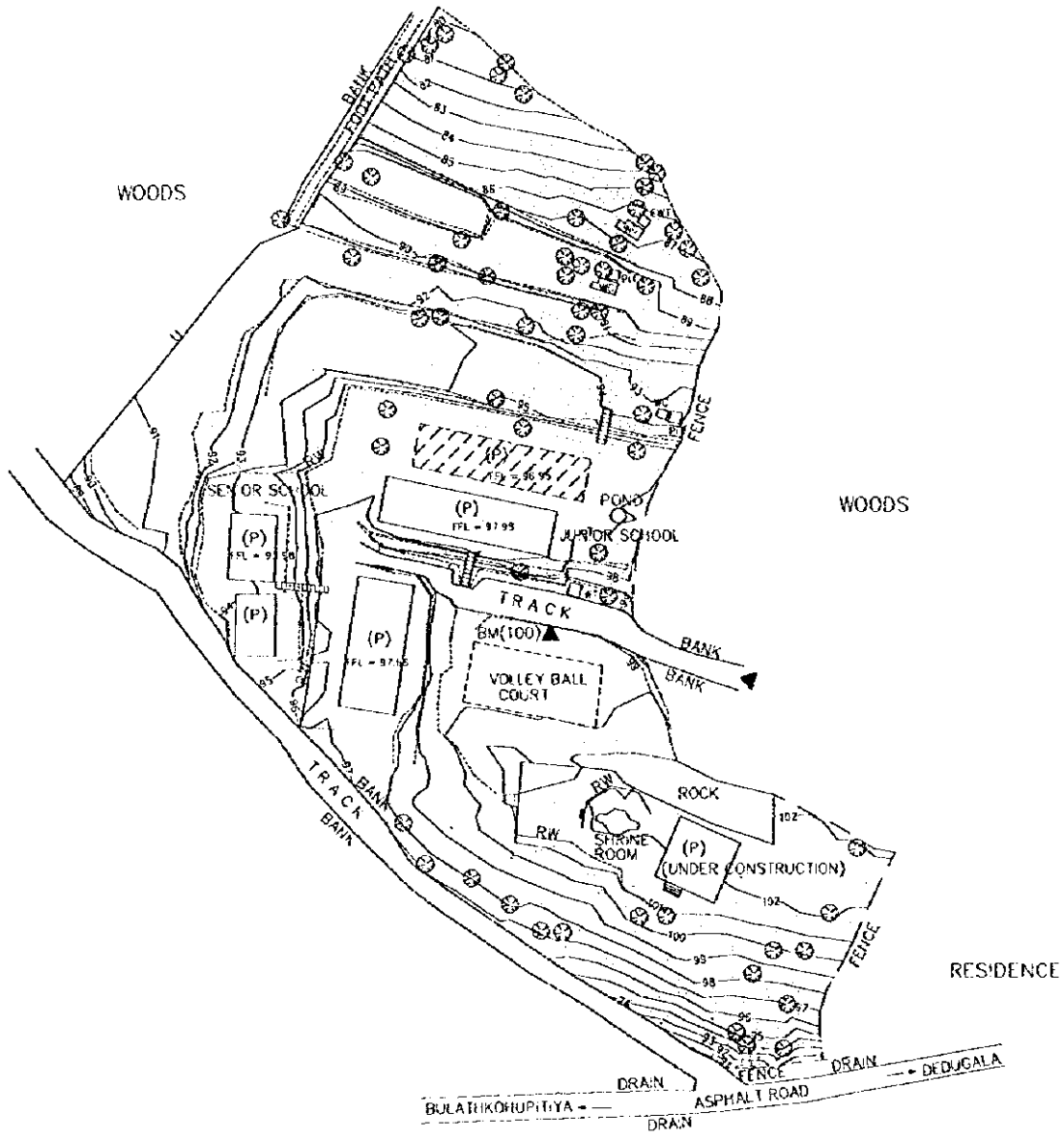


**LEGEND:**

-----	FENCE LINE	▲BM	BENCH MARK	CR	CLASS ROOM
-----	EMBANKMENT LINE	W(L)	WATER LINE MARKER	MP	MULTI-PURPOSE ROOM
-----	DRAINAGE LINE	G.M	GAS LINE MARKER	P	PRINCIPAL'S OFFICE
---95---	CONTOUR LINE & LEVEL	T.M	TELEPHONE LINE MARKER	F	OFFICE
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)	WIRE (& LIVE) FENCE	S	STORAGE
□ MH	MANHOLE	(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(E)WT	(ELEVATED) WATER TANK
⊕	GATE	(I)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST	SEPTIC TANK

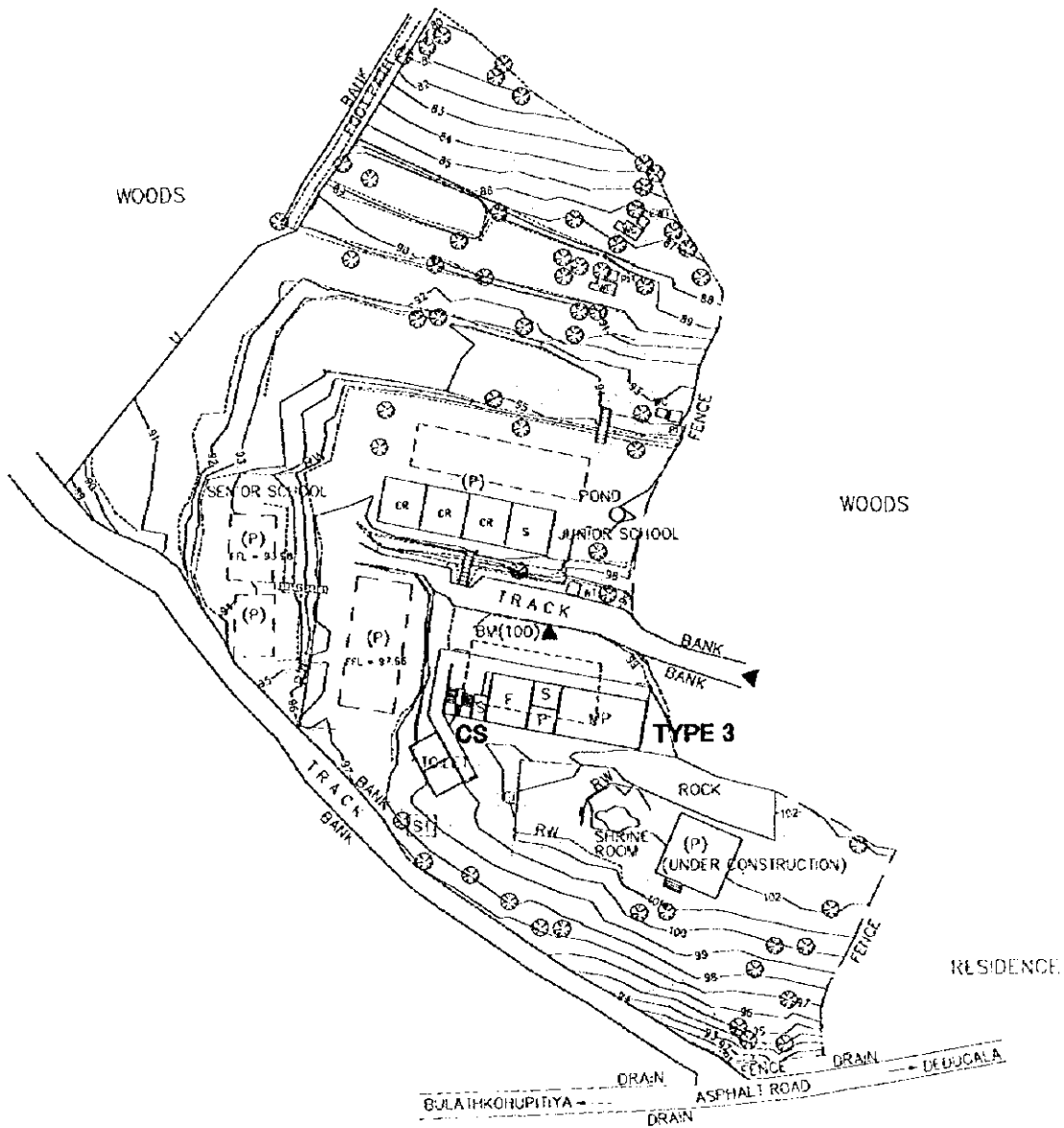
SITE NO.	K-28	NAME OF SCHOOL	DEDUGALA P.S.
DISTRIOT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

1. EXISTING SITE CONDITION

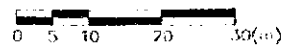




## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



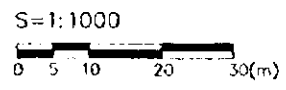
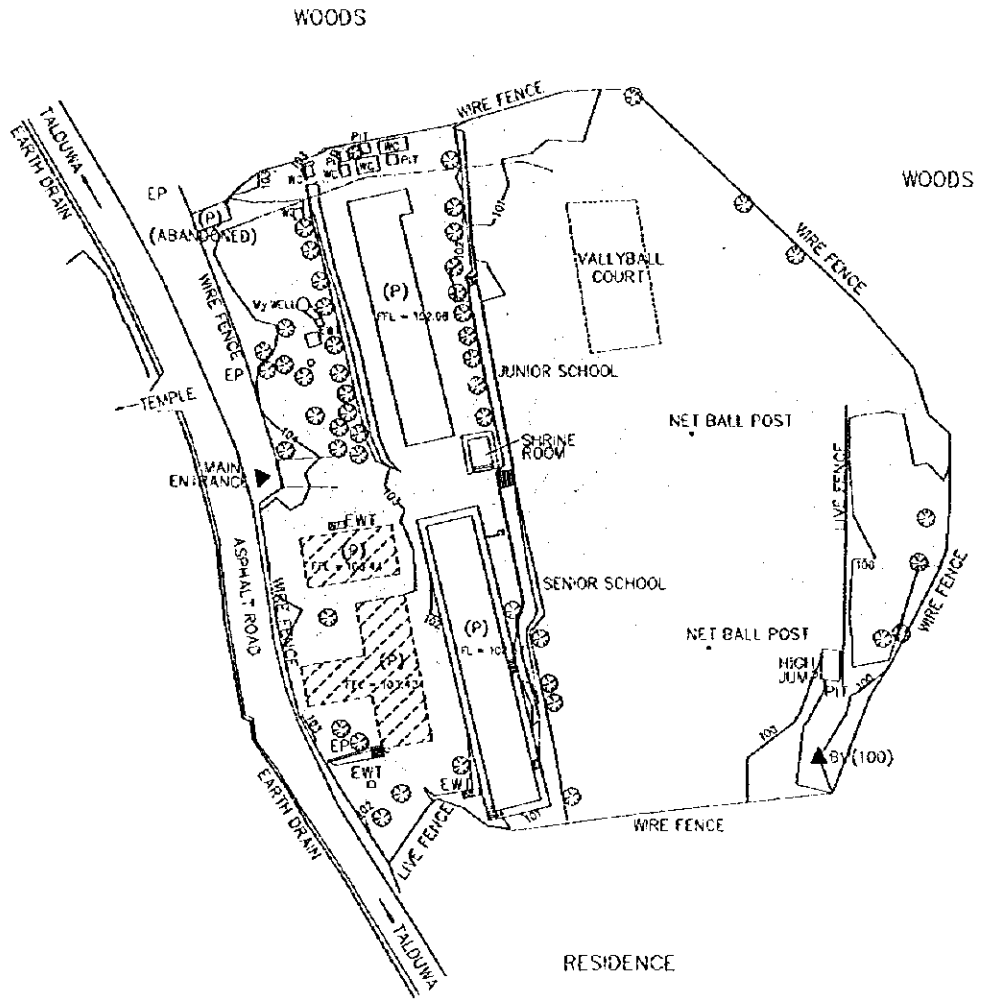
S=1:1000



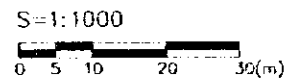
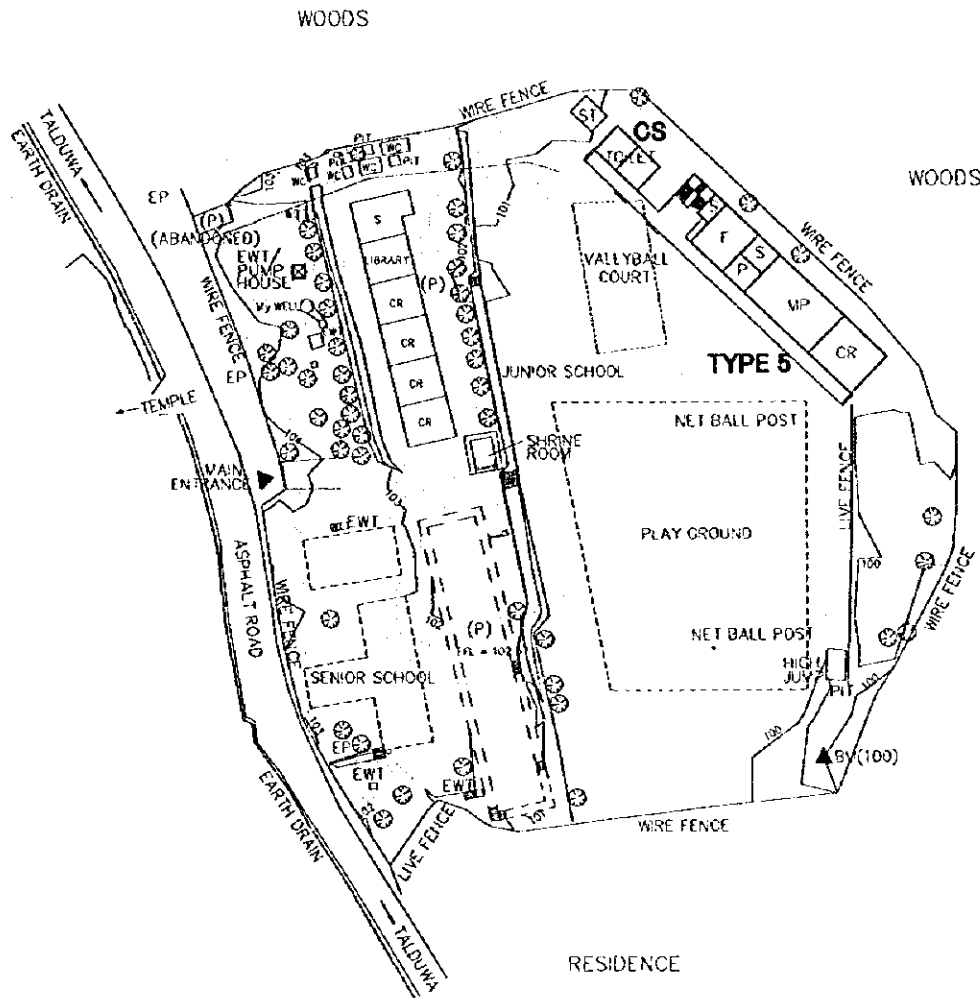
LEGEND.	
---	FENCE LINE
---	EMBANKMENT LINE
---	DRAINAGE LINE
95	CONTOUR LINE & LEVEL
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST
□	MAN-HOLE
---	GATE
▲BM	BENCH MARK
WM	WATER LINE MARKER
GLM	GAS LINE MARKER
TLM	TELEPHONE LINE MARKER
W(L)F	WIRE (& LIVE) FENCE
(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)
(T)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)
CR	CLASS ROOM
MP	MULTI-PURPOSE ROOM
P	PRINCIPAL'S OFFICE
F	OFFICE
S	STORAGE
(E)W	(ELEVATED) WATER TANK
SE	SEPTIC TANK

SITE NO.	K-31	NAME OF SCHOOL	AMITHIRIGALA K.V.
DISTRICT	KEGALLE	PROVINCE	SABARAGAMUWA

1. EXISTING SITE CONDITION



## 2. PROPOSED LAYOUT PLAN



LEGEND:					
-----	FENCE LINE	▲BM	BENCH MARK	CR	CLASS ROOM
-----	EMBANKMENT LINE	WLM	WATER LINE MARKER	MP	MULTI-PURPOSE ROOM
-----	DRAINAGE LINE	GLM	GAS LINE MARKER	P	PRINCIPAL'S OFFICE
---95---	CONTOUR LINE & LEVEL	TLM	TELEPHONE LINE MARKER	F	OFFICE
EP/LP	ELECTRIC POST/LIGHT POST	W(L)F	WIRE (& LIVE) FENCE	S	STORAGE
□ MH	MANHOLE	(P)	EXISTING BLDG (PERMANENT)	(E)WT	(ELEVATED) WATER TANK
--->	GATE	(T)	EXISTING BLDG (TEMPORARY)	ST	SEPTIC TANK